

障がいのある人の生活や施策に関する
アンケート結果報告書

令和2年3月
福岡県 太宰府市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の概要	2
3. 報告書の見方	2
II 調査結果	3
1. 性別・年齢・ご家族などについて	4
2. 障がいの状況について	8
3. 現在の生活について	13
4. 教育について	31
5. 安全・安心について	37
6. 雇用について	44
7. 暮らしについて	48
8. 福祉・保健・医療について	51
9. 差別の解消や権利を守ることについて	63
10. 運動・スポーツについて	84
11. 自由回答	91

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的／2. 調査の概要／3. 報告書の見方

1. 調査の目的

本調査は、障がい福祉に関するニーズの把握や課題の整理・分析をすることにより、ニーズ量等を明らかにし、第5次太宰府市障がい者プランと太宰府市障がい福祉計画(第6期)及び障がい児福祉計画(第2期)策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査の概要

- ▶調査地域: 太宰府市全域
- ▶調査対象: 障害手帳所持者 1,500 名
- ▶調査期間: 令和2年3月 11 日～令和2年3月 25 日
- ▶調査方法: 郵送による配布、回収調査

配布数(A)	有効回収票数 (B)	回収率 $\frac{(B)}{(A)}$
1,500	852	56.8%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%以上になります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- その他回答などで、個人等が特定される可能性のある内容については、若干の修正をして掲載しています。

II 調査結果

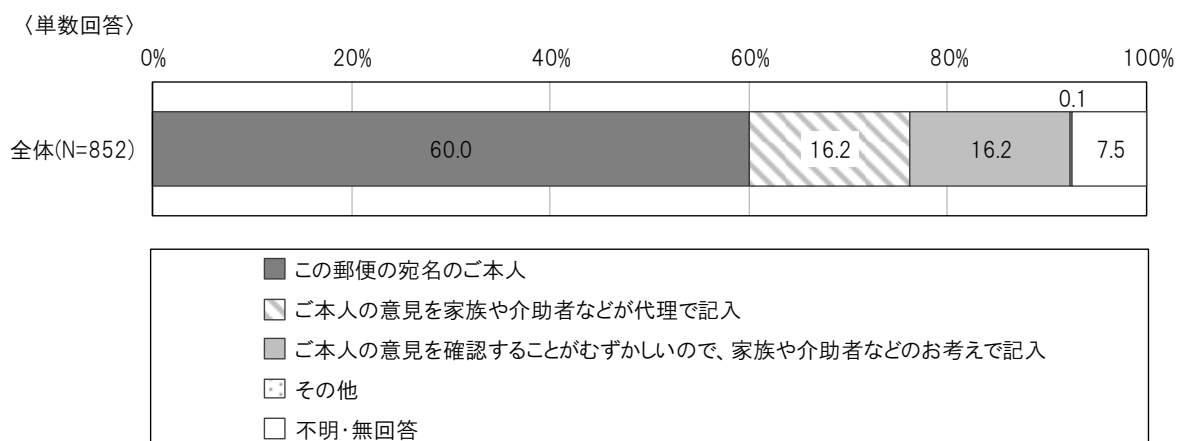
Ⅱ 調査結果

1. 性別・年齢・ご家族などについて

1. 性別・年齢・ご家族などについて

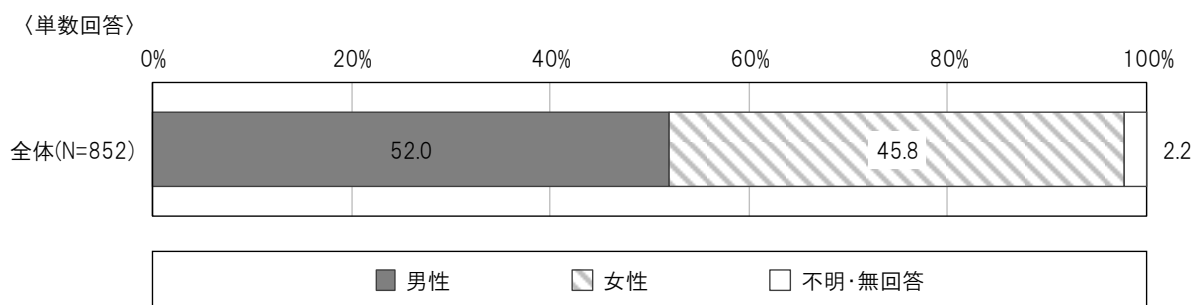
■ この調査票をご記入になる人はどなたですか。(1つだけ○)

「この郵便の宛名のご本人」が60.0%と最も高くなっています。



問1. あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

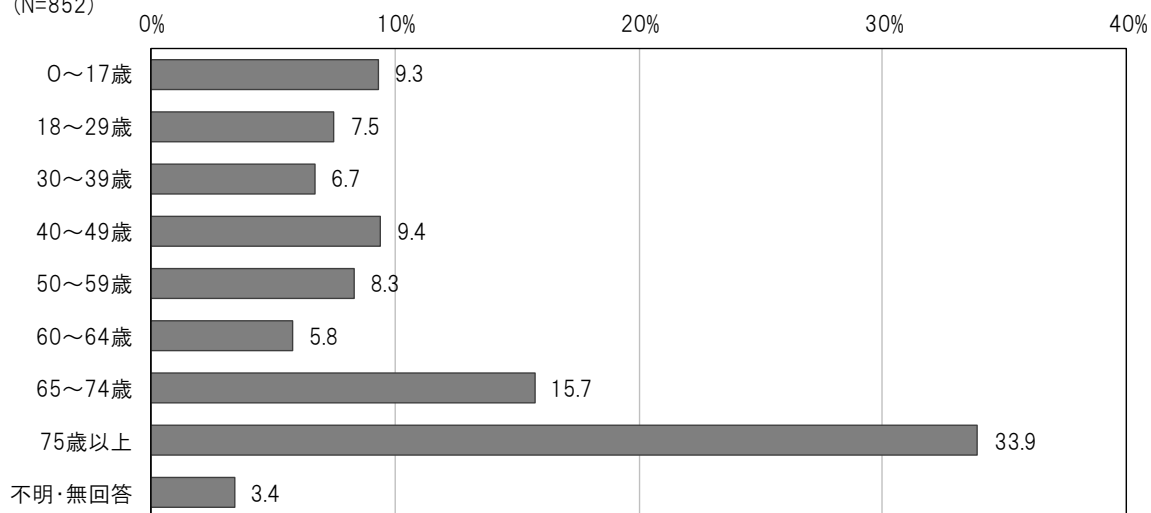
「男性」が52.0%、「女性」が45.8%となっています。



問 2. あなたの年齢は、満何歳ですか。

「75歳以上」が33.9%と最も高くなっています。

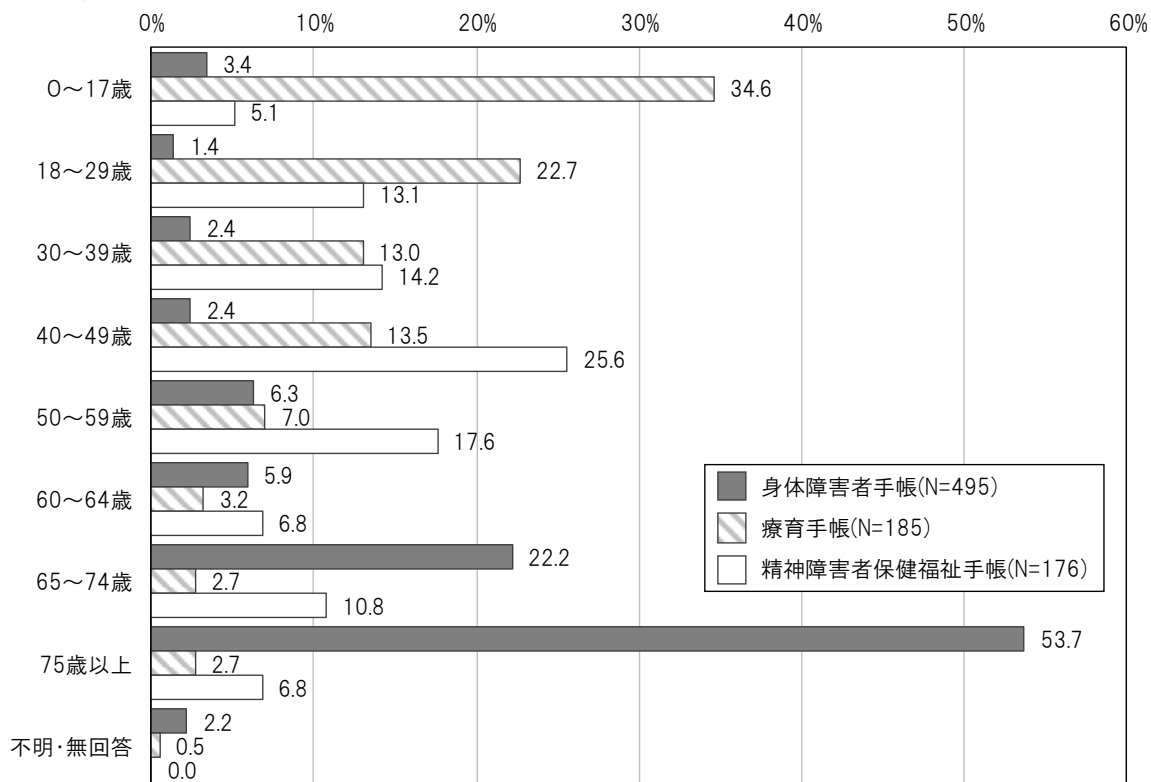
〈数量回答〉
(N=852)



【所持手帳種類別グラフ】

以下の通りです。

〈数量回答〉



Ⅱ 調査結果

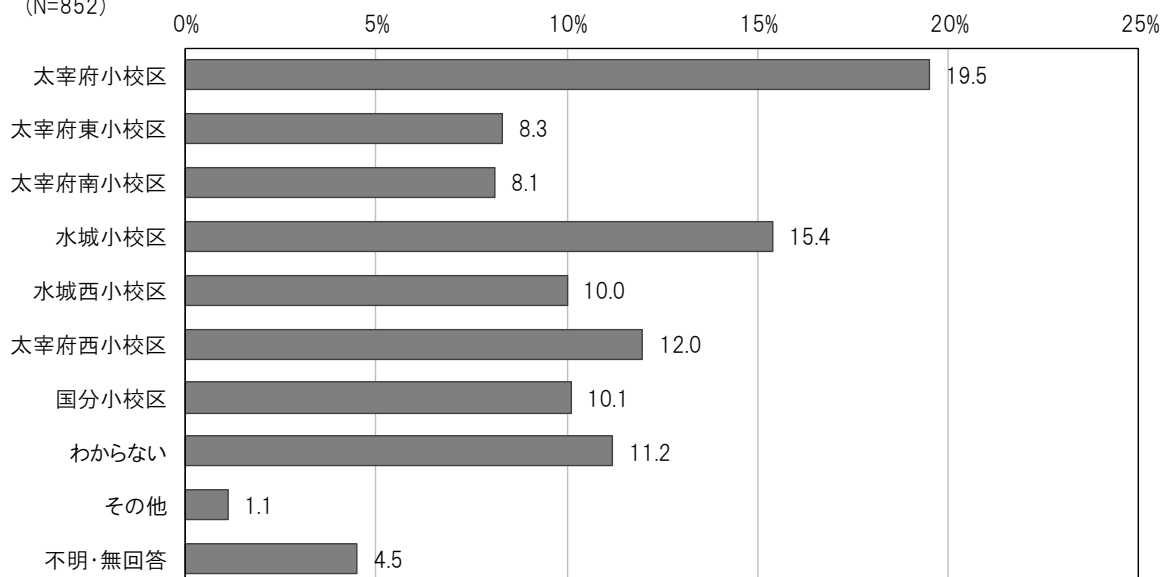
1. 性別・年齢・ご家族などについて

問3. あなたが現在お住まいの校区はどこですか。(1つだけ○)

「太宰府小校区」が19.5%と最も高くなっています。

〈単数回答〉

(N=852)



【その他回答】

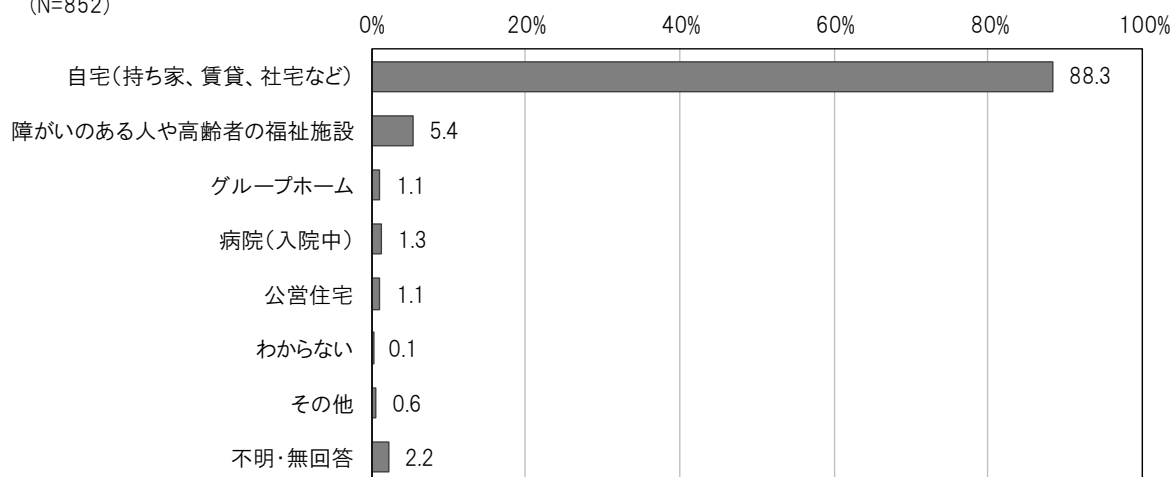
- ・ 2月まで国分小校区現在は転居（市外）
- ・ えのき地区
- ・ 朱雀
- ・ 太宰府市都府楼南
- ・ 通古賀
- ・ 白川

問4. あなたの住まい(暮らしているところ、生活の場)はどこですか。(1つだけ○)

「自宅(持ち家、賃貸、社宅など)」が88.3%と最も高くなっています。

〈単数回答〉

(N=852)



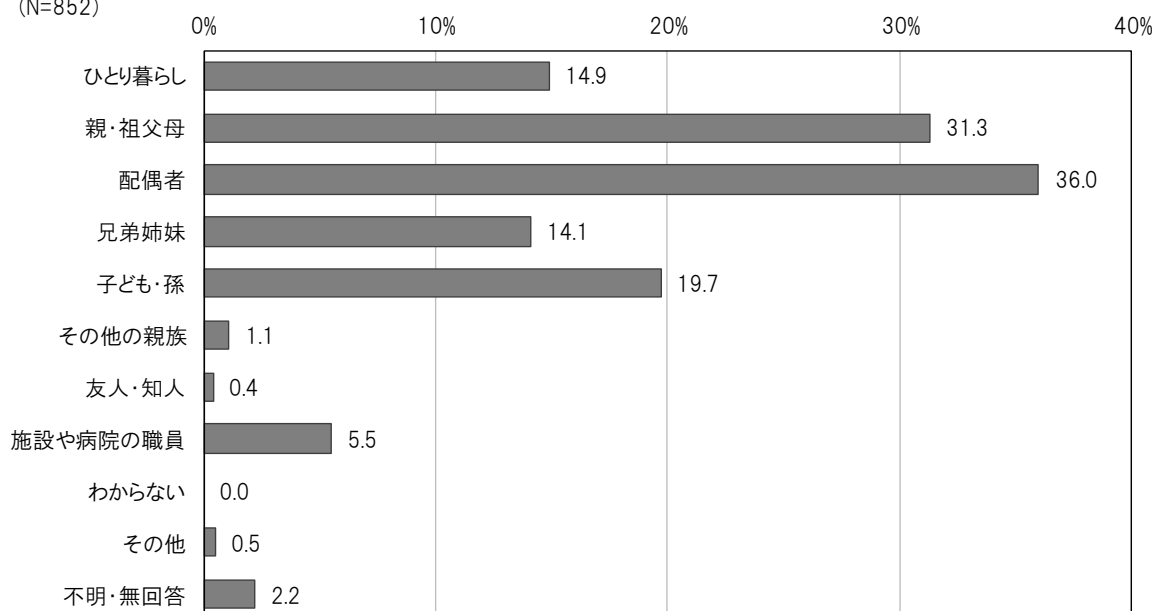
【その他回答】

- ・ 自宅：金曜の夕方～日曜の夕方まで。ケアホーム：日曜の夕方～金曜の朝まで。デイサービス：日中（月～金）
- ・ 施設関係のアパート
- ・ 娘の持ち家
- ・ 姉の家

問 5. あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者」が 36.0%と最も高くなっています。

〈複数回答〉
(N=852)



【その他の親族】

- ・ 配偶者の母
- ・ 子の夫
- ・ 弟の家族
- ・ おば

【その他回答】

- ・ 施設利用者
- ・ 家族
- ・ 子どもの妻
- ・ 内夫

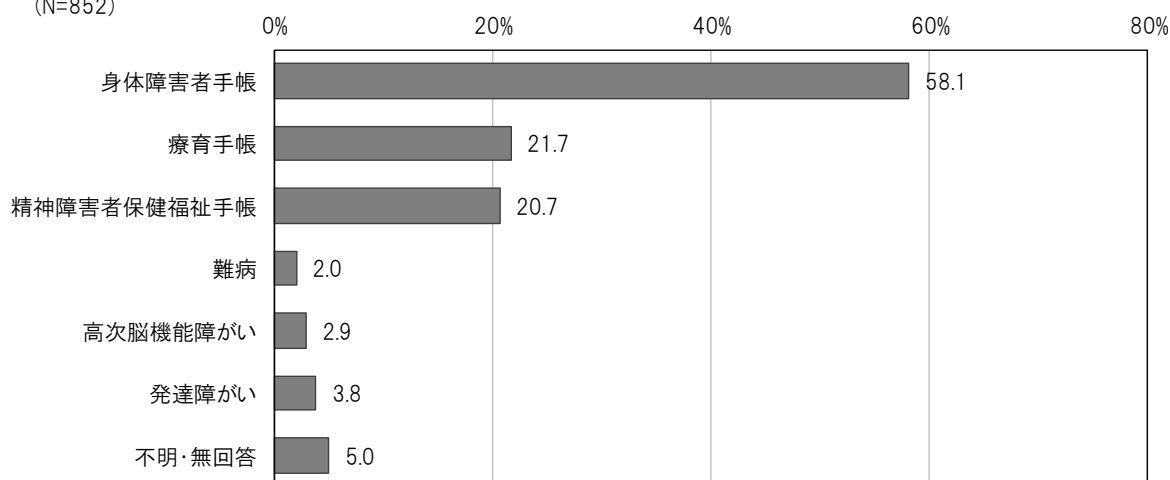
Ⅱ 調査結果
2. 障がいの状況について

2. 障がいの状況について

問 6. あなたがお持ちの手帳や障がいについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、その内容について、○をつけてください。

所持している手帳や障がいについてみると、「身体障害者手帳」が 58.1%と最も高く、次いで「療育手帳」が 21.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が 20.7%となっています。

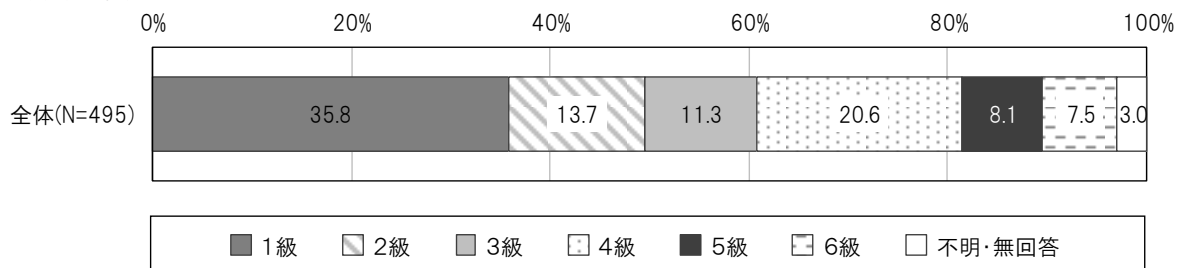
〈複数回答〉
(N=852)



<身体障害者手帳の種類>

身体障害者手帳の種類についてみると、「1級」が 35.8%と最も高く、次いで「4級」が 20.6%、「2級」が 13.7%となっています。

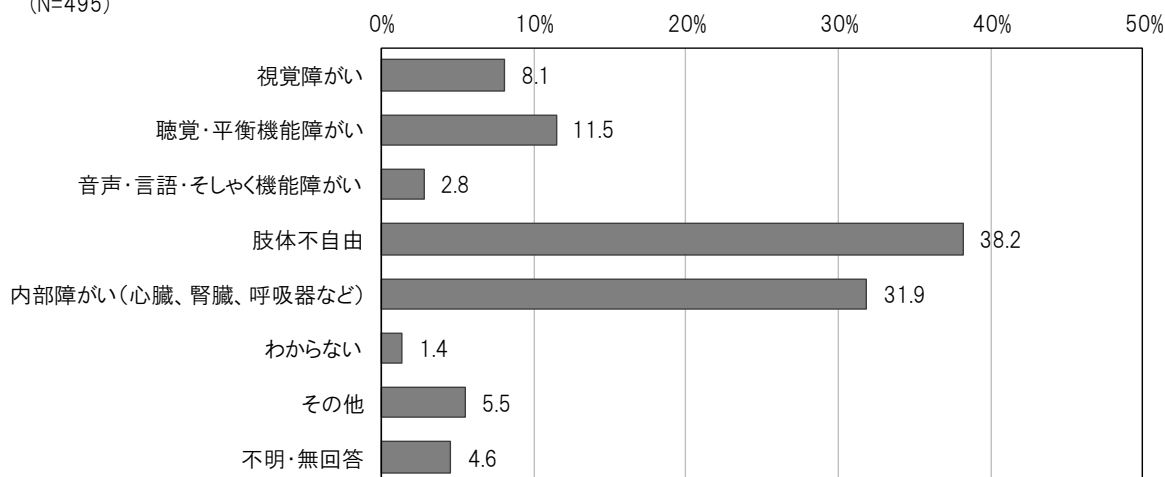
〈単数回答〉



<身体障がいの種類>

身体障がいの種類についてみると、「肢体不自由」が38.2%と最も高く、次いで「内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器など)」が31.9%、「聴覚・平衡機能障がい」が11.5%となっています。

(複数回答)
(N=495)



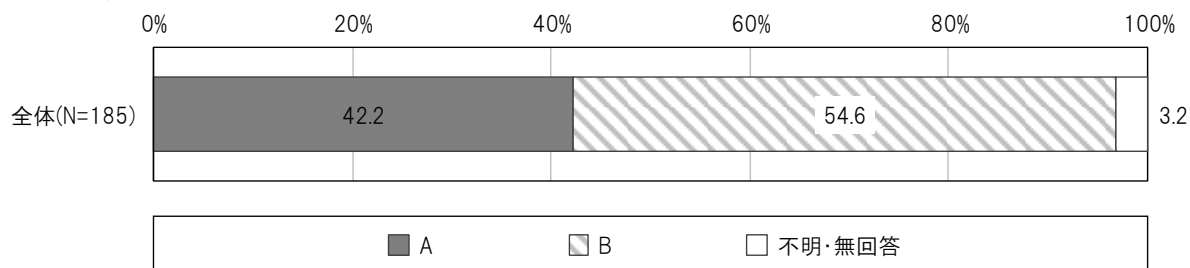
【その他回答】

- ・ ストーマ、人工こう門 (5)
- ・ 脳梗塞による両下肢の軽度の障がい
- ・ 人工骨頭 足の付け根
- ・ 体幹機能障がい
- ・ パーキンソン
- ・ 両外反偏平足
- ・ 直腸機能
- ・ 免疫
- ・ 左肘関節の障がい
- ・ 両足変形ひざ
- ・ 膝に人工関節
- ・ 視野障がい
- ・ 消化器
- ・ 左股関節の機能
- ・ 変形股関節症
- ・ 足、膝、手指
- ・ 人工関係
- ・ 直腸癌

<療育手帳の種類>

療育手帳の種類についてみると、「B」が54.6%、「A」が42.2%となっています。

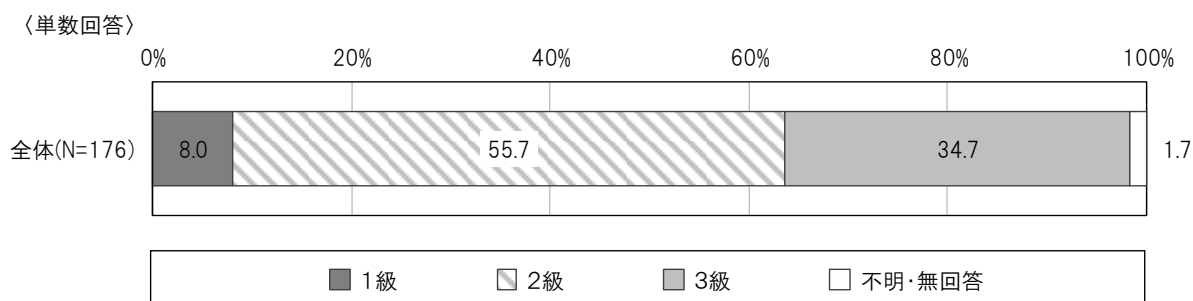
(単数回答)



Ⅱ 調査結果
2. 障がいの状況について

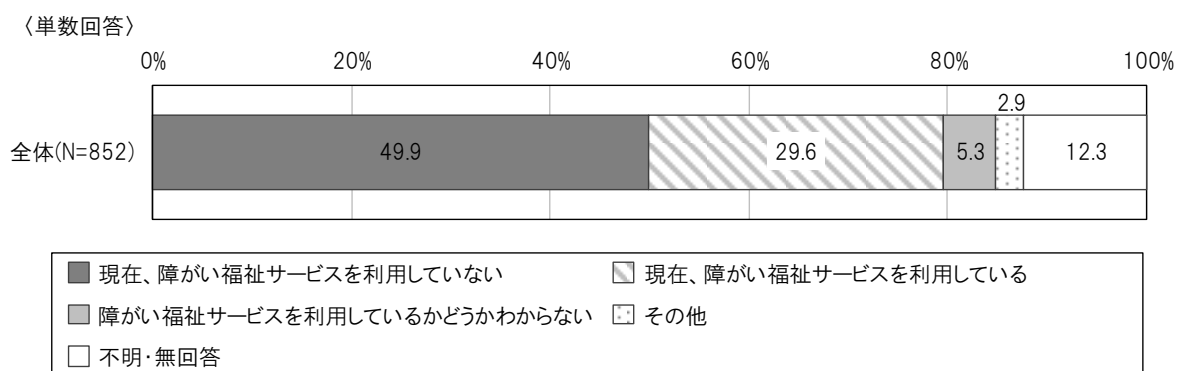
<精神障害者保健福祉手帳の種類>

精神障害者保健福祉手帳の種類についてみると、「2級」が 55.7%と最も高く、次いで「3級」が 34.7%、「1級」が 8.0%となっています。



問 7. 現在、あなたは障害者総合支援法もしくは児童福祉法による障がい福祉サービス（日常生活に必要な介護を提供する介護給付、社会生活に必要なスキルを身につける訓練や自立へのサポートを行う訓練等給付、また障がい児の発達等を支援する通所・入所支援など）を利用していますか。（1つだけ○）

障がい福祉サービスの利用状況についてみると、「現在、障がい福祉サービスを利用していない」が 49.9%と最も高く、次いで「現在、障がい福祉サービスを利用している」が 29.6%、「障がい福祉サービスを利用しているかどうかわからない」が 5.3%となっています。



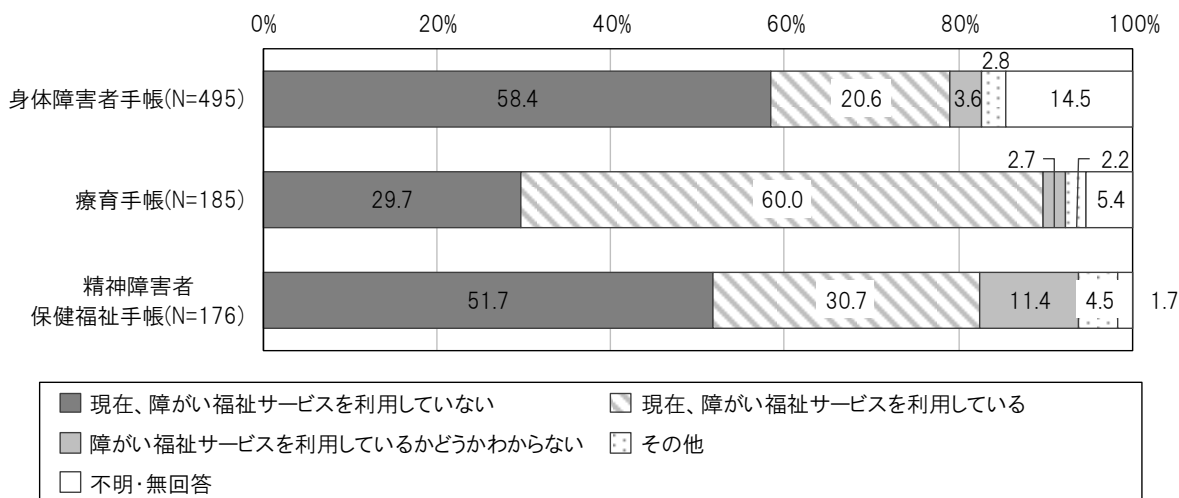
【その他回答】

- ・ 介護保険サービス利用（2）
- ・ 家族としては将来の事を考えて訓練として、サービスを利用させたいが本人が嫌がるので利用していない。すぐに利用出来るように役所をお願いしてサービスを受けれる状態にはして頂いている
- ・ 太宰府市社会福祉協議会のほのぼのあんしんシステムを利用
- ・ 通所リハビリを利用している
- ・ 訪問リハビリテーション
- ・ 高齢者ホーム
- ・ リハビリ
- ・ 利用のやり方がわからない
- ・ 病院への通院をしている
- ・ デイホス
- ・ 入院中

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では「現在、障がい福祉サービスを利用していない」が、療育手帳では「現在、障がい福祉サービスを利用している」の割合が高くなっています。

〈単数回答〉

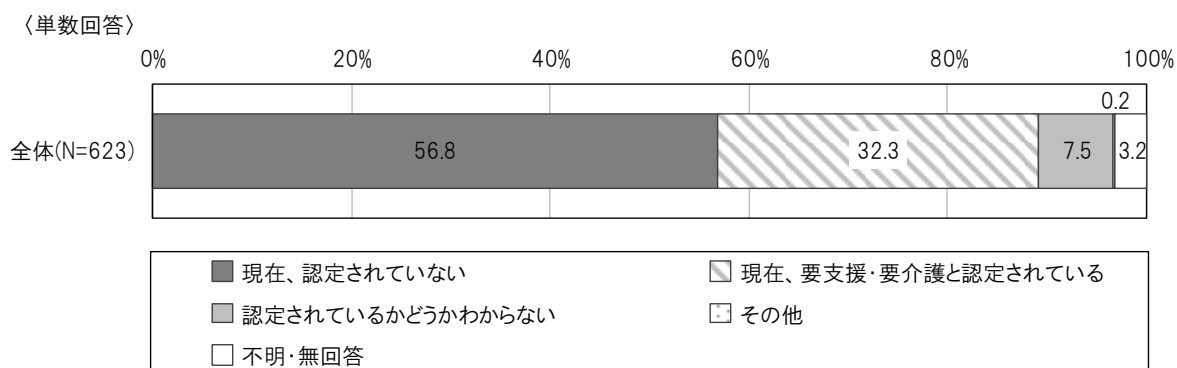


Ⅱ 調査結果
2. 障がいの状況について

【調査対象者の年齢が40歳以上の方のみ】

問8. 現在、あなたは介護保険において、要支援・要介護と認定されていますか。
(1つだけ○)

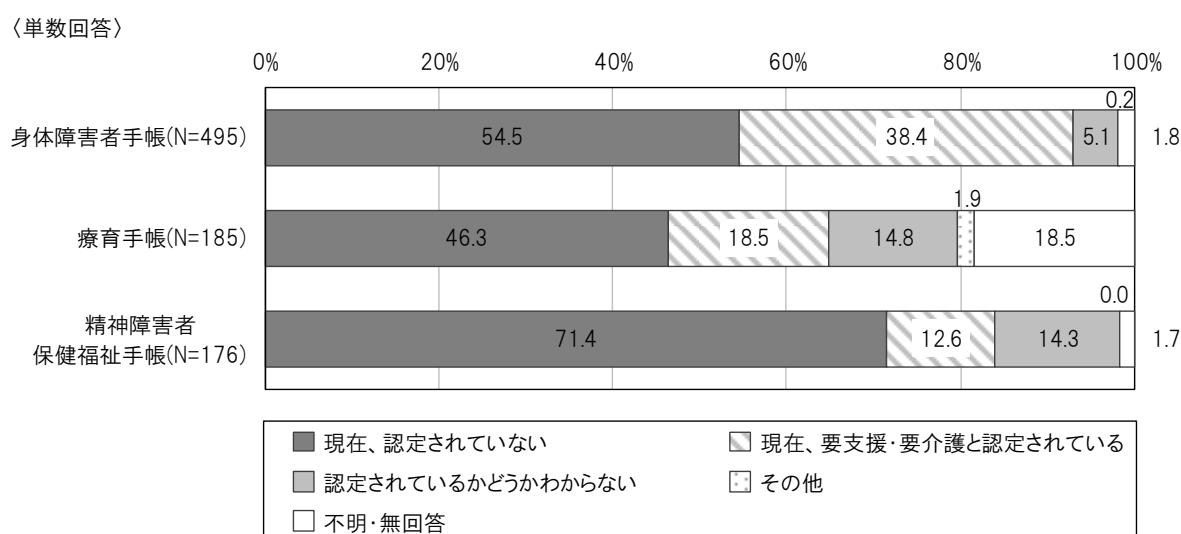
現在の要支援・要介護の認定状況についてみると、「現在、認定されていない」が 56.8%と最も高く、次いで「現在、要支援・要介護と認定されている」が 32.3%、「認定されているかどうか分からない」が 7.5%となっています。



【その他回答】
(回答なし)

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「現在、認定されていない」の割合が最も高くなっています。また、身体障害者手帳では「現在、要支援・要介護と認定されている」の割合が他の手帳より比較的高くなっています。

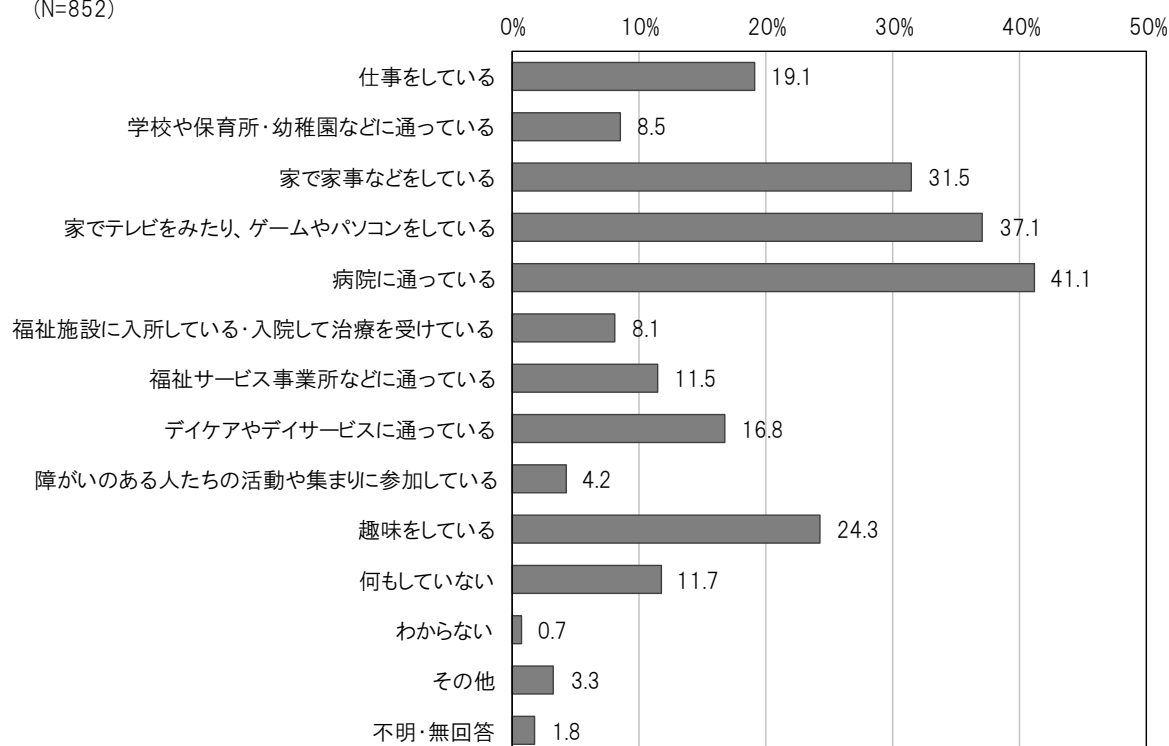


3. 現在の生活について

問9. あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

日中の過ごし方についてみると、「病院に通っている」が41.1%と最も高く、次いで「家でテレビをみたり、ゲームやパソコンをしている」が37.1%、「家で家事などをしている」が31.5%となっています。

(複数回答)
(N=852)



【その他回答】

- ・ 散歩 (3)
- ・ 週1回テニス (2時間) いきいき情報センターのスポーツジム (週2回)
- ・ 週2、3回通所して、家で過ごす日は散歩 (親と) 簡単な家事手伝い
- ・ フィットネスクラブまたは春日公園を歩いている
- ・ 現在、治療中で入院、自宅療養しております
- ・ 入園前の為、健常児と同様母と自宅での生活
- ・ 手足が不自由なのでどうしようもない
- ・ 自然に触れたり、軽い運動や散歩等
- ・ 移動支援を利用して出かける
- ・ 友人や親戚の人達の訪問
- ・ 週3回「カーブス」で筋トレをしている
- ・ 寝たきり状態で全介助を受けている
- ・ スマートフォンで動画を見ている
- ・ ハローワーク (失業中の為)
- ・ 区役員、公民館副主事

II 調査結果

3. 現在の生活について

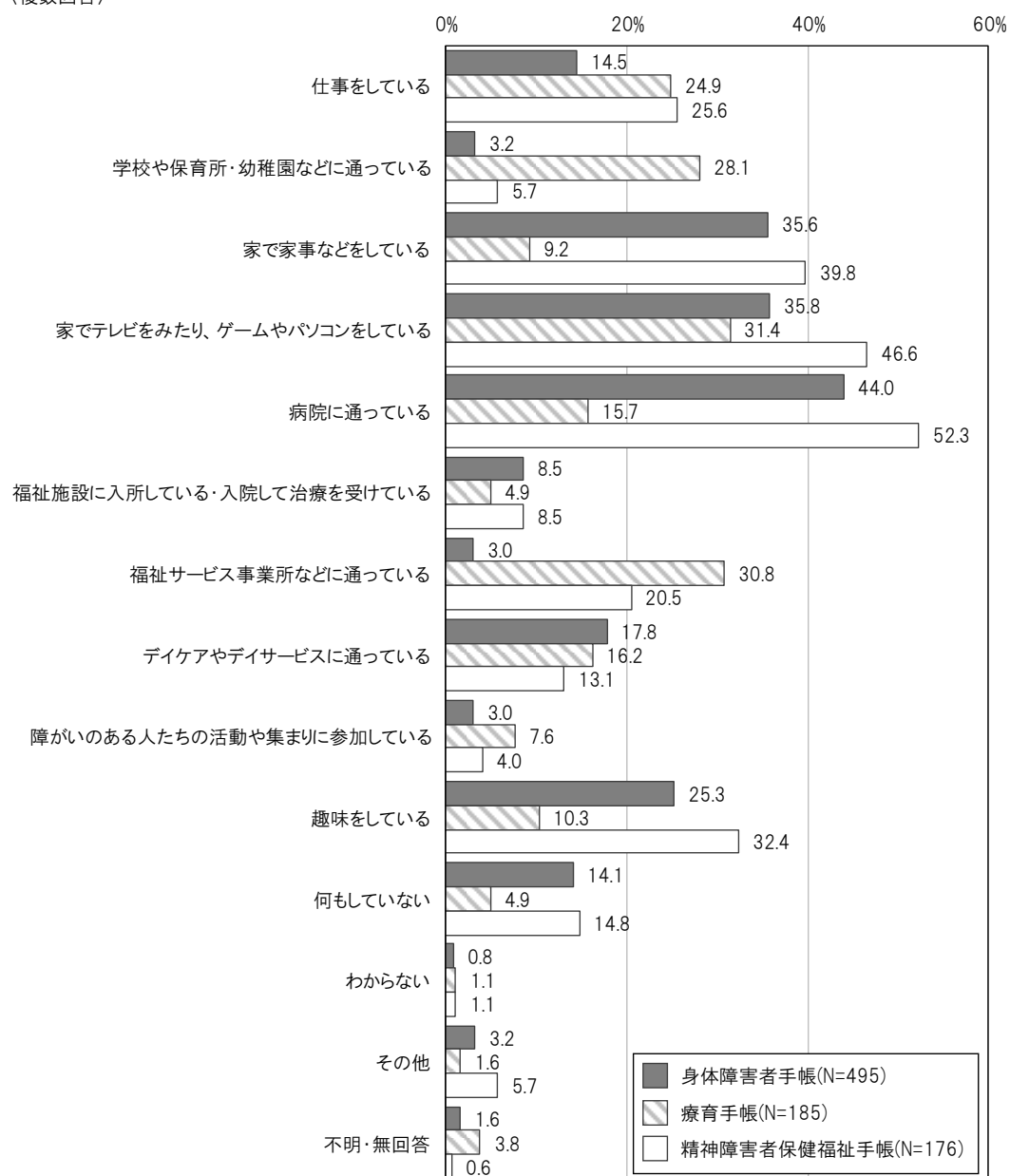
【その他回答】（続き）

- ・ ウォーキング（毎日）
- ・ 総合病院へ入院中
- ・ 孫が来る、透析
- ・ 自治会活動
- ・ 社会活動
- ・ ラジオを聞いている
- ・ 認知症の母の介護
- ・ 民間のジム
- ・ 寝ている
- ・ 文筆活動

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では「病院に通っている」が、療育手帳では「家でテレビをみたり、ゲームやパソコンをしている」の割合が最も高くなっています。

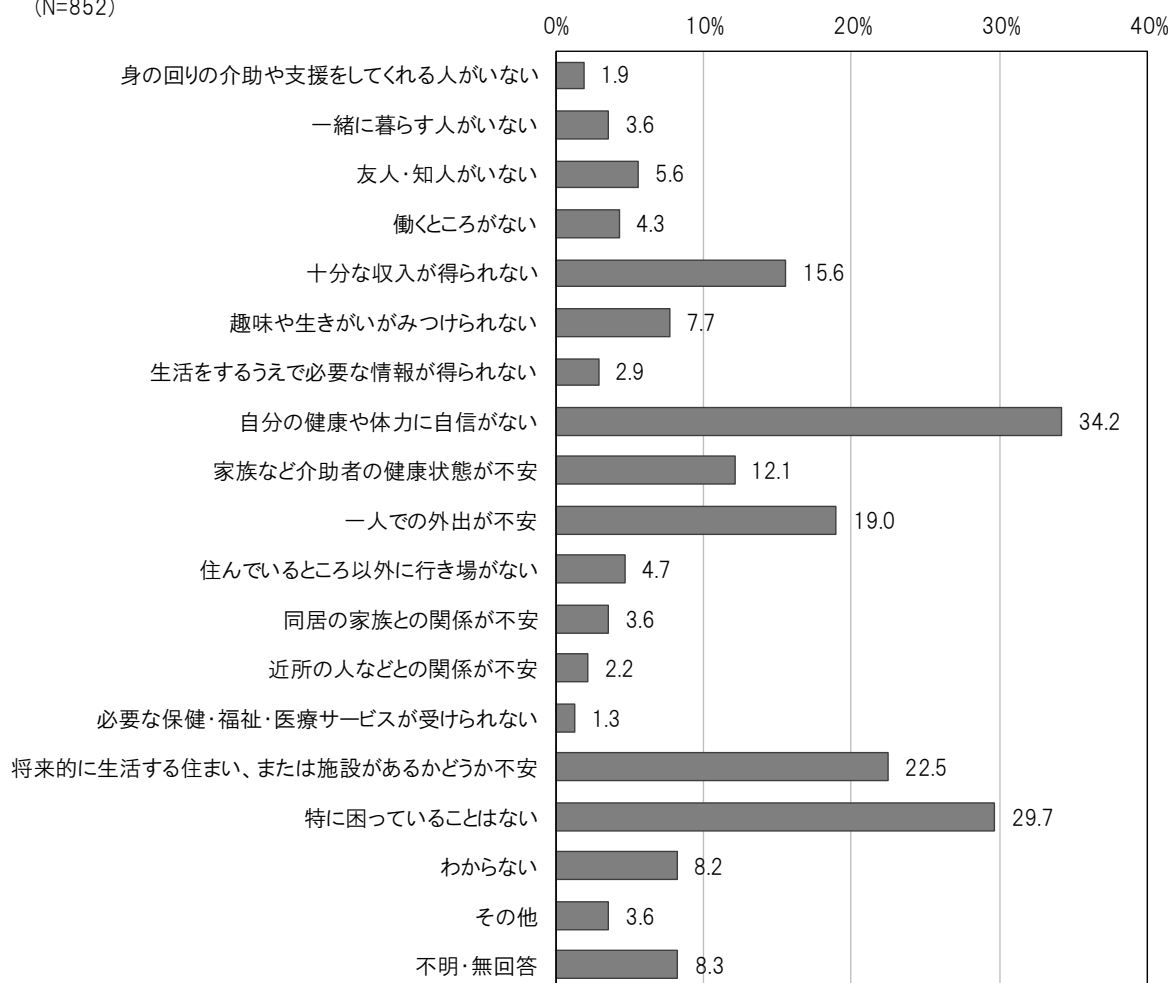
（複数回答）



問10. 現在の生活で困っていることや不安なことはどのようなことですか。(主なものを3つに〇)

現在の生活での困りごとや不安なことについてみると、「自分の健康や体力に自信がない」が 34.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が 29.7%、「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」が 22.5%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



Ⅱ 調査結果

3. 現在の生活について

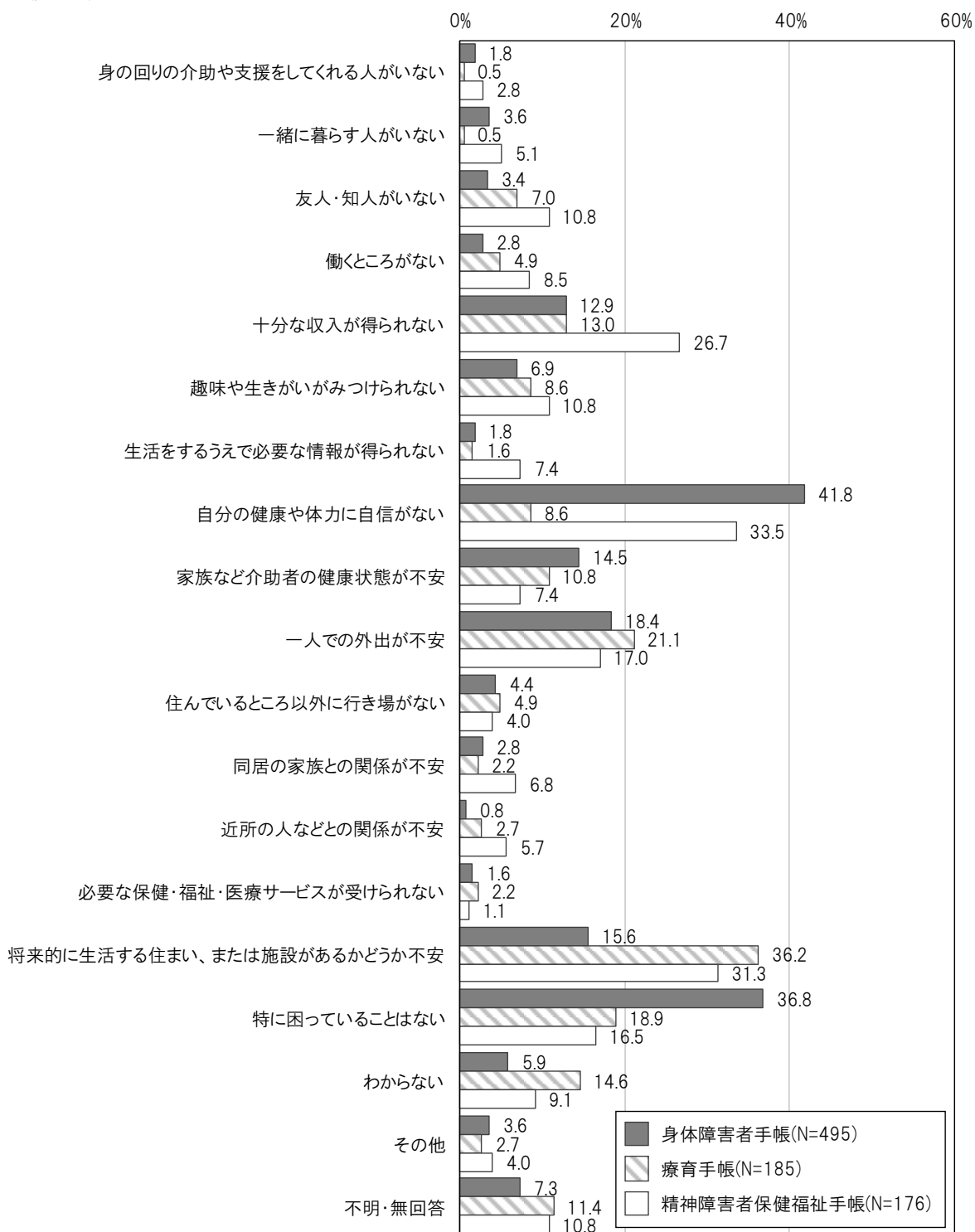
【その他回答】

- ・ 将来親なきあと（3）
- ・ 現在、介護付き有料老人ホームに入居している。特別養護老人ホームと比べて費用が高い。必要な人が特養に入れるように特養を増やしてほしい（順番待ちしている人が多い）
- ・ 住んでいる地区で「婦人部」という役員が回ってくる。具合が悪い病気と言ってもわかってもらえない
- ・ 自分で病院に行ってカルテ記入など良くわからない。お金のやり繰り、将来どうしていいかわからない。
- ・ 通院（精神科）の診療費、通院の交通費（高速道路のETC割引が無い）
- ・ 加齢と体力の低下。近くにお店がなく、運転が出来なくなった時の不安
- ・ 友人や対人とのコミュニケーションが苦手な為不安（人間関係）
- ・ 今の自分の年金では少ないので毎日不安で不安でいっぱいです
- ・ 来客や郵便物のインターホンが聞こえない時がある
- ・ 貯蓄を切り崩しているので、年金が下がるのが不安
- ・ 友達と話したい、遊びたいのに入っていけない
- ・ 考える事がない。そもそも気にする思考がない
- ・ 病気持ちだと、あまり快く預かってもらえない
- ・ 今の職が続けられるか、雇ってくれるか不安
- ・ 職種が限られているので働く事業所が少ない
- ・ 複数の疾病に対応できる病院が近くにない
- ・ お母さんに会いたいけどあまり会えない
- ・ 今は1人でも生活出来ています
- ・ 現在、住居が取り壊しの為不安
- ・ 自分の事が自分だけでできない
- ・ まだ3歳なので発達途上です
- ・ あまり歩けない、15歩ぐらい
- ・ お金が少ししか蓄えがない
- ・ 言葉があまり出ていない
- ・ 1人での外出が出来ない
- ・ 生活の維持に不安
- ・ 風呂に入れたい
- ・ 将来全般
- ・ 金銭
- ・ 年金

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では「自分の健康や体力に自信がない」が、療育手帳では「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳では「十分な収入が得られない」の割合が他の手帳より比較的高くなっています。

〈複数回答〉



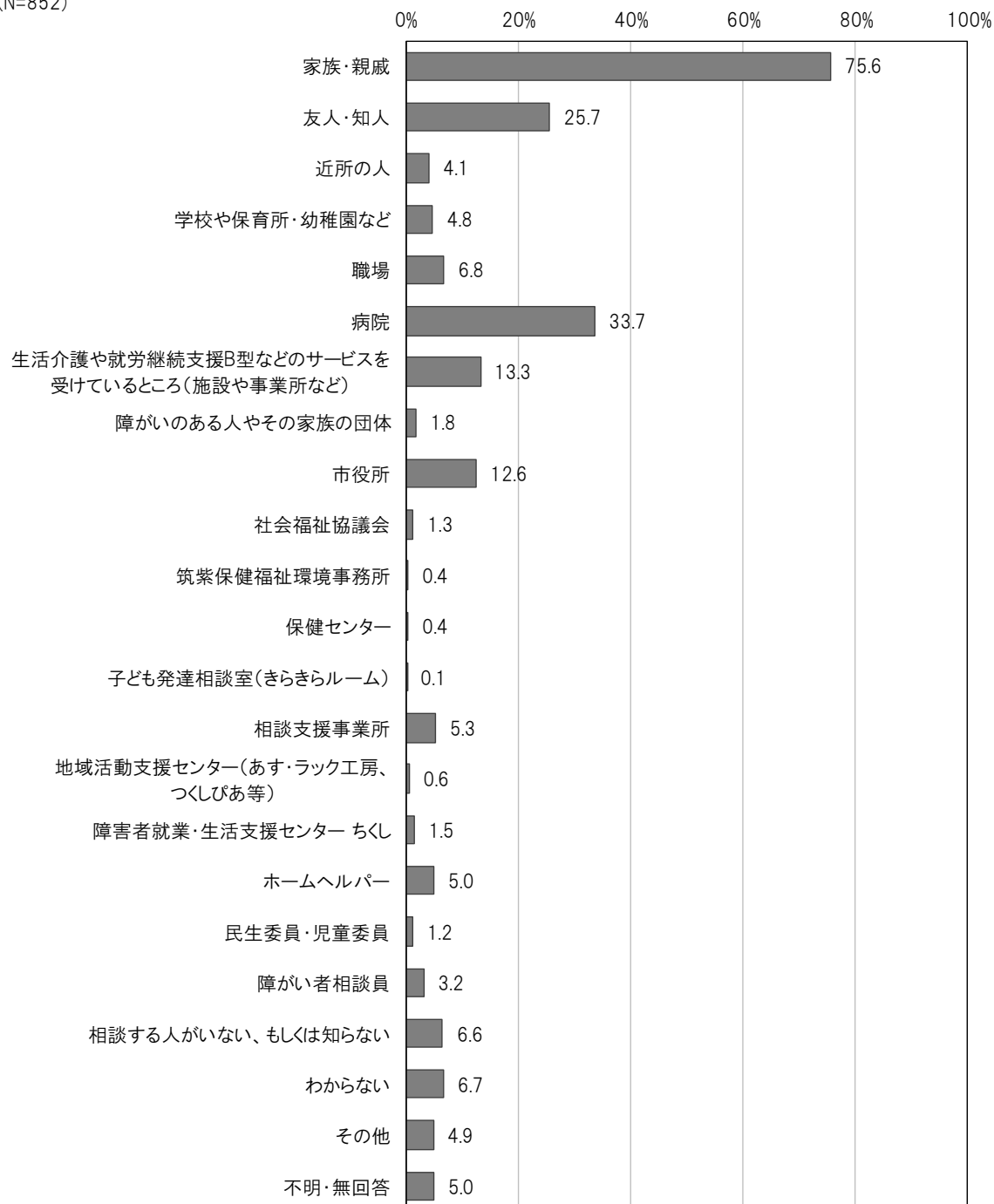
Ⅱ 調査結果

3. 現在の生活について

問11. あなたが悩みや困ったことを相談するのはどなた(どこ)ですか。(主なものを3つに○)

悩みや困ったことの相談先についてみると、「家族・親戚」が 75.6%と最も高く、次いで「病院」が 33.7%、「友人・知人」が 25.7%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



【その他回答】

- ・ ケアマネジャー（7）
- ・ 地域包括支援センター（4）
- ・ 児童発達事業所（2）
- ・ 本人が相談することはありません（家族が相談するとすれば7、9、19）
- ・ 相談しても仕方がない事しかないので、誰にも相談しない
- ・ 判断が出来ないので相談する事はない
- ・ 相談する事が出来ない（重度の為）
- ・ 就労移行支援センターの人
- ・ まだその心配はない
- ・ 障がい者施設職員
- ・ デイサービス
- ・ 訪問看護師
- ・ 相談しない
- ・ 療育施設
- ・ 入居施設職員（5）
- ・ 話せないので相談出来ません（3）
- ・ 図書館のレファレンスで時々調べる
- ・ ケアマネジャー、訪問看護の方
- ・ 精神福祉保健センター
- ・ 放課後デイや療育先
- ・ リハビリの先生
- ・ ハローワーク
- ・ デイの先生
- ・ デイケア

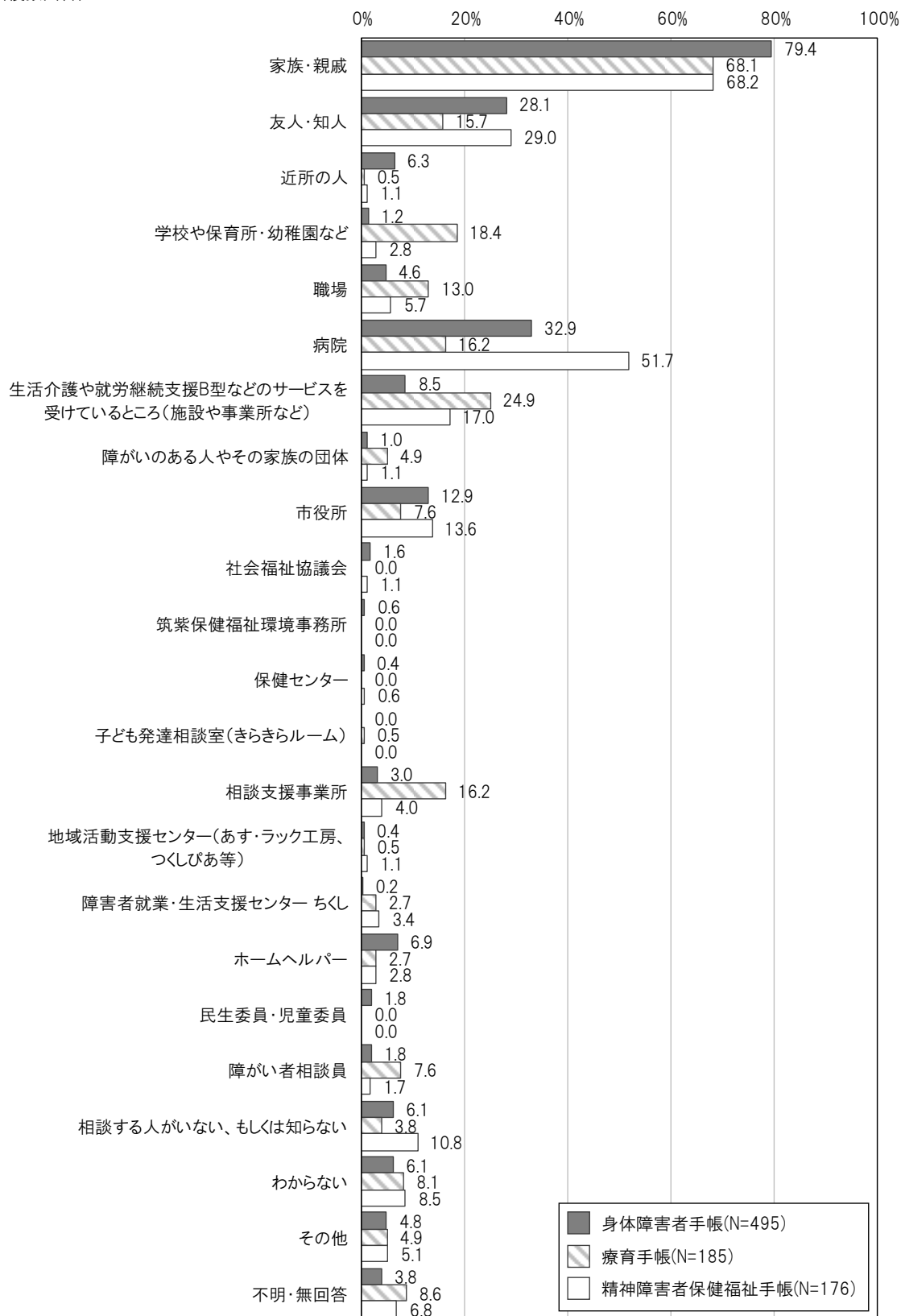
II 調査結果

3. 現在の生活について

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「家族・親戚」の割合が最も高くなっています。

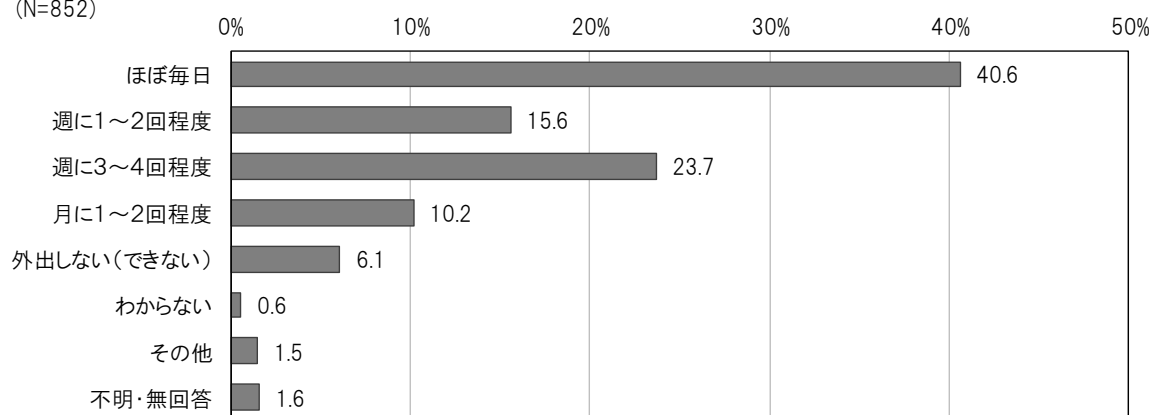
〈複数回答〉



問12. あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通院などを含みます)(1つだけ○)

外出頻度についてみると、「ほぼ毎日」が 40.6%と最も高く、次いで「週に3～4回程度」が 23.7%、「週に1～2回程度」が 15.6%となっています。

〈単数回答〉
(N=852)



【その他回答】

- ・ 2ヶ月に1～2回 (2)
- ・ 年に2～3回 (2)
- ・ 検査がある時3ヶ月～半年の間に1～2回
- ・ その時の体調により変わる
- ・ 病院に行く時だけ
- ・ 2ヶ月に1回 (2)
- ・ 施設に入所しているのでわかりません
- ・ 休みは出ず、学校は出る
- ・ 月に3回

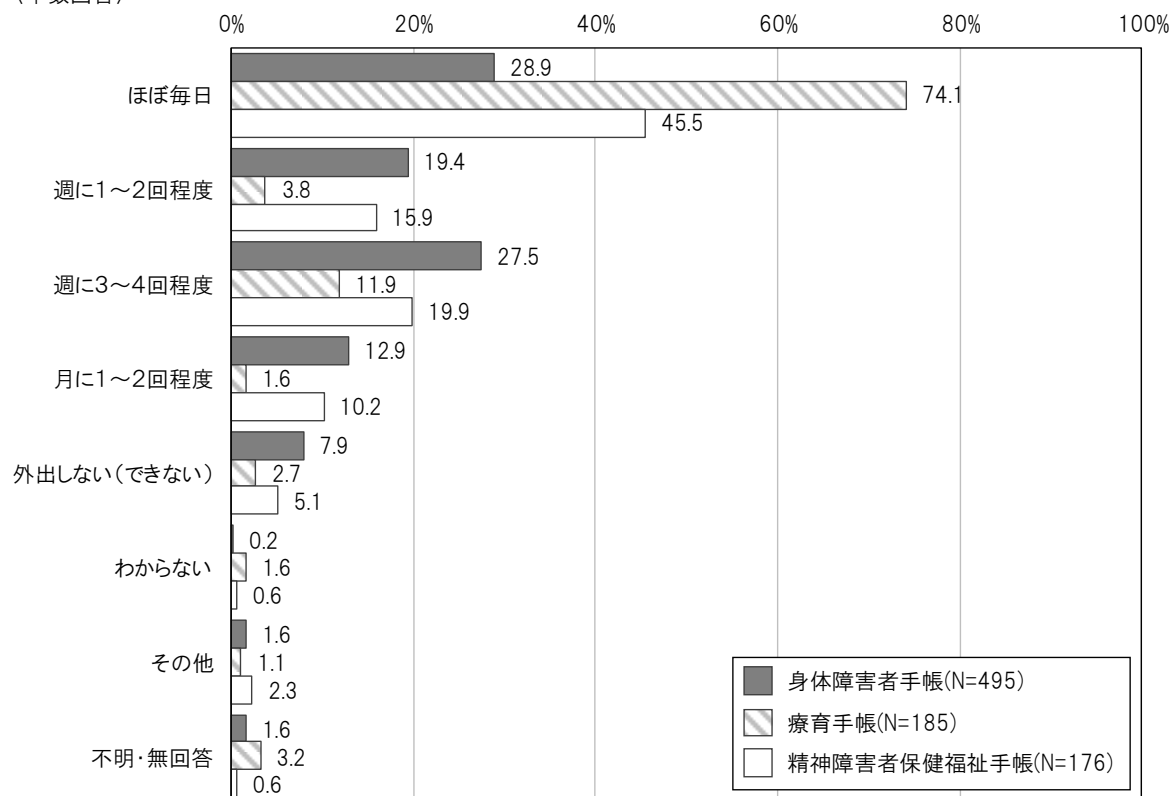
Ⅱ 調査結果

3. 現在の生活について

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「ほぼ毎日」の割合が最も高く、次いで「週に3～4回程度」となっています。

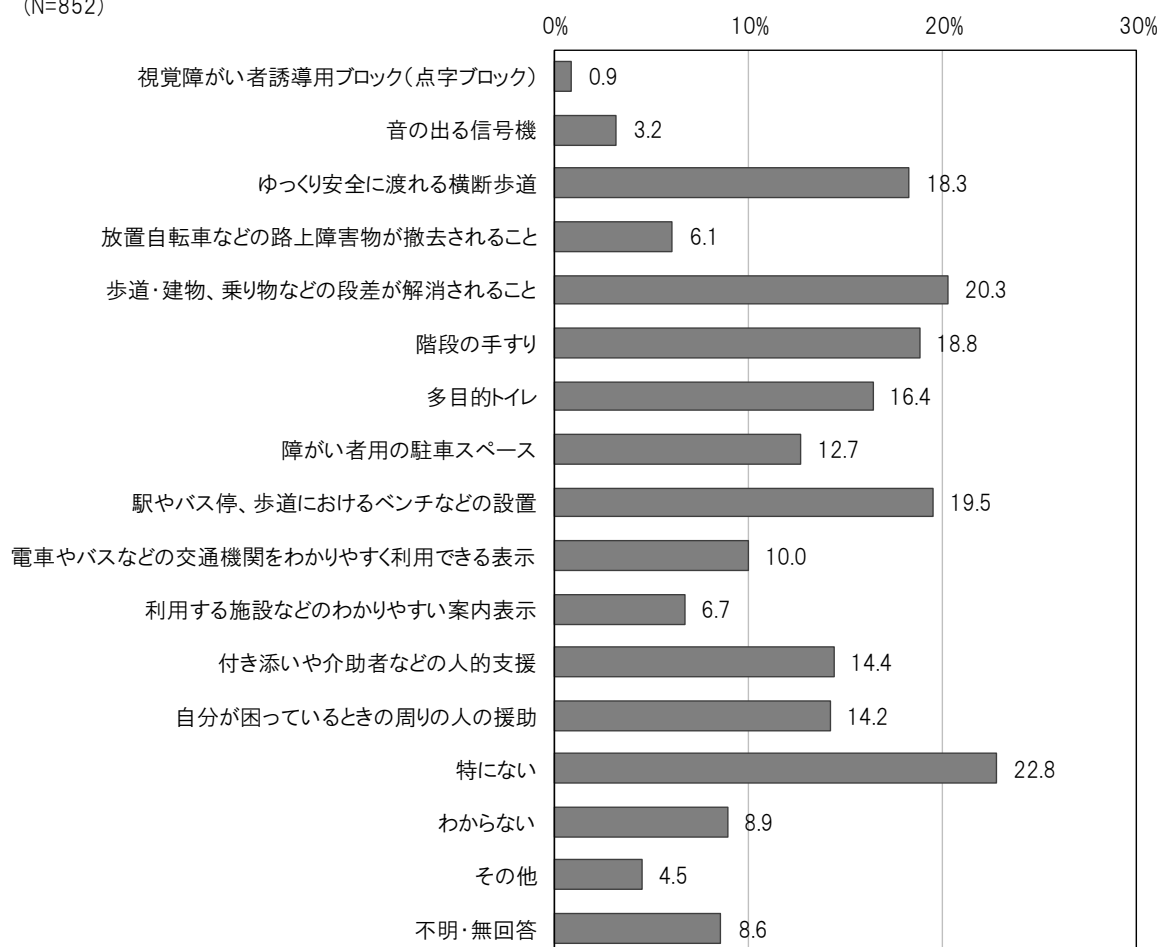
〈単数回答〉



問13. あなたが外出することを考えたとき、充実してほしいことはありますか。
(主なものを3つに○)

外出することを考えたとき、充実してほしいことについてみると、「特にない」が 22.8%と最も高くなっています。また、「特にない」以外の回答では、「歩道・建物、乗り物などの段差が解消されること」が 20.3%と最も高く、次いで「駅やバス停、歩道におけるベンチなどの設置」が 19.5%、「階段の手すり」が 18.8%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



Ⅱ 調査結果

3. 現在の生活について

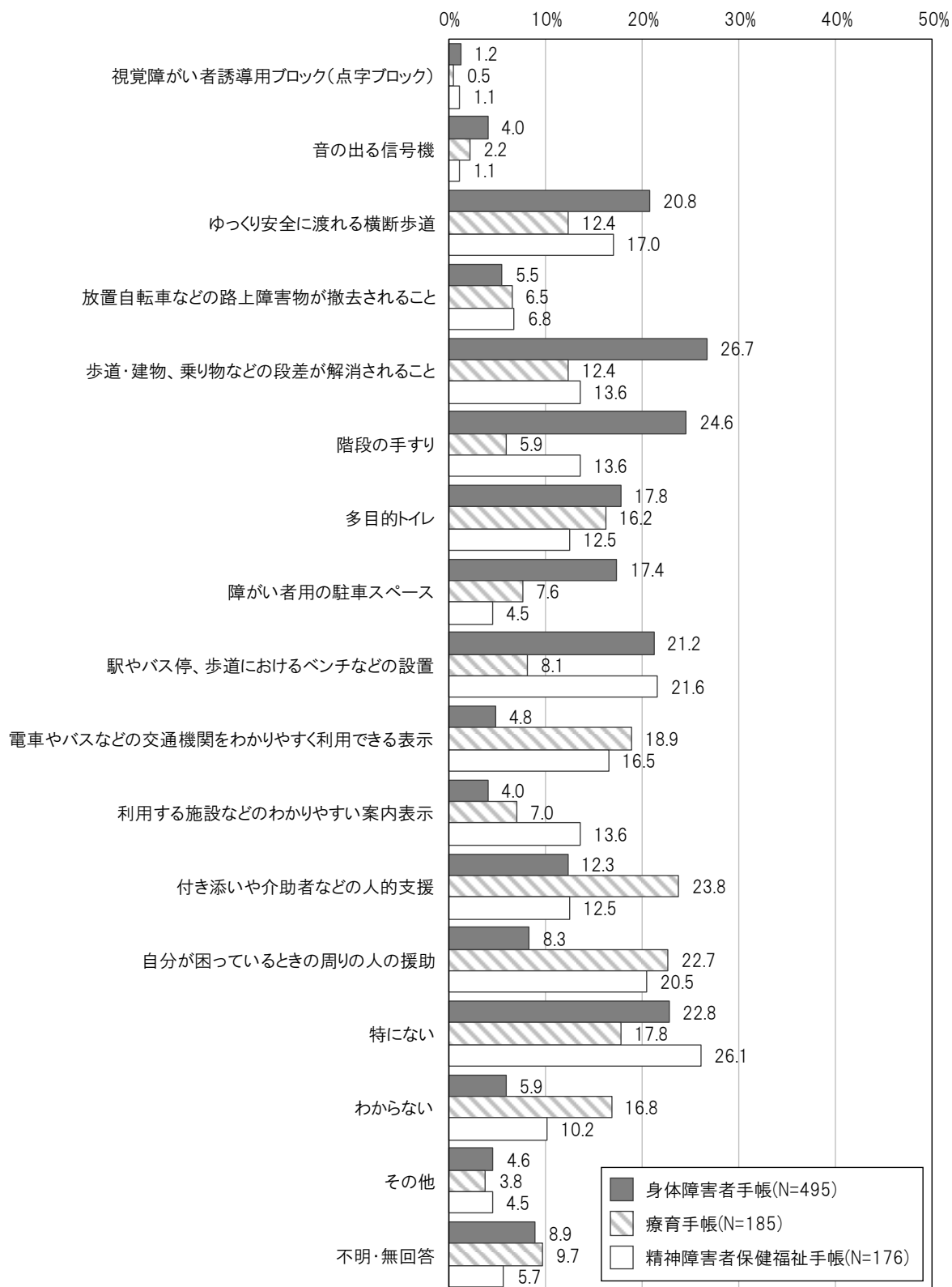
【その他回答】

- ・エレベーターやエスカレーターなどの設備（3）
- ・ヘルプカード→CMで流れているようなバッグに着けられるキーホルダータイプものを販売されると嬉しいです
- ・移動支援サービスが8Hまで/1日。遠方に外出する為には時間延長と宿泊利用のサービスがほしいです
- ・歩行者の歩道は側溝ふたの上であるため、歩道を邪魔する樹木は切断すること
- ・車椅子なので、タクシー、バス、電車で気をつかう。てか乗れない
- ・交通の便が悪い。周りにスーパーなどが無い為車がないと行けない
- ・西鉄ストアをもっと障がい者に使い易い様に市が補助して下さい
- ・介護タクシーの料金が安い（寝たきりの為、入院の際に利用）
- ・手帳の確認、諸手続きまで不要不急な確認を減らしてほしい
- ・自分が受けられる福祉サービスや手続き方法のお知らせ
- ・急な雨で傘を無料で貸してくれる所は必要と感じる
- ・今は1人での外出はなく、常に親や姉との外出
- ・市営バスを無料にしてほしい。全ての級で
- ・今は1人で外出することがありません
- ・市道交差点及び横断歩道の標示の設置
- ・足腰が少しずつ弱ってきている
- ・地域の人の目、特に市役所の人
- ・まほろば号の路線拡充
- ・自転車レーンの設置
- ・外出はしたくない
- ・坂道の整平
- ・交通費の精神障がい者に対する割引制度
- ・ヘルプカードに関する理解、啓発活動
- ・市のトイレを洋式を多くしてほしい
- ・商業施設等の椅子（本屋さん）
- ・街灯を多く設置してほしい
- ・タクシー補助の充実
- ・利用しやすい施設
- ・外出はしない
- ・座れる場所

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「歩道・建物、乗り物などの段差が解消されること」が、療育手帳では「付き添いや介護者などの人的支援」が、精神障害者保健福祉手帳では「特にない」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉



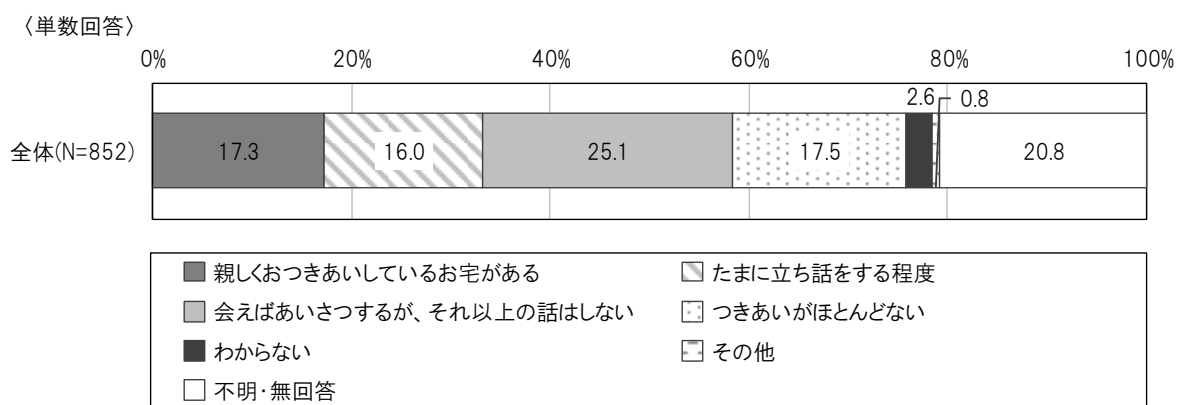
Ⅱ 調査結果

3. 現在の生活について

問14. あなたやご家族は、近所の人とどれくらいのおつきあいをしていますか。
あなた自身とご家族、それぞれについて、1つだけ○をご記入ください。

【あなた自身】

あなた自身の近所の人とのつきあいの状況についてみると、「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」が 25.1%と最も高く、次いで「つきあいがほとんどない」が 17.5%、「親しくおつきあいしているお宅がある」が 17.3%となっています。

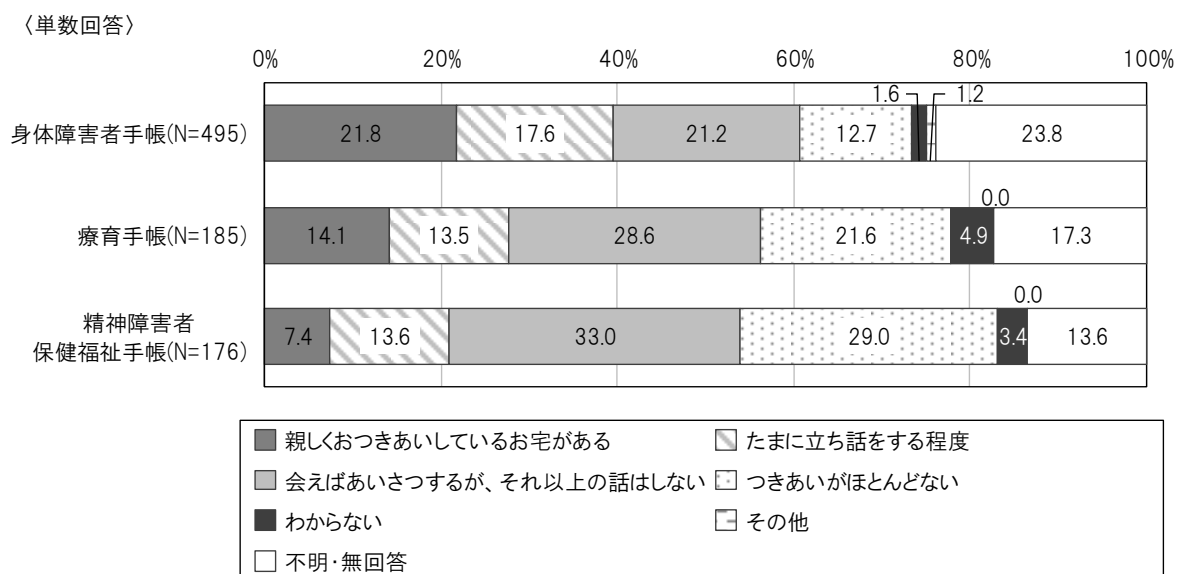


【その他回答】

- ・ 入居施設の方（隣室など）（3）
- ・ 認知症の為どの程度判別出来るか不明
- ・ 施設入所

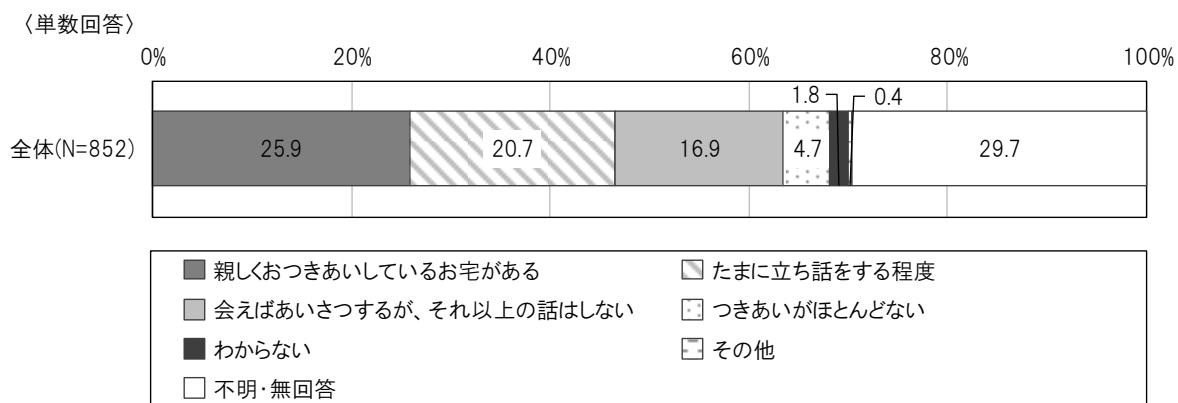
【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「親しくおつきあいしているお宅がある」が、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」の割合が最も高くなっています。身体障害者手帳では他の手帳所持者と比較して近所のつきあいをしている割合が高くなっています。



【ご家族】

家族の近所の人とのつきあいの状況についてみると、「親しくおつきあいしているお宅がある」が25.9%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度」が20.7%、「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」が16.9%となっています。

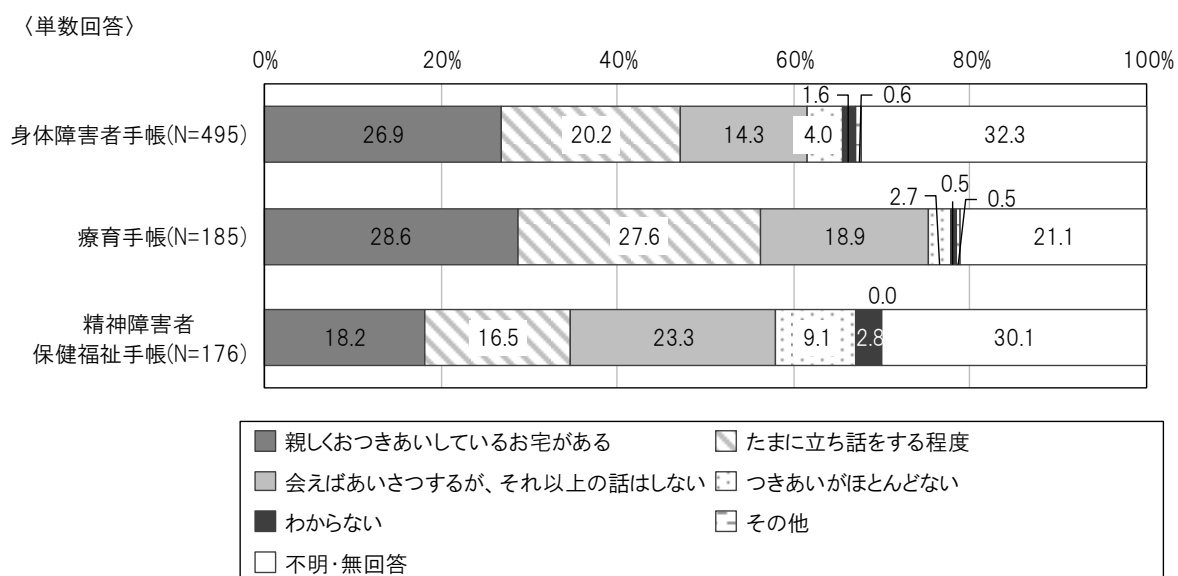


【その他回答】

(回答なし)

【所持手帳種類別グラフ】

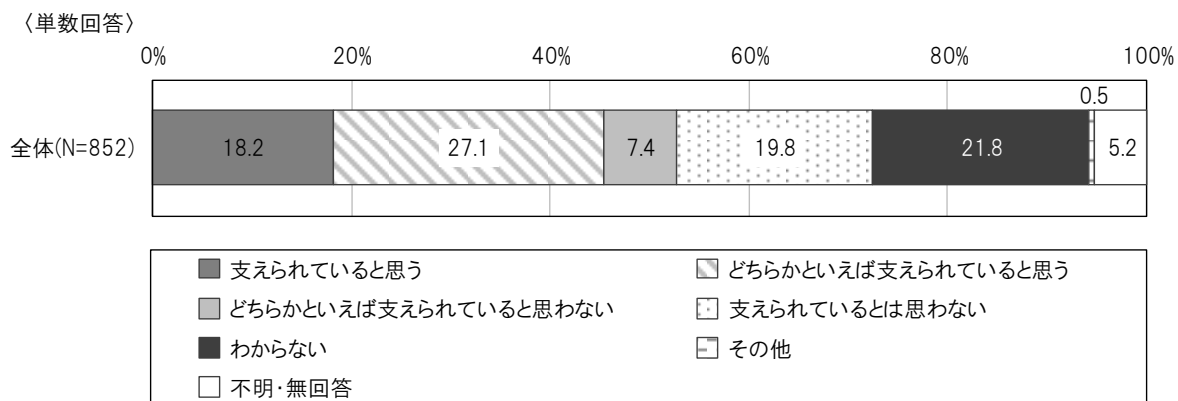
所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、療育手帳では「親しくおつきあいしているお宅がある」が、精神障害者保健福祉手帳では「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」の割合が最も高くなっています。



Ⅱ 調査結果
3. 現在の生活について

問15. あなたは地域の人たちに支えられているという実感をもっていますか。(1つだけ○)

地域の人たちに支えられているという実感をもっているかについてみると、「どちらかといえば支えられていると思う」が 27.1%と最も高く、次いで「わからない」が 21.8%、「支えられているとは思わない」が 19.8%となっています。

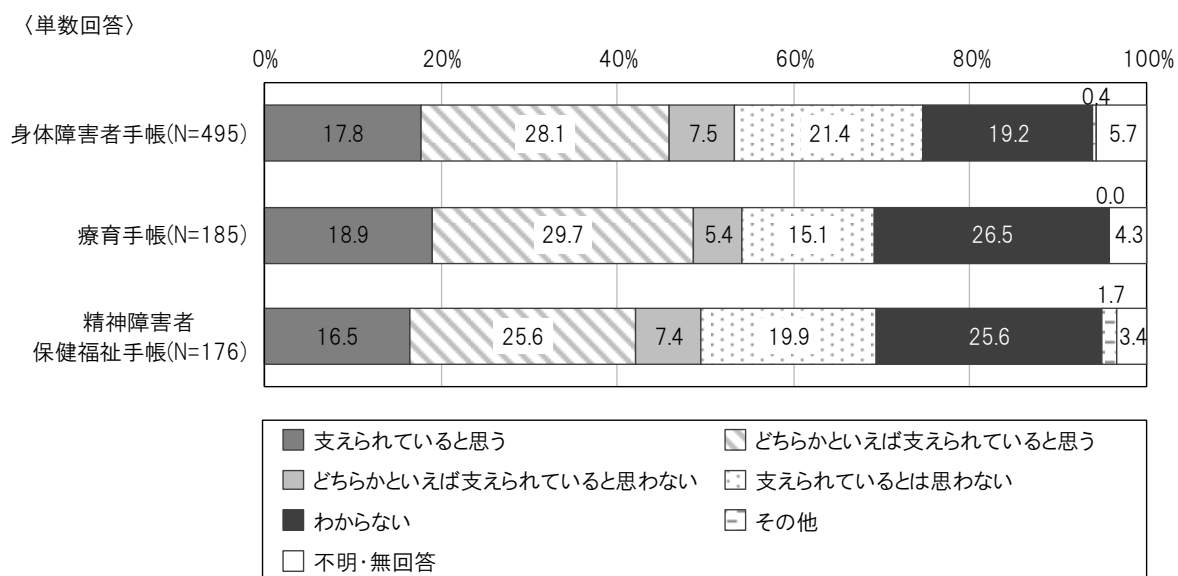


【その他回答】

- ・ 皆、私が障がい者だと知らない！
- ・ インフラでは助けられている
- ・ 地域と関係していない

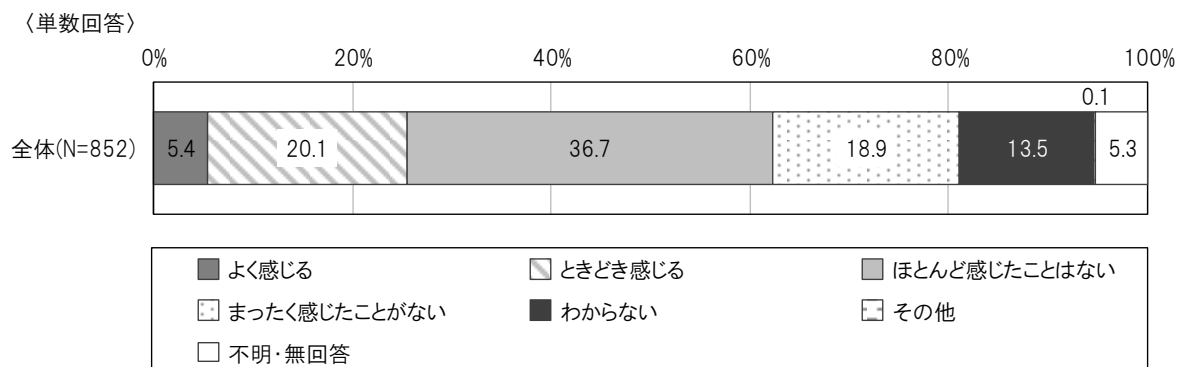
【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「どちらかといえば支えられていると思う」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳では「わからない」の割合も高くなっています。



問16. 日常生活において、差別や偏見、疎外感を感じる時がありますか。(1つだけ○)

日常生活において、差別や偏見、疎外感を感じる時があるかについてみると、「ほとんど感じたことはない」が36.7%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が20.1%、「まったく感じたことがない」が18.9%となっています。

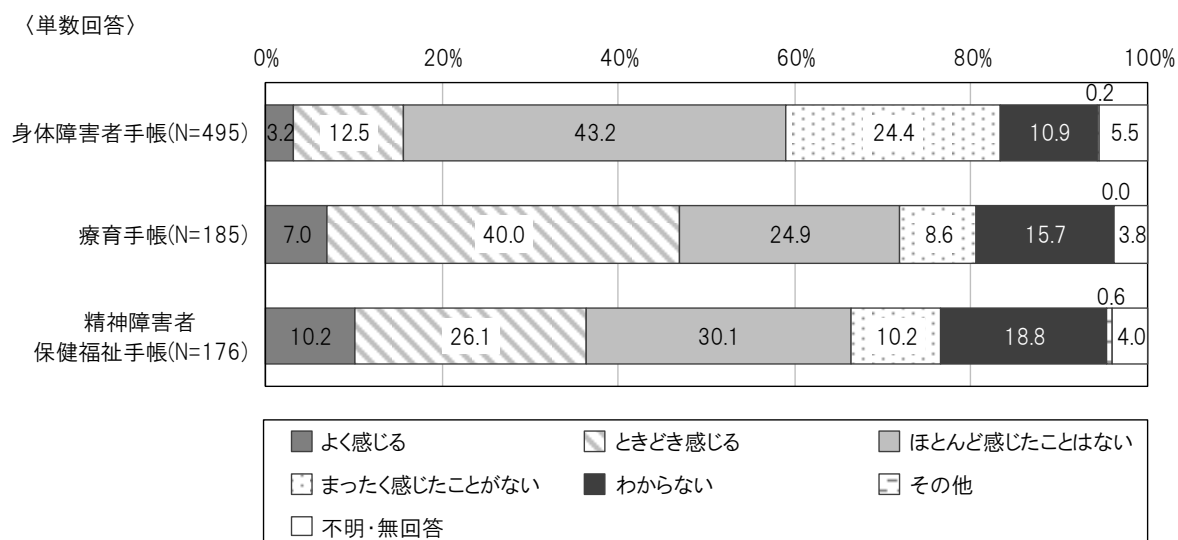


【その他回答】

(回答なし)

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では「ほとんど感じたことはない」が、療育手帳では「ときどき感じる」の割合が最も高くなっています。



Ⅱ 調査結果

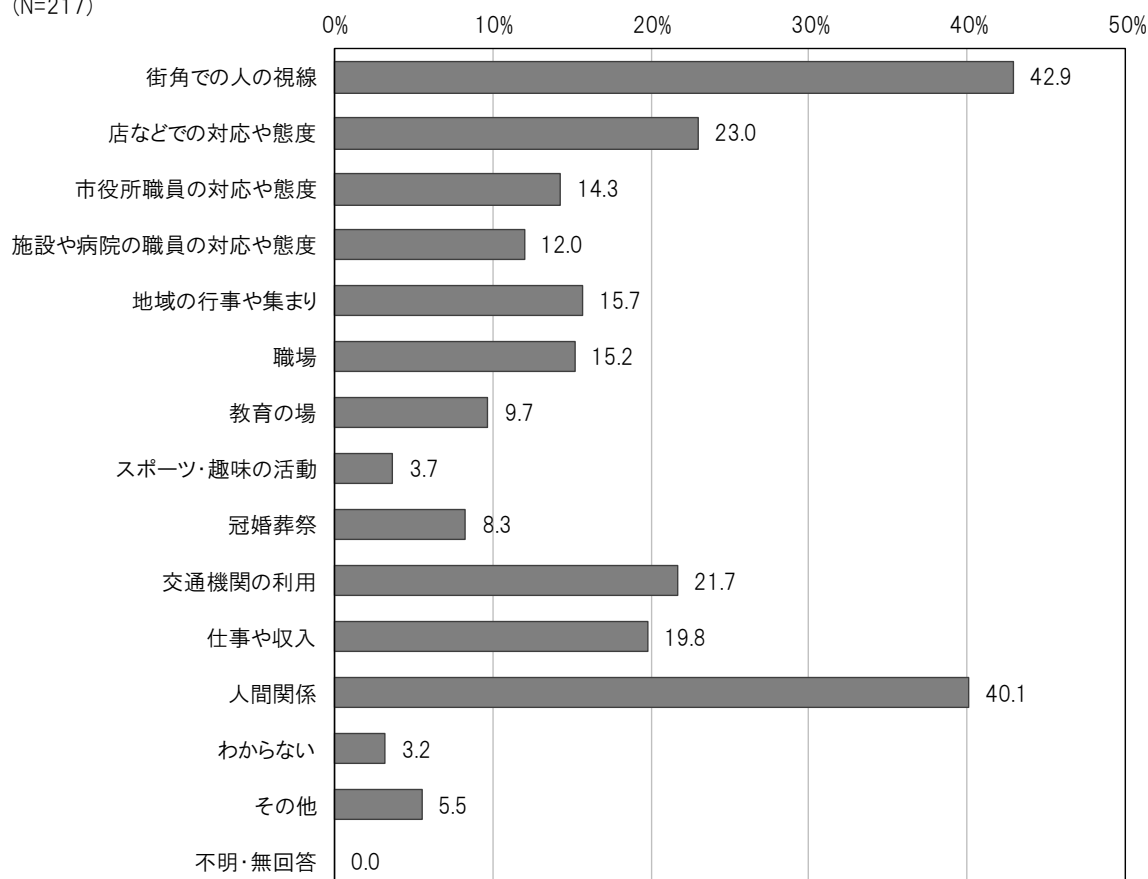
3. 現在の生活について

【問16で「1. よく感じる」か「2. ときどき感じる」の方のみ】

問16-1. どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活において、差別や偏見、疎外感をどのようなときに感じたかについてみると、「街角での人の視線」が42.9%と最も高く、次いで「人間関係」が40.1%、「店などでの対応や態度」が23.0%となっています。

〈複数回答〉
(N=217)



【その他回答】

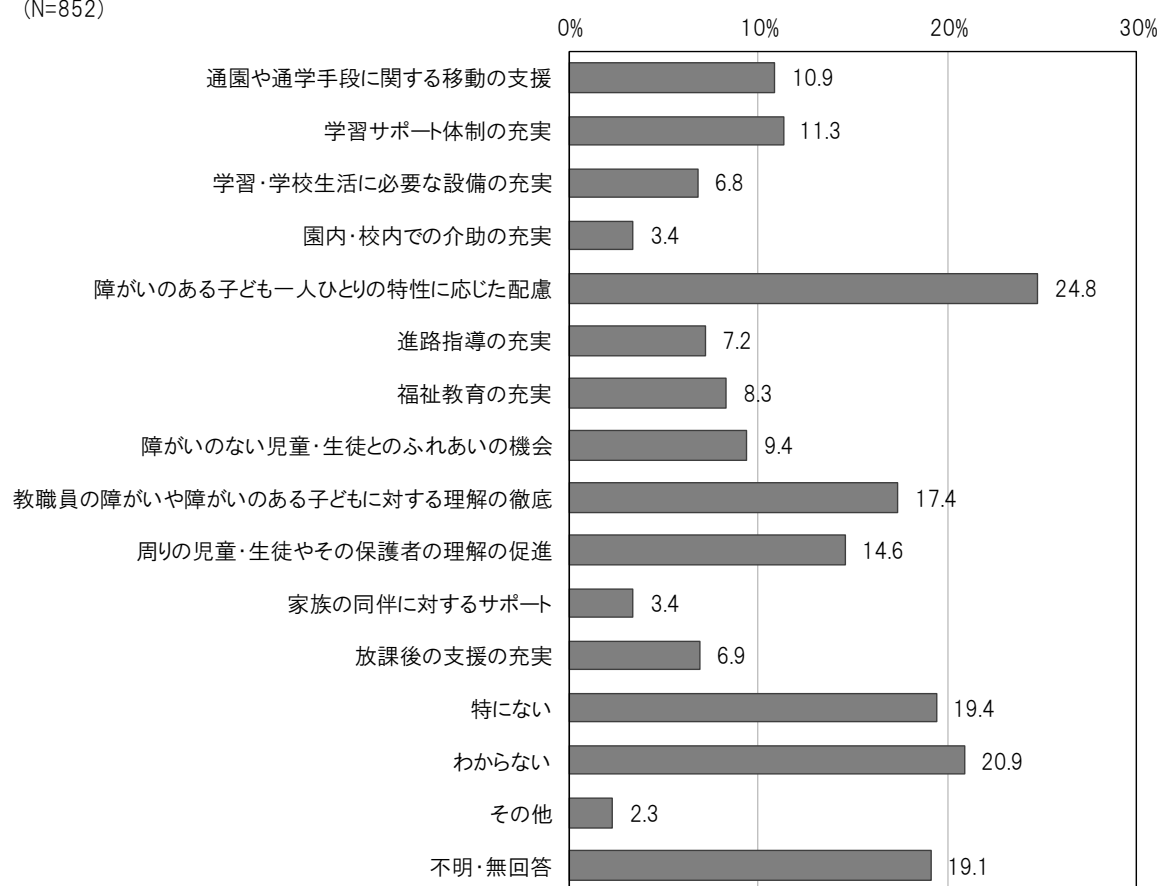
- ・コミュニケーションをする為の言葉が無い為、上手く伝える事が出来ない為、変な行動をとったり、意味不明の発語があったりする時に感じる事があります
- ・デイの送迎を近所の人嫌がる。自分の車の出し入れが待たされる為にクレームを出す
- ・補聴器をイヤホンと思われて注意されたり色々する
- ・皆私達のこと迷惑だと思っているでしょう！
- ・挨拶をしない人が多い
- ・小学生。通学路で
- ・他人への配慮
- ・空港
- ・福祉厚生に関する官公庁
- ・ネットなど見た時
- ・テレビや新聞
- ・報道

4. 教育について

問17. あなたが学校や保育所・幼稚園などでの生活を送るうえで必要だったと思ったこと、もしくは、必要だと思っていることは、どのようなことですか。(主なものを3つに○)

学校や保育所・幼稚園などでの生活を送るうえで必要だったと思ったこと、もしくは、必要だと思っていることについてみると、「障がいのある子ども一人ひとりの特性に応じた配慮」が24.8%と最も高く、次いで「わからない」が20.9%、「特にない」が19.4%となっています。

(複数回答)
(N=852)



Ⅱ 調査結果

4. 教育について

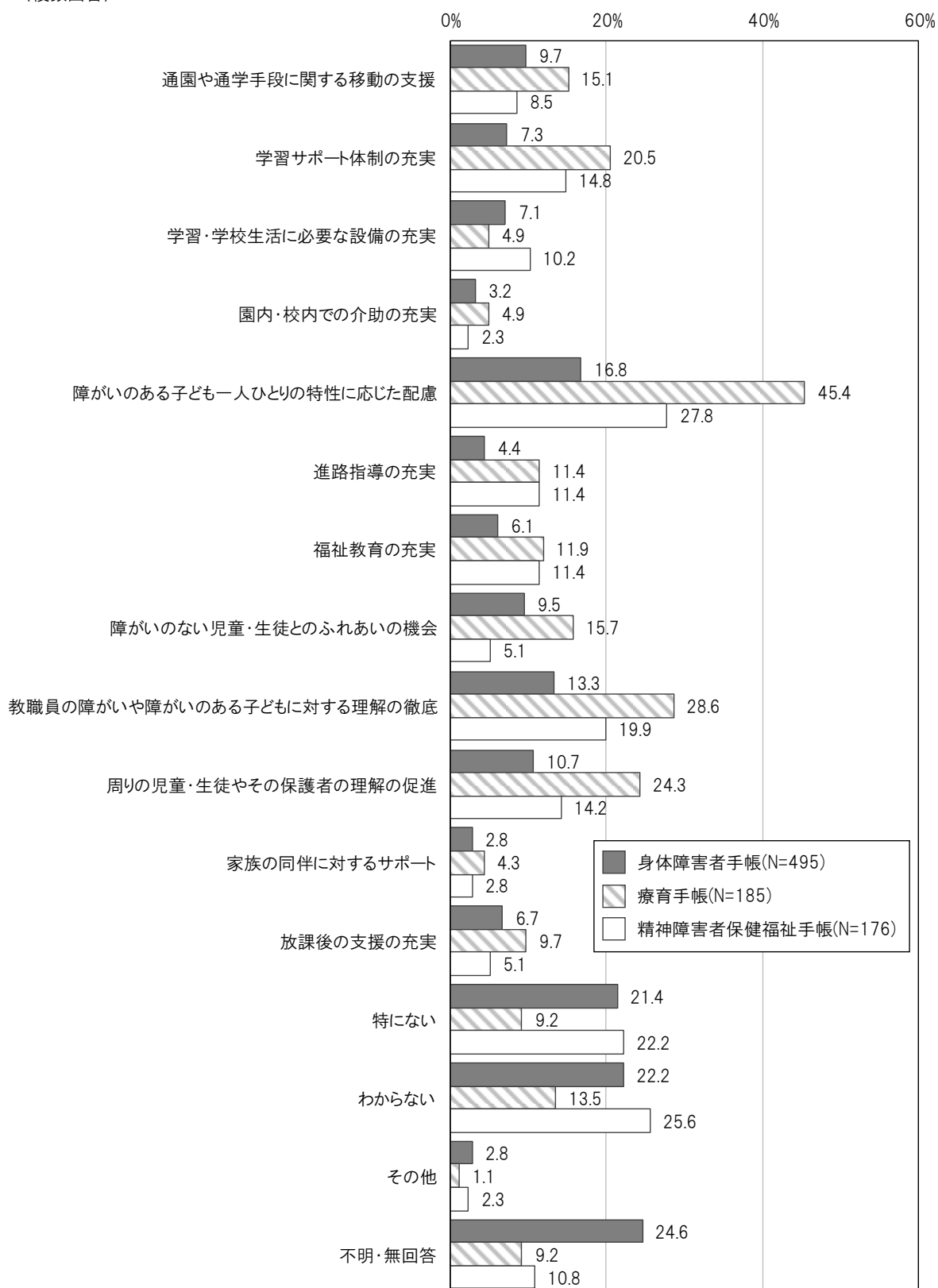
【その他回答】

- ・ 高齢になってからの障がいなのでわからない（4）
- ・ 成人になってからの障がい認定なので不明（2）
- ・ 学童などいない為（2）
- ・ 心の病気に対する理解の普及。家族、父母、祖母が亡くなった時心の傷の治し方を教えてほしかった。
- ・ まず受け入れてもらう事。内部疾患、在宅酸素だったので、当時幼稚園、保育所（市立）を断られた
- ・ 仕方なく3つに丸しましたが、当然ここに書かれてある全てだと思えます
- ・ 自分等夫婦が老齢の為、手元に子、孫不在の為不明
- ・ 病院などで休む事が多いので、その面での配慮
- ・ すでに成人しており学校には行っていない
- ・ 田舎育ちでわかりません
- ・ 道徳教育
- ・ 該当せず

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「わからない」が、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「障がいのある子ども一人ひとりの特性に応じた配慮」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉

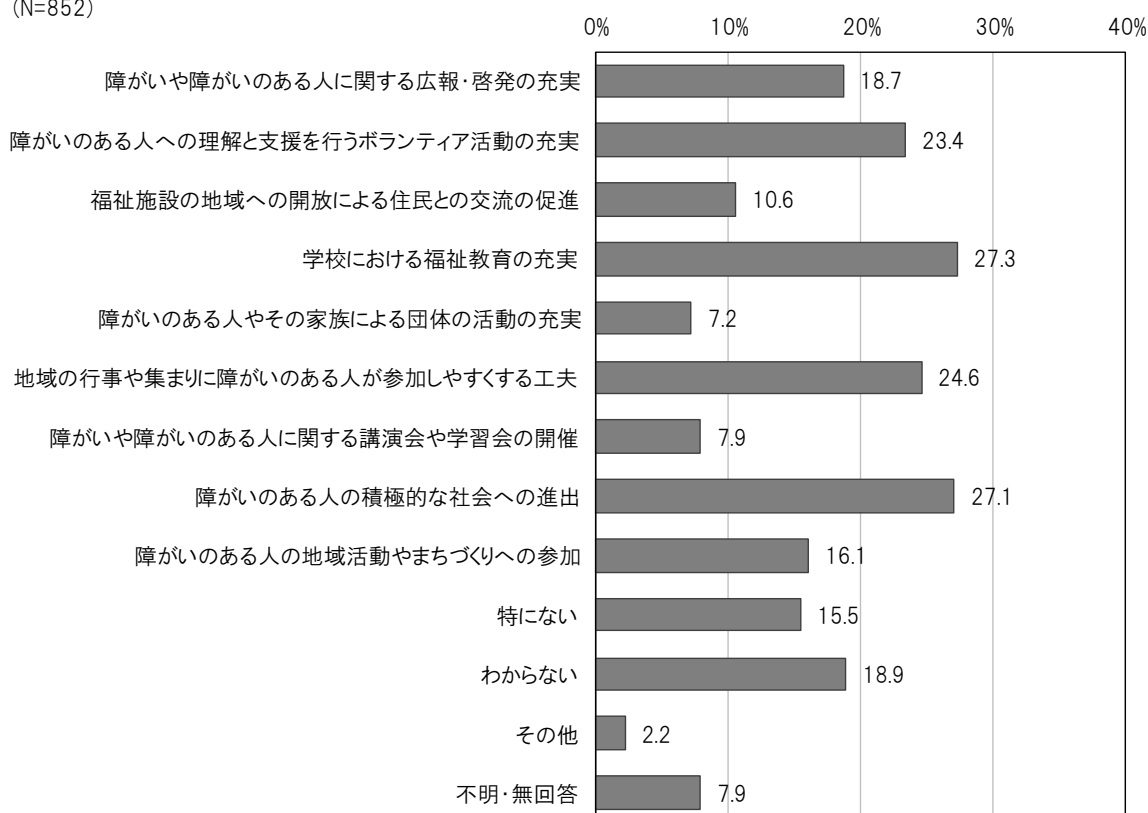


Ⅱ 調査結果
4. 教育について

問18. あなたが障がいや障がいのある人に対する市民の理解を深めるために必要だと思うことは、どのようなことですか。(主なものを3つに〇)

障がいや障がいのある人に対する市民の理解を深めるために必要だと思うことについてみると、「学校における福祉教育の充実」が27.3%と最も高く、次いで「障がいのある人の積極的な社会への進出」が27.1%、「地域の行事や集まりに障がいのある人が参加しやすくする工夫」が24.6%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



【その他回答】

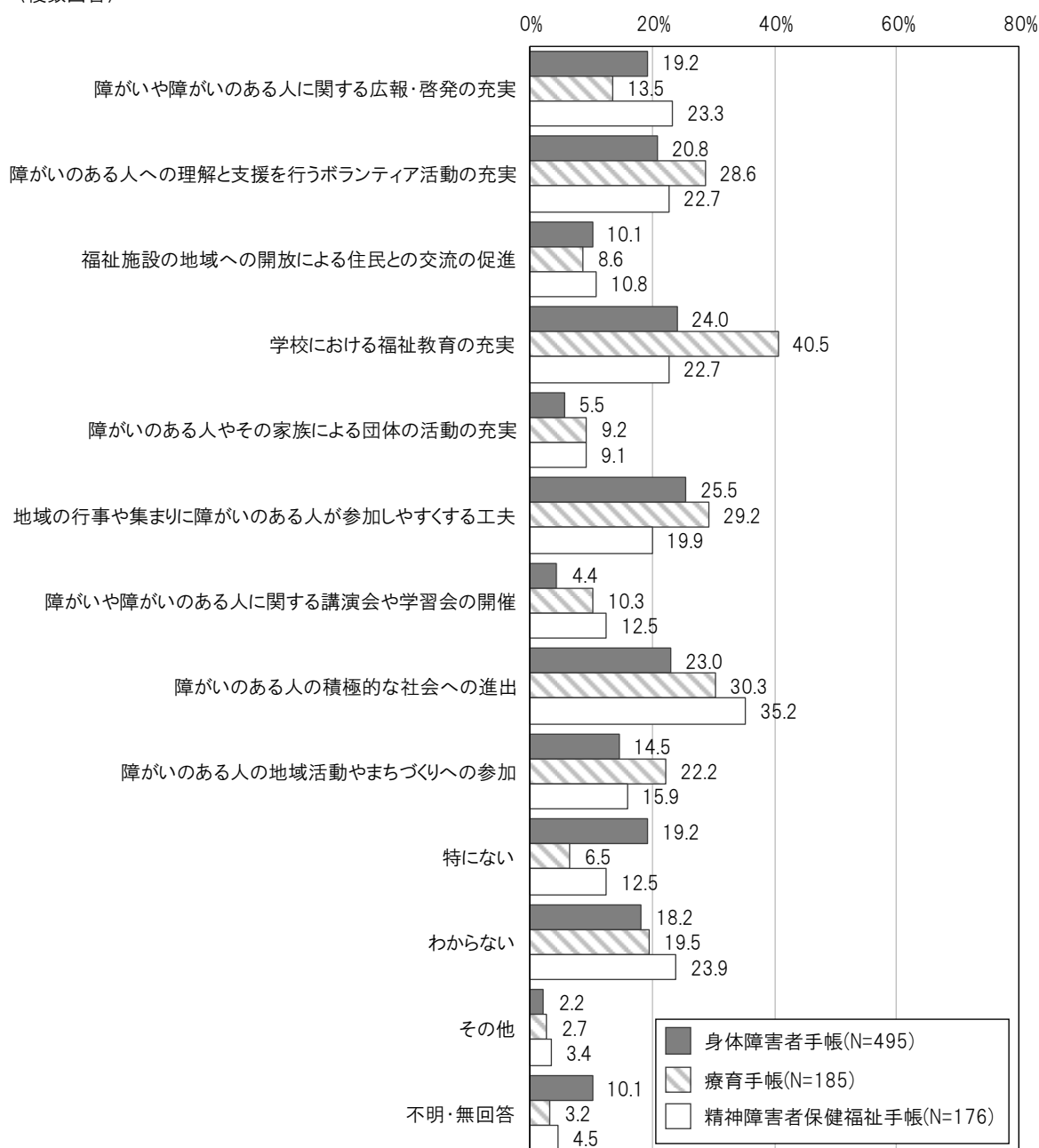
- ・ シームレスな社会を実現するには、もっと高度な成熟が必要だと思っているので期待はしていないが、何が障、害、患なのかを考える必要があると思っている
- ・ 障がいの有無に関係なく”孤独”がつらい事を知る機会を持つ。また慈善事業の歴史を学ぶ機会を持つ
- ・ 絵本、あかね書房「だれもしらない」を読んでほしい。非日常に見える毎日が日常と理解してほしい
- ・ どこへ行ってもよく聞こえないので参加出来ません。どうしたらいいでしょうか
- ・ 社会的な自立（特に収入面）が出来るような場所（価値、意義）をつくる
- ・ 家の周囲の草刈り、剪定をシルバー人材センターに安くお願いしたい
- ・ 障がい者、障がい者と特別呼ばわりしない
- ・ 障がい者と健常者のふれあいの場
- ・ そういった事を望んでいない
- ・ 全ての人たちの理解
- ・ 話を聞いてみる
- ・ 住居
- ・ 障がいのある人の過ごしやすい環境設備
- ・ 青春期、思春期の頃の学校教育
- ・ 障がい者雇用を増やす
- ・ 特に期待していない
- ・ 体験教育

Ⅱ 調査結果
4. 教育について

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「地域の行事や集まりに障がいのある人が参加しやすくする工夫」が、療育手帳では「学校における福祉教育の充実」が、精神障害者保健福祉手帳では「障がいのある人の積極的な社会への進出」の割合が最も高くなっています。

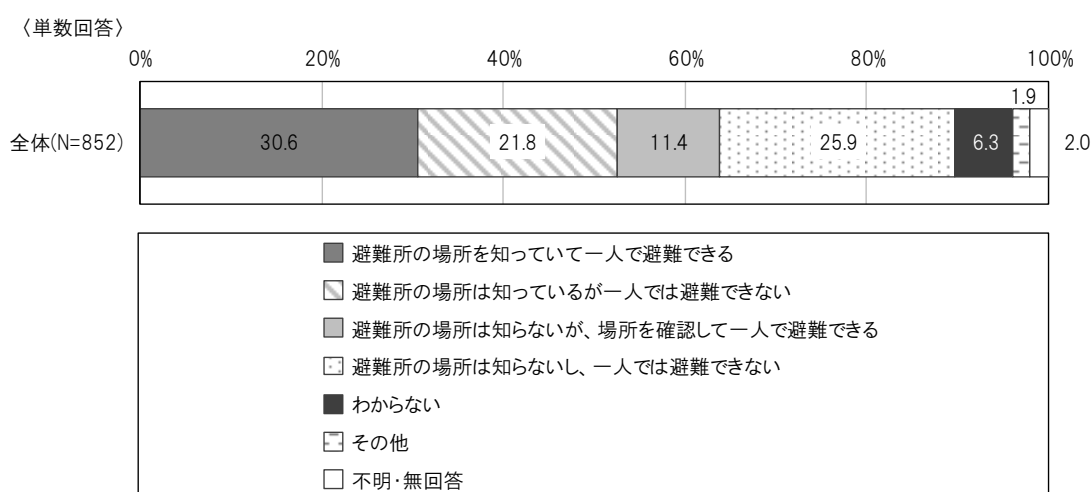
〈複数回答〉



5. 安全・安心について

問19. あなたは災害が起こったときや起こりそうなとき、一人で避難所へ避難することができますか。(1つだけ○)

災害が起こったときや起こりそうなとき、一人で避難所へ避難することができるかについてみると、「避難所の場所を知っていて一人で避難できる」が 30.6%と最も高く、次いで「避難所の場所は知らないし、一人では避難できない」が 25.9%、「避難所の場所は知っているが一人では避難できない」が 21.8%となっています。



【その他回答】

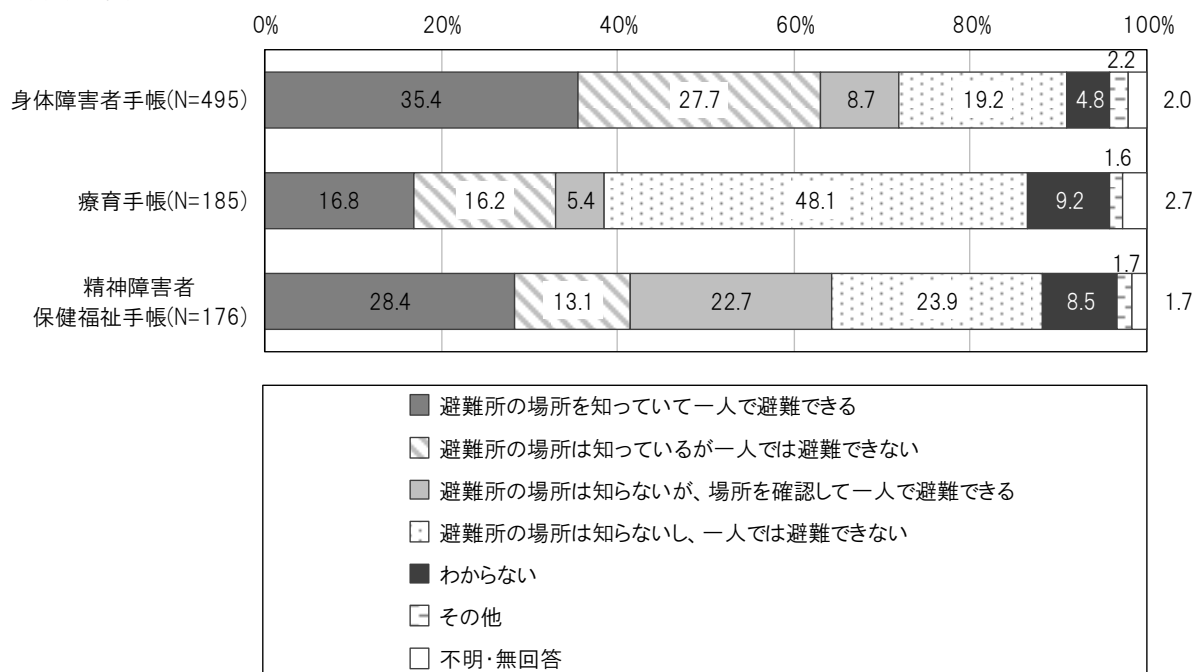
- ・ 施設に入所している (2)
- ・ 家族と一緒に行く (2)
- ・ 平常では出来る事も災害によるショックで出来なくなる障がい者がいます。パニックを起こして動けなくなる、慌てて取り乱す、ウロウロ落ち着かなくなる等
- ・ 障がいを持った子どもの為に4年前に自宅を新築(コンクリート住宅)避難所より安全なので避難場所を教えてない
- ・ ①とは思いますがその時になってみなければわからないし、指定されている場所に皆が入るのかいつも不安に思っている
- ・ 場所を知っていて、1人で避難出来ると思うが、今避難すべきかどうかの判断は1人では出来ない
- ・ 避難所に行っても耳が遠いから何言っているかわからない。だから避難しないです
- ・ 難聴なのでメールに気づけば1人で避難出来るが、放送他では無理だろうと思う
- ・ 1か3なのだが、状況によっては避難しない事を選択する
- ・ 避難所には介護ベッドがないので避難する事が出来ない
- ・ 避難所は知っているが災害の時開いているか不安
- ・ 1人では避難できない
- ・ 暗くなければ出来る
- ・ 自宅が安全

Ⅱ 調査結果
5. 安全・安心について

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では「避難所の場所を知っていて一人で避難できる」が、療育手帳では「避難所の場所は知らないし、一人では避難できない」の割合が最も高くなっています。

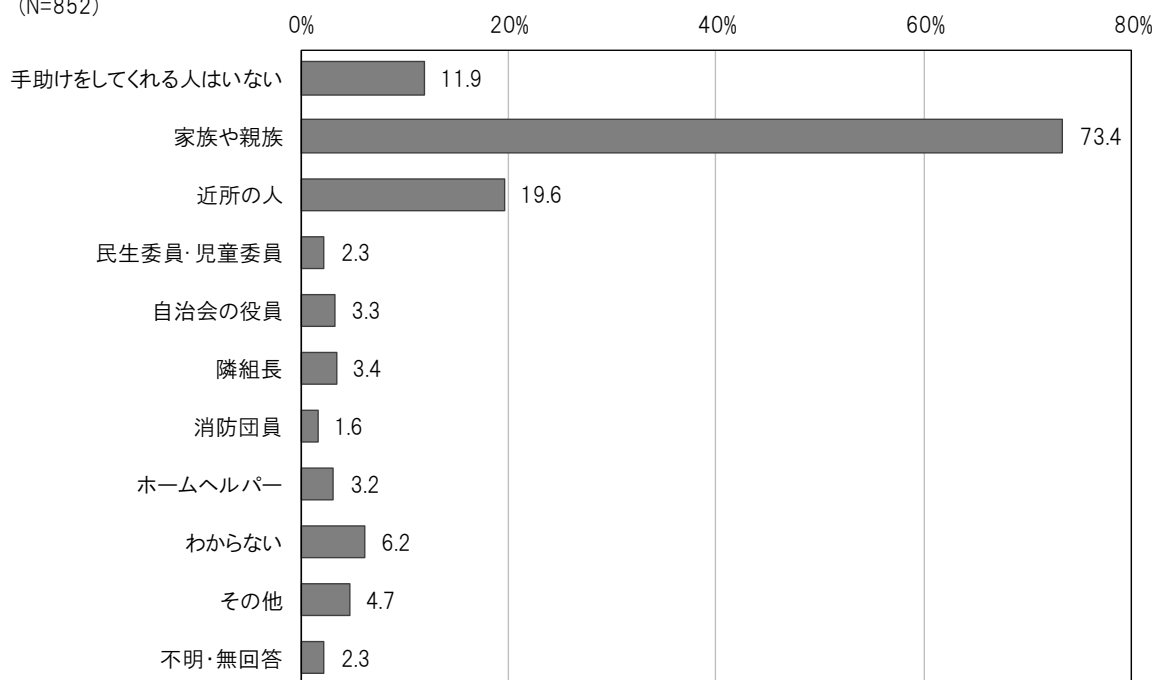
〈単数回答〉



問20. あなたが家にいる間に、災害のため避難が必要になったとき、手助けをしてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

家にいる間に、災害のため避難が必要になったとき、手助けをしてくれる人についてみると、「家族や親族」が73.4%と最も高く、次いで「近所の人」が19.6%、「手助けをしてくれる人はいない」が11.9%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



【その他回答】

- ・ 施設職員 (17)
- ・ グループホーム職員 (2)
- ・ 友人、知人 (2)
- ・ 平日の昼間は不在。会社勤めやシルバーセンターの仕事の為
- ・ 介護者が妻でどうなるかわからない
- ・ 平日昼間は誰もいません
- ・ 入院先の病院職員の方
- ・ 施設の介護スタッフ
- ・ 医療関係の方
- ・ 今はいない
- ・ デイケアの人
- ・ 訪問看護さん
- ・ 避難しない
- ・ いない
- ・ 友人

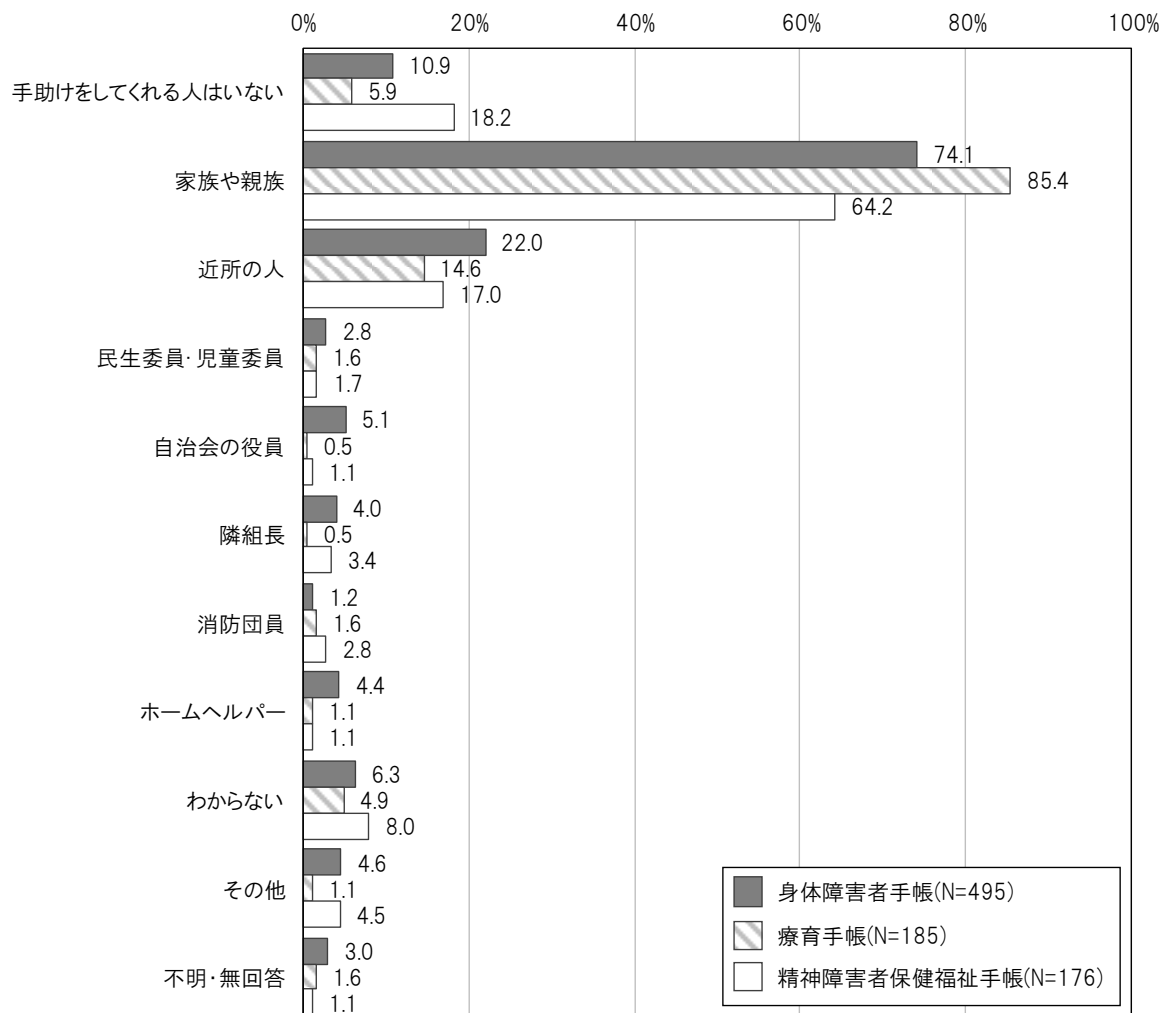
Ⅱ 調査結果

5. 安全・安心について

【所持手帳種類別グラフ】

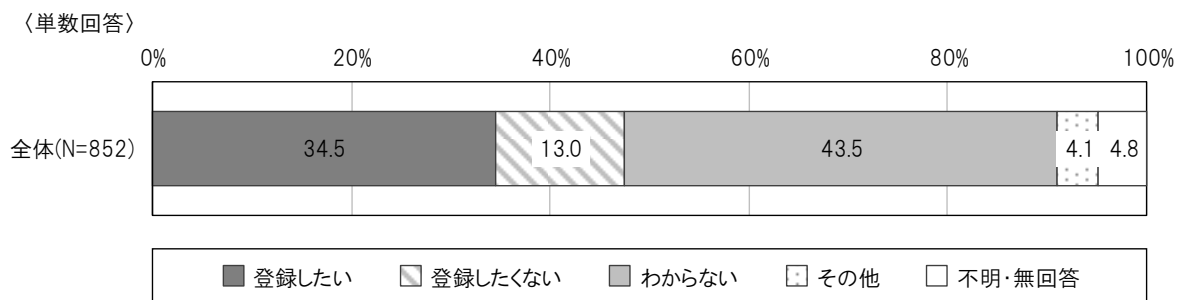
所持手帳種類別にみると、どの手帳も「家族や親族」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉



問21. 自力で避難が難しい障がいのある人やお年寄りなどが、災害時に地域で避難支援が受けられるように、事前にあなたの情報を登録する「避難行動要支援者避難支援制度」があります。その際、あなたの同意を得て消防・警察・自治会・民生委員などと情報を共有します。あなたは、この制度に登録したいと思いますか。(1つだけ○)

「避難行動要支援者避難支援制度」に登録したいと思うかについてみると、「わからない」が43.5%と最も高く、次いで「登録したい」が34.5%、「登録したくない」が13.0%となっています。



【その他回答】

- ・今は必要ない (7)
- ・現在は親が居るから (3)
- ・不要 (2)
- ・私は地域のサイレンが聞こえないですが声をかけてもらえれば1人で避難出来ます
- ・自分で努力出来る間とは思っています。出来なくなれば又、その時点で相談でも
- ・今は妹がいるので良いが、その後もし1人になった時はお願いしたいです
- ・親がもう少し歳をとれば必ず登録します
- ・今のところ主人が元気なので
- ・すでに登録していると思う
- ・軽度なので不要
- ・施設入居中なので必要ない (4)
- ・現在は自力避難可能と思っている (2)
- ・自分は支援出来る体ではない
- ・避難所は不便で行きたくない
- ・病院に長期入院している
- ・登録しても無駄

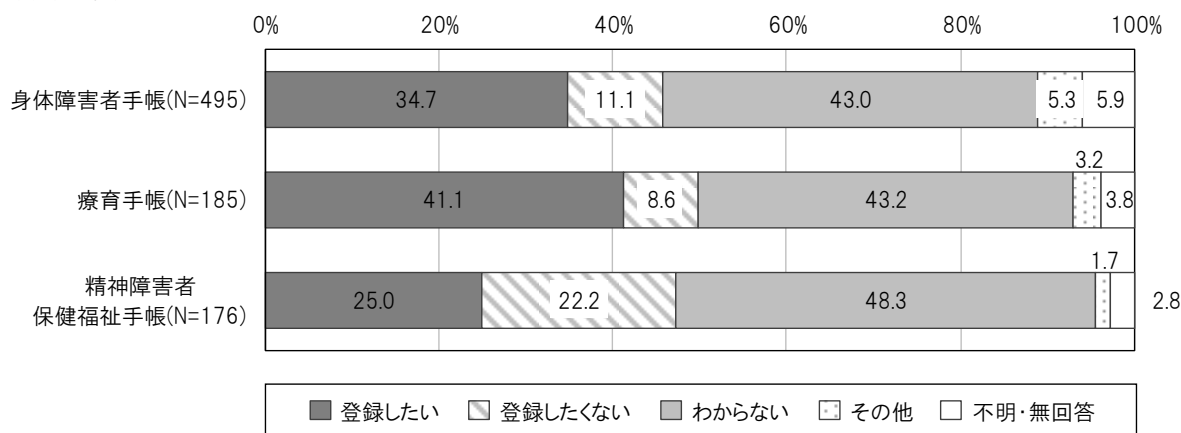
Ⅱ 調査結果

5. 安全・安心について

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「わからない」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳では「登録したい」の割合が他の手帳より比較的低くなっています。

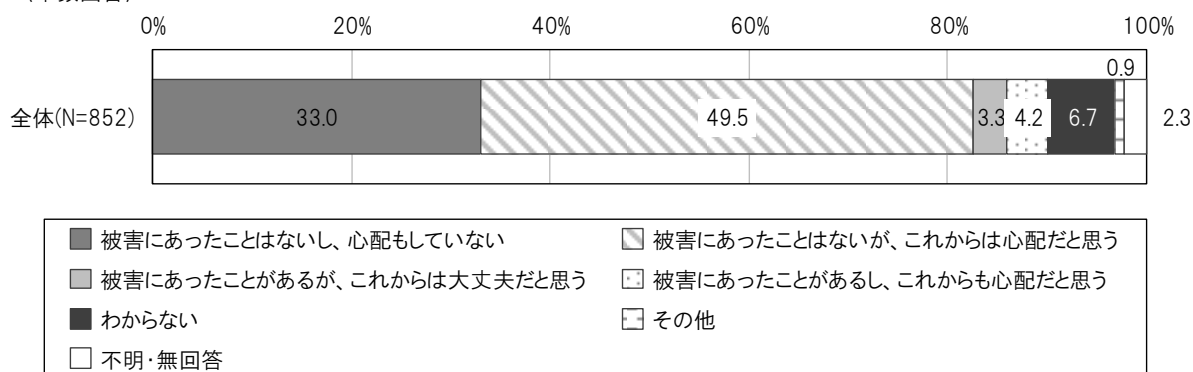
〈単数回答〉



問22. あなたは訪問販売や通信販売などでだまされて、消費者被害にあったことがありますか。また、被害にあうことが心配ですか。(1つだけ○)

消費者被害の有無や被害にあうことが心配かについてみると、「被害にあったことはないが、これからは心配だと思う」が49.5%と最も高く、次いで「被害にあったことはないし、心配もしていない」が33.0%、「わからない」が6.7%となっています。

〈単数回答〉



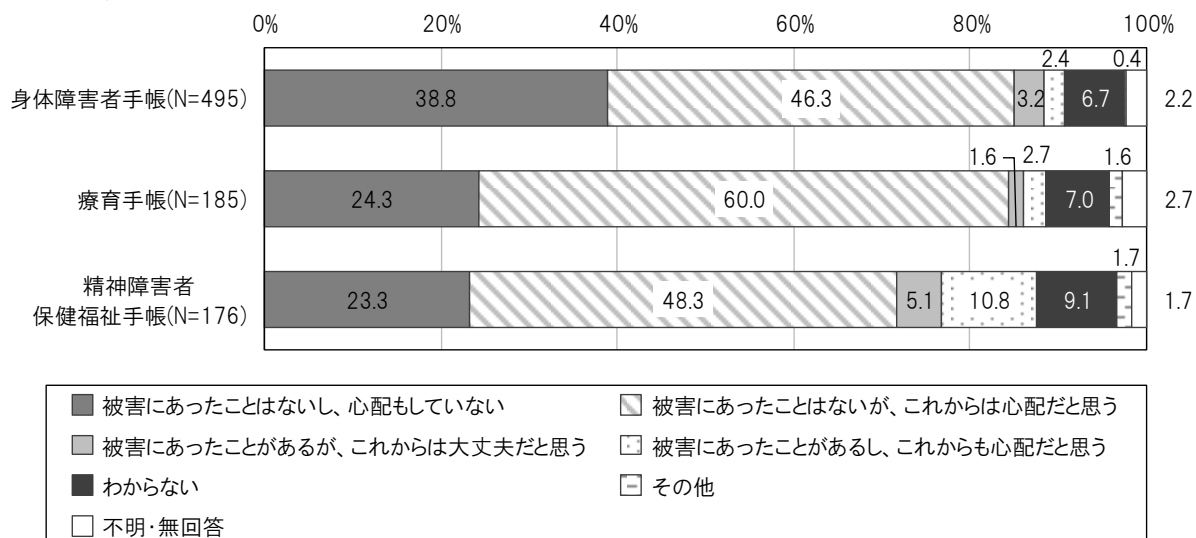
【その他回答】

- ・住所等書類を書くことが出来ないので心配はしていない
- ・すぐにわかったのですぐ解約しました
- ・まだ子どもの為ありません
- ・被害にあいそうになった
- ・重度なのでそういう事はないと思う
- ・家族が昔あったことがある
- ・入院中の為無し

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「被害にあったことはないが、これからは心配だと思う」の割合が最も高くなっています。

〈単数回答〉

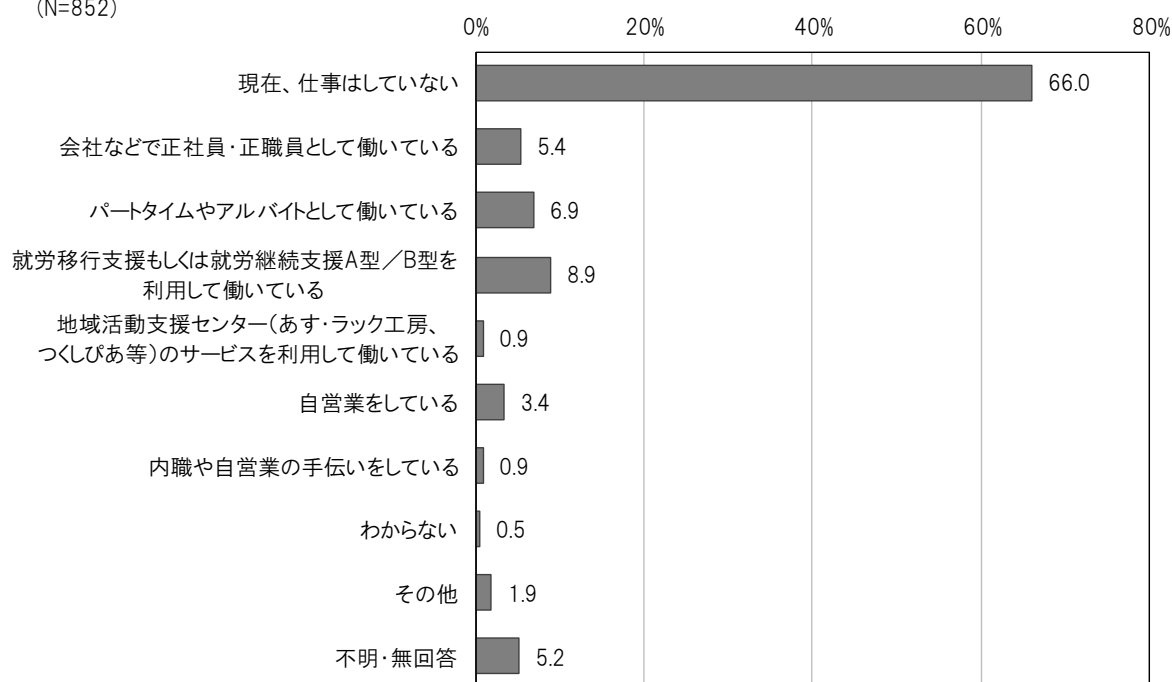


6. 雇用について

問23. 現在、あなたはどのような仕事をしていますか。(1つだけ○)

現在の仕事についてみると、「現在、仕事はしていない」が66.0%と最も高く、次いで「就労移行支援もしくは就労継続支援A型／B型を利用して働いている」が8.9%、「パートタイムやアルバイトとして働いている」が6.9%となっています。

〈単数回答〉
(N=852)



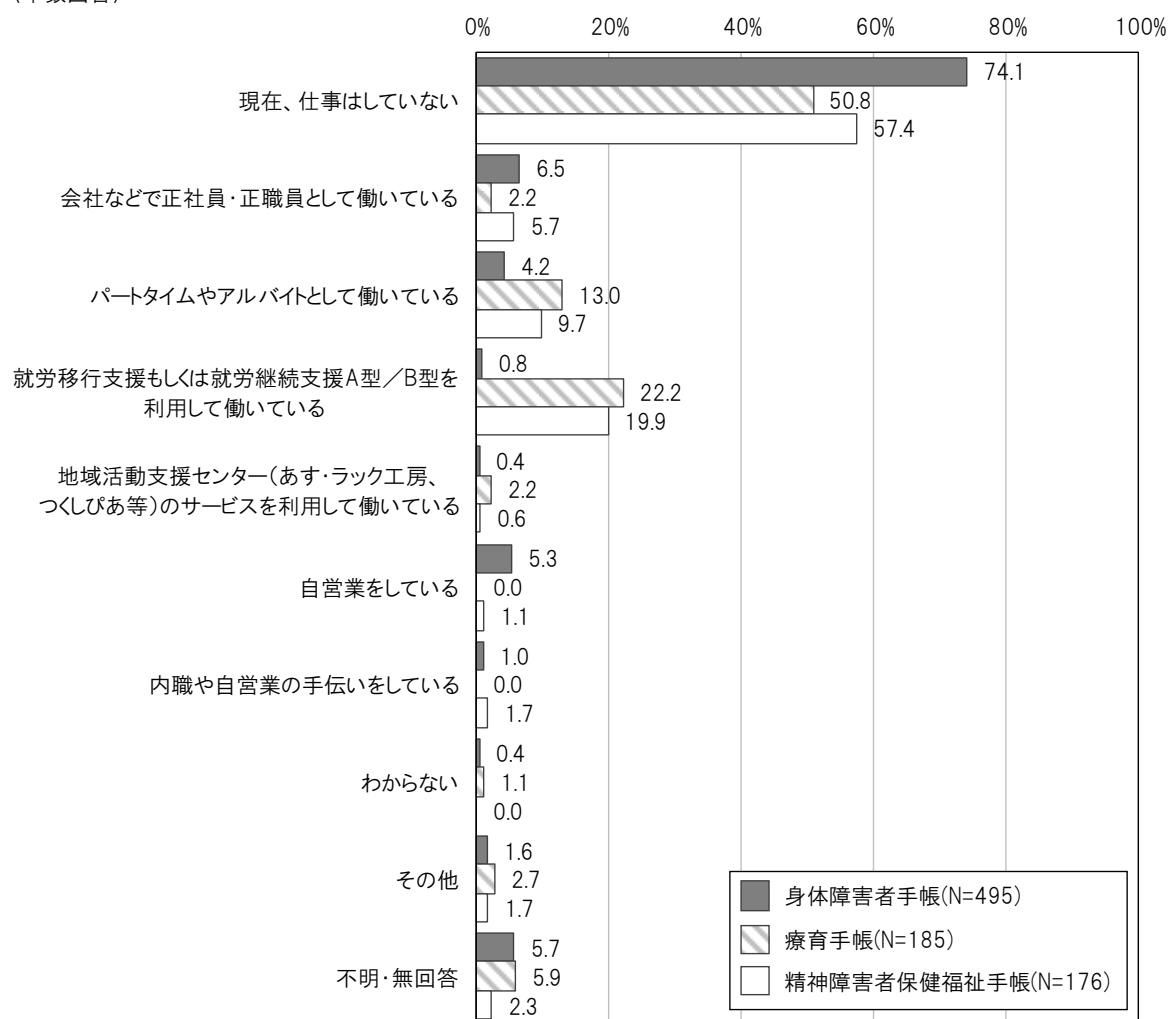
【その他回答】

- ・生活介護事業所に通っている (2)
- ・期間契約社員として働いている (2)
- ・失業中、100社以上不採用となっていて困っている
- ・現在、体調を理由に2ヶ月程休んでいる
- ・後期高齢者で年金暮らしです
- ・老齡の為出来ない
- ・事業の準備をしている
- ・仕事は不可能

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「現在、仕事はしていない」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「就労移行支援もしくは就労継続支援A型／B型を利用して働いている」の割合が身体障害者手帳と比較して高くなっています。

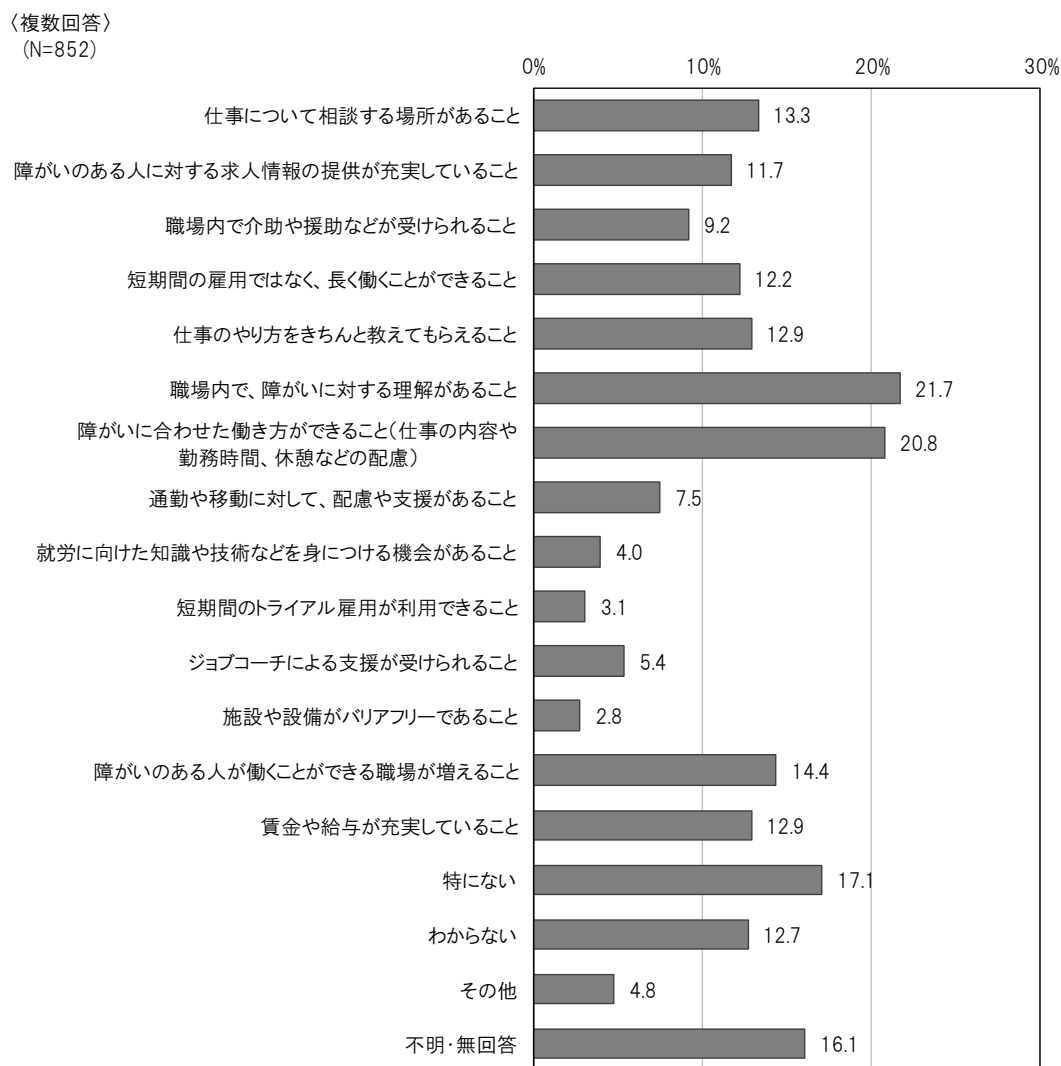
〈単数回答〉



Ⅱ 調査結果
6. 雇用について

問24. あなたが働く場合、どのような配慮を希望しますか。(主なもの3つに○)

働く場合に希望する配慮についてみると、「職場内で、障がいに対する理解があること」が 21.7%と最も高く、次いで「障がいに合わせた働き方ができること(仕事の内容や勤務時間、休憩などの配慮)」が 20.8%、「特にない」が 17.1%となっています。



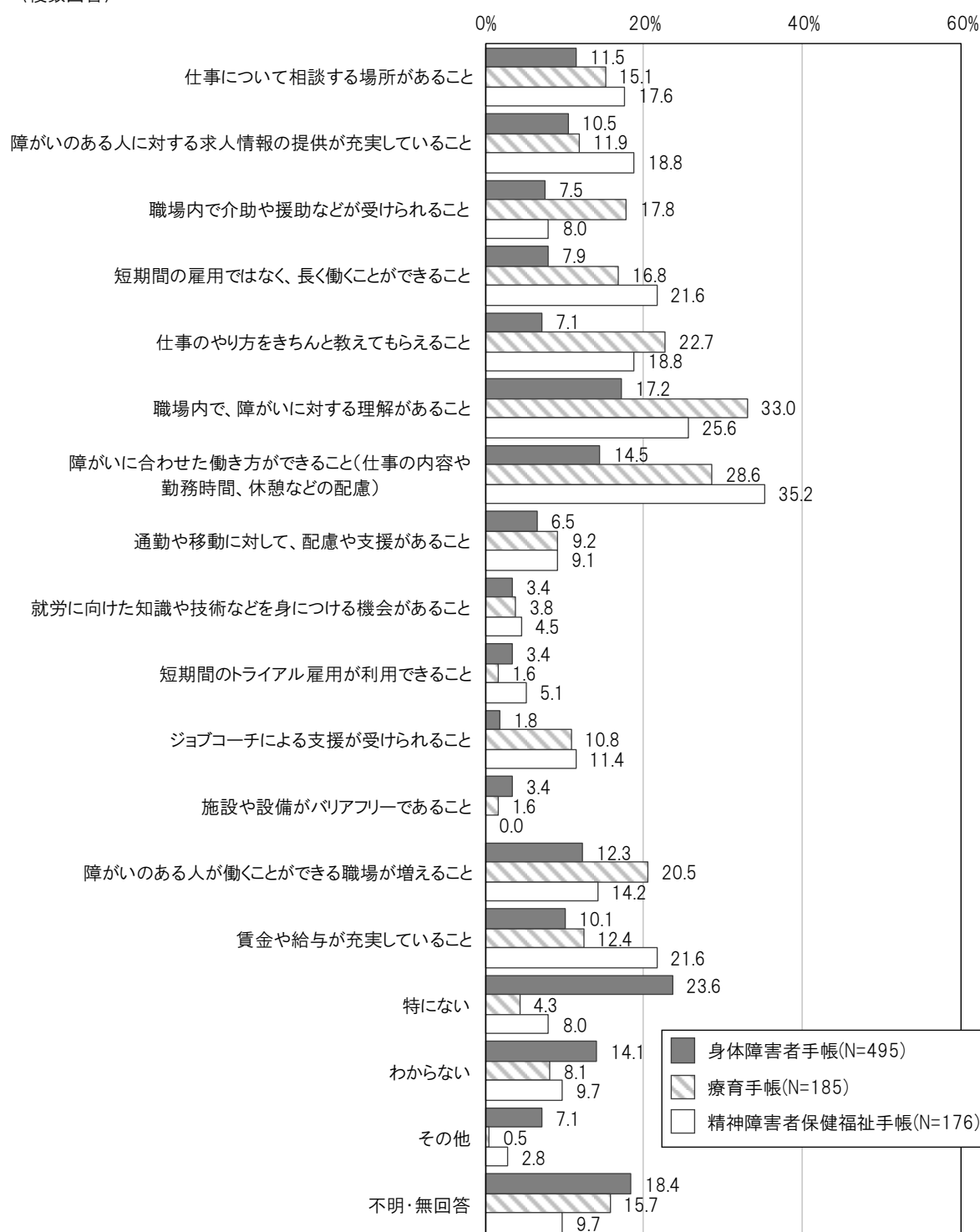
【その他回答】

- ・ 高齢の為働けない (17)
- ・ 働ける状態ではない (2)
- ・ 仕事が出来るとは思わないですが、学校に行けない歳になれば社会とのつながりがなくなると思うので、仕事はさせたいです
- ・ 働かなくても良い。経済的な不安はありません
- ・ 入院中の為希望しない
- ・ 働ける体ではない
- ・ 働かない
- ・ 働けない (5)
- ・ 働くことで周囲に迷惑かけそうです
- ・ 働くつもりはない
- ・ 仕事が出来ない

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「特にない」が、療育手帳では「職場内で、障がいに対する理解があること」が、精神障害者保健福祉手帳では「障がいに合わせた働き方ができること（仕事の内容や勤務時間、休憩などの配慮）」の割合が最も高くなっています。

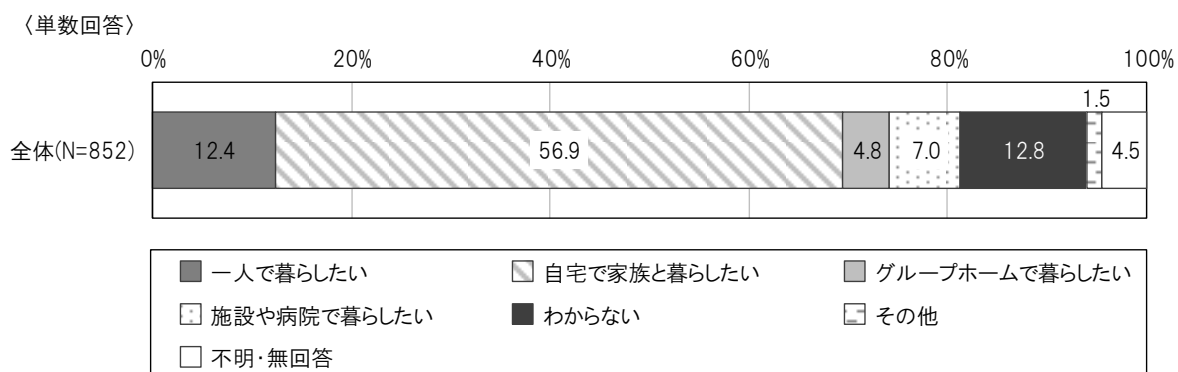
〈複数回答〉



7. 暮らしについて

問25. あなたは今後、どのように暮らしたいですか。(1つだけ○)

今後、どのように暮らしたいかについてみると、「自宅で家族と暮らしたい」が 56.9%と最も高く、次いで「わからない」が 12.8%、「一人で暮らしたい」が 12.4%となっています。

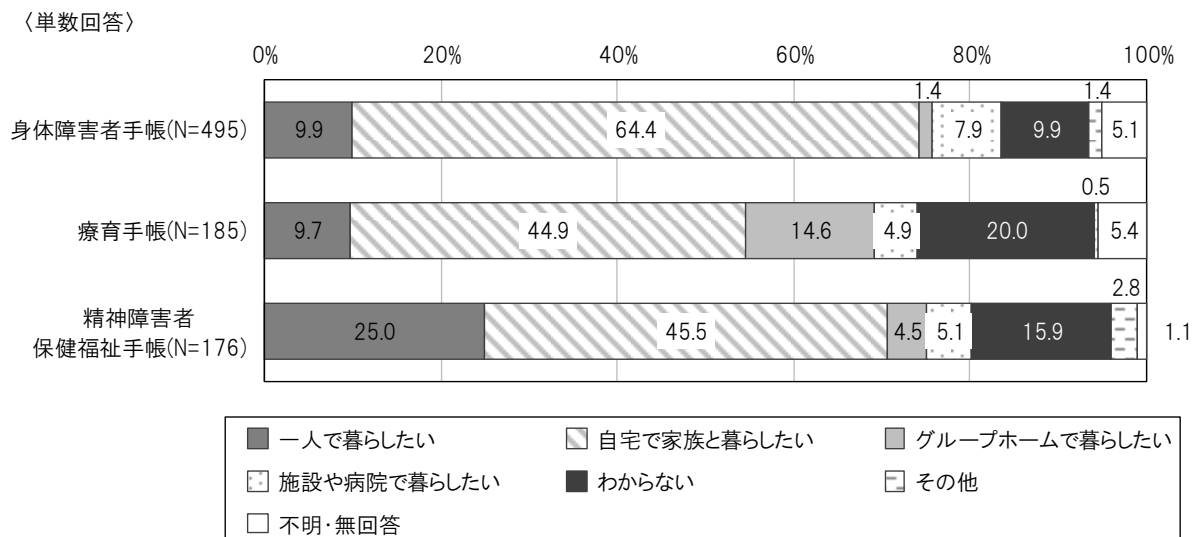


【その他回答】

- ・今の施設で暮らしたい (3)
- ・出来れば信頼のおける同性パートナーと暮らしたい
- ・面倒を見てくれる人がいれば自宅で暮らしたい
- ・母といつまでも長く暮らしたい
- ・再婚を考えて実行中
- ・結婚をしたい (2)
- ・1人で暮らせなくなったら施設で
- ・入院は絶対したくないです
- ・今の状態で良いです

【所持手帳種類別グラフ】

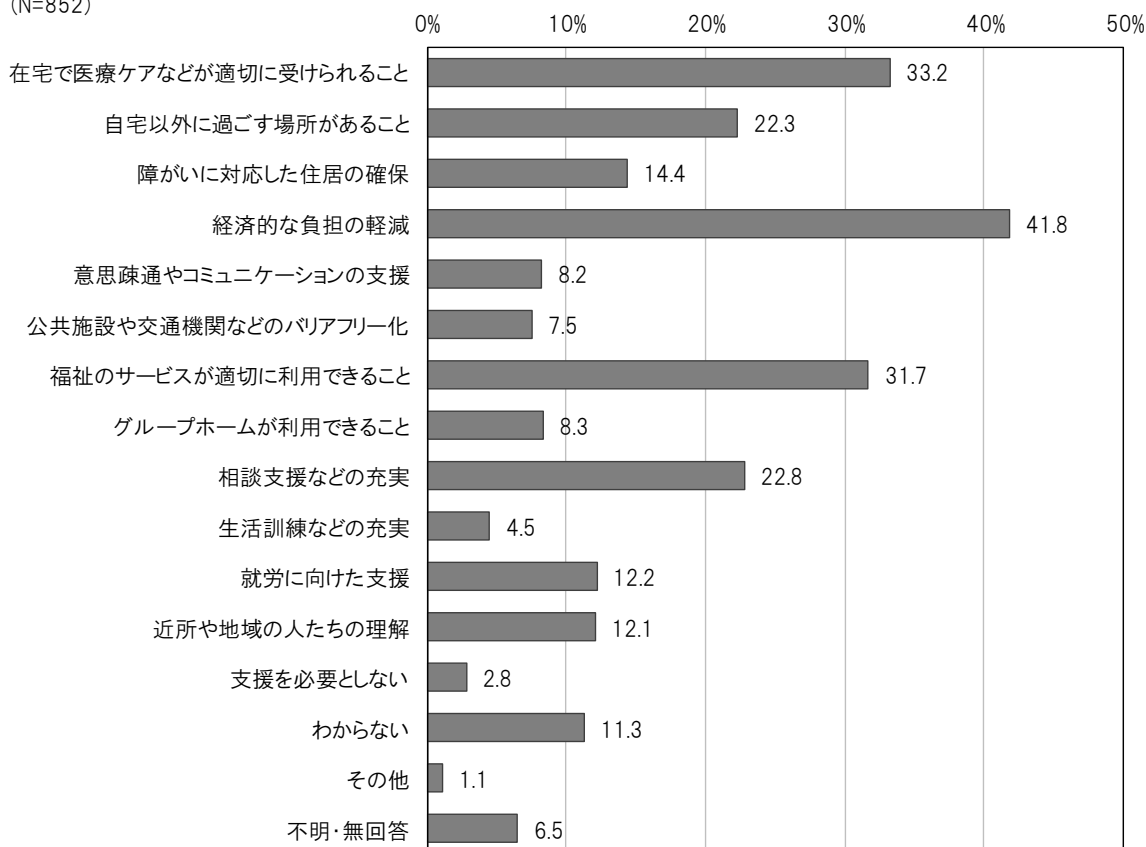
所持手帳種類別にみると、どの手帳も「自宅で家族と暮らしたい」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳では「一人で暮らしたい」の割合が他の手帳より比較的高くなっています。



問26. あなたが自宅など、地域で生活を営むことを考えたとき、どのような支援があればよいと思いますか。(主なもの3つに○)

地域で生活を営むことを考えたとき、どのような支援があればよいと思うかについてみると、「経済的な負担の軽減」が 41.8%と最も高く、次いで「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」が 33.2%、「福祉のサービスが適切に利用できること」が 31.7%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



【その他回答】

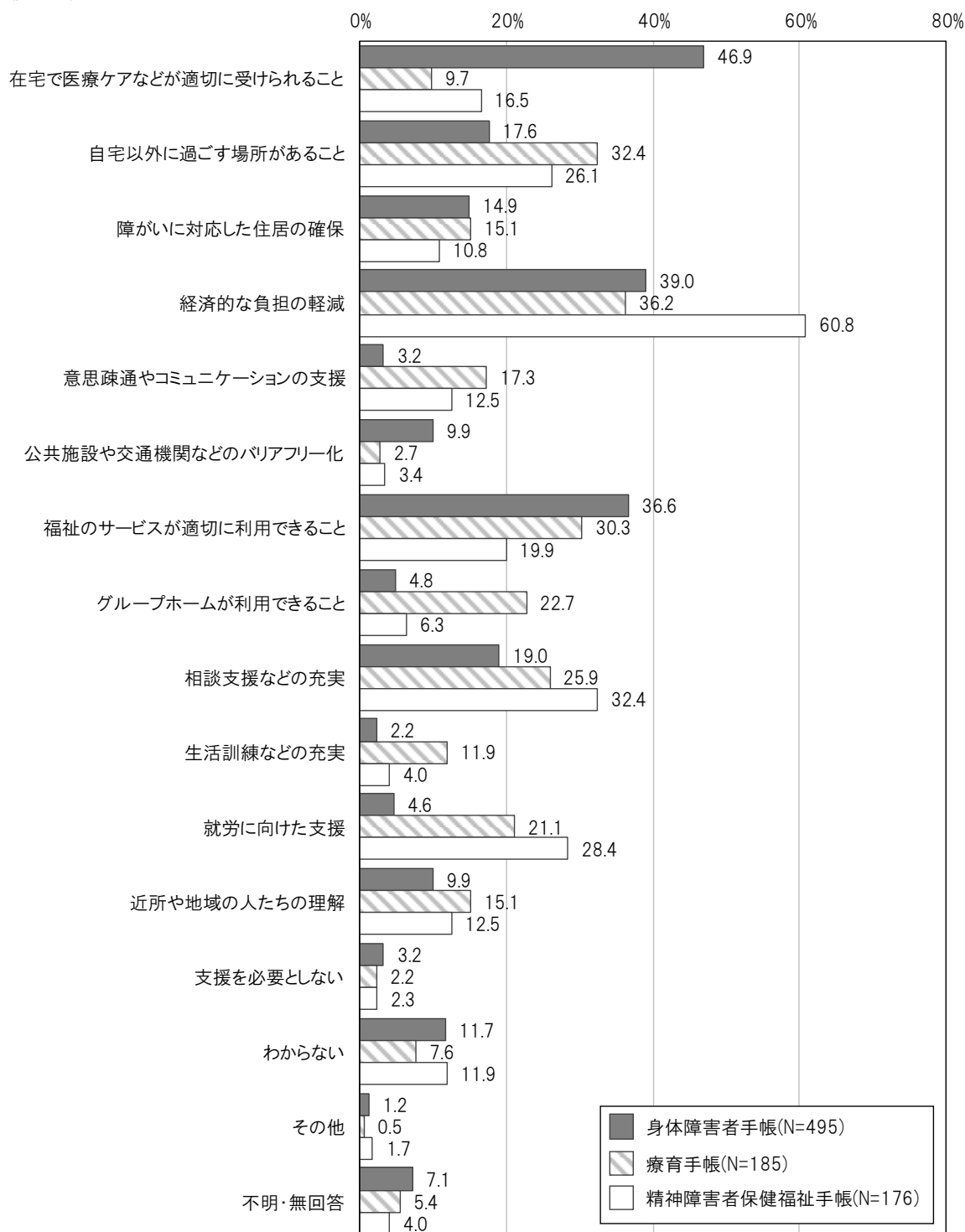
- ・ 長期入院中（病院での生活しかない）
- ・ 終末整理の支援
- ・ 買物の手伝い
- ・ 食事の面倒
- ・ 人との関わり、距離感
- ・ トイレ多目的
- ・ 自立は難しい

Ⅱ 調査結果
7. 暮らしについて

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」が、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「経済的な負担の軽減」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉

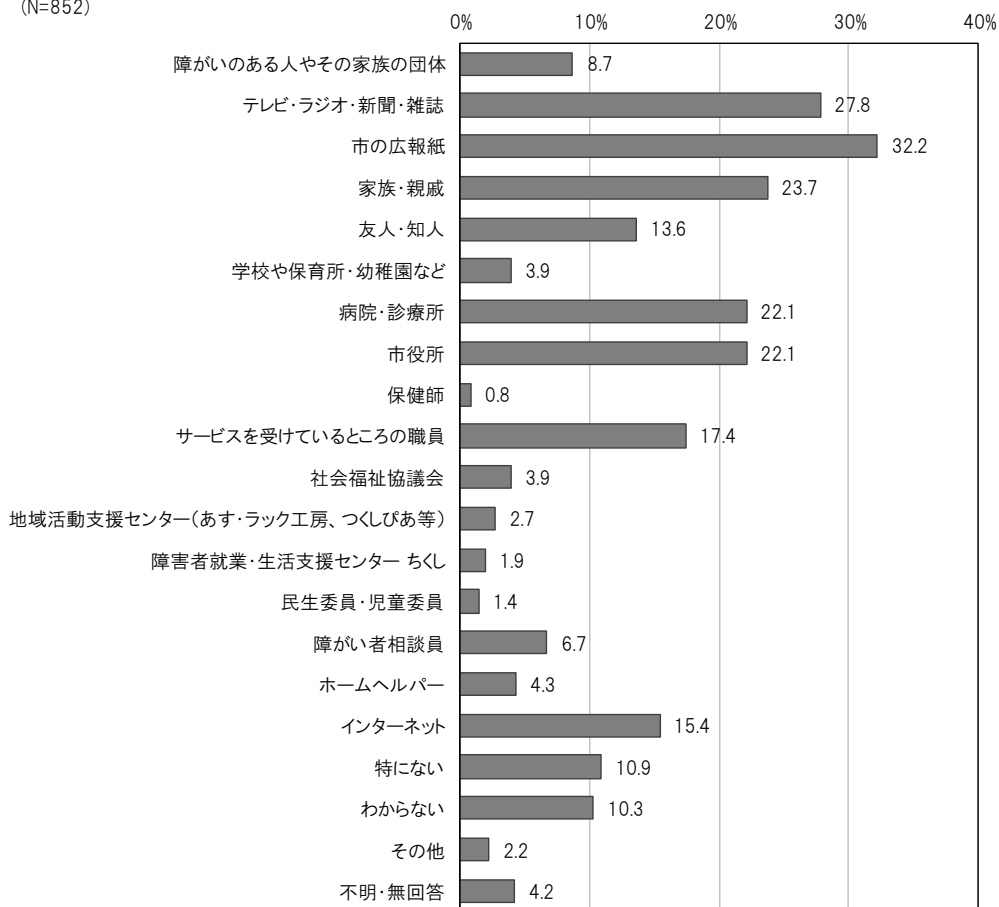


8. 福祉・保健・医療について

問27. あなたは福祉に関するサービスなどについての情報をどこから入手していますか。
(主なものを3つに〇)

福祉に関するサービスなどについての情報の入手先についてみると、「市の広報紙」が32.2%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が27.8%、「家族・親戚」が23.7%となっています。

(複数回答)
(N=852)



【その他回答】

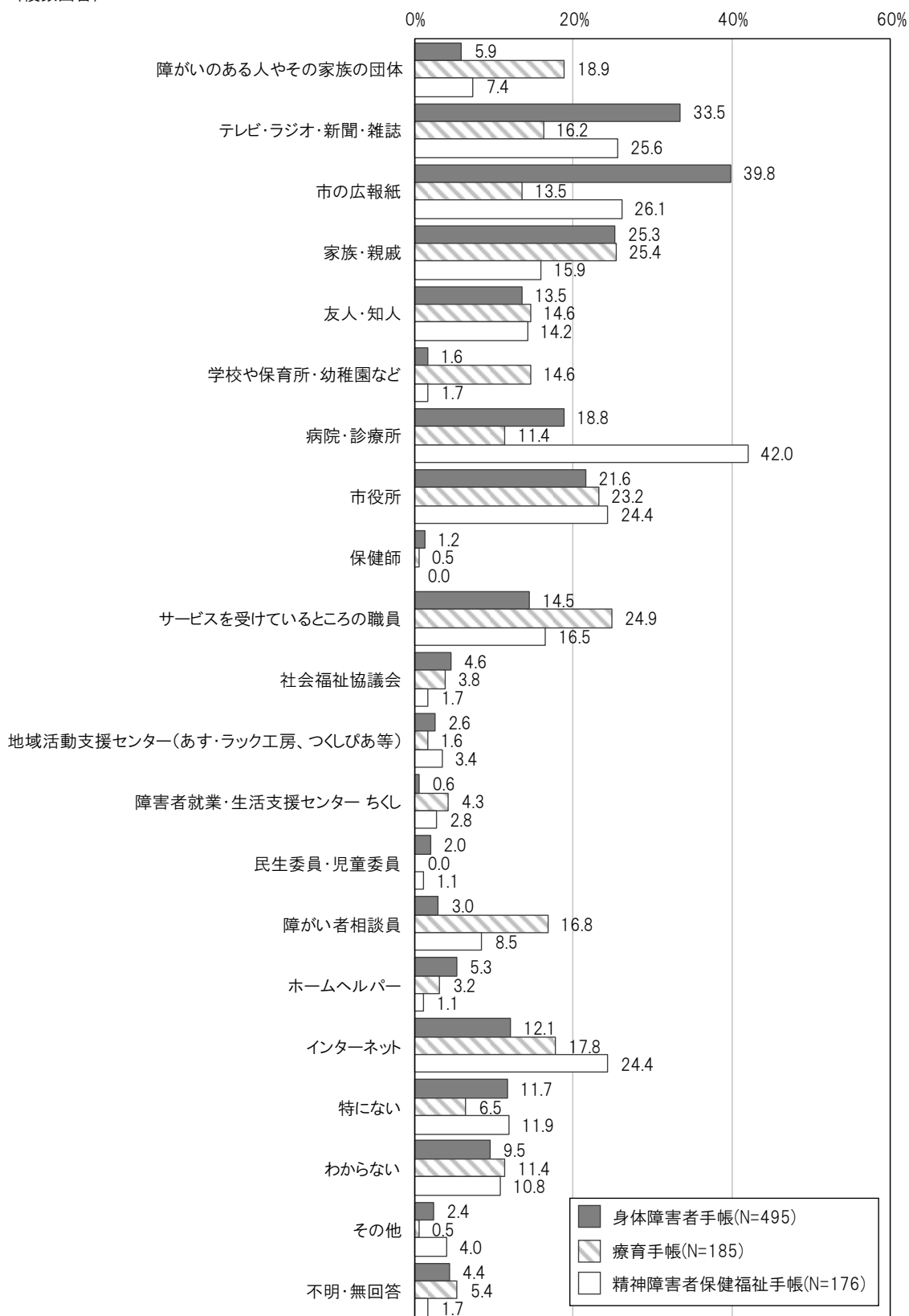
- ・ ケアマネジャー (5)
- ・ 市内はあるのに(福岡) 太宰府は支援していない
- ・ 以前働いていた所
- ・ 受けた事がない
- ・ 相談支援員
- ・ やまもも
- ・ 裁判所
- ・ 包括支援センター、ケースワーカー
- ・ 計画相談事業所
- ・ どうでもいい
- ・ 携帯電話
- ・ 情報誌

Ⅱ 調査結果
8. 福祉・保健・医療について

【所持手帳種類別グラフ】

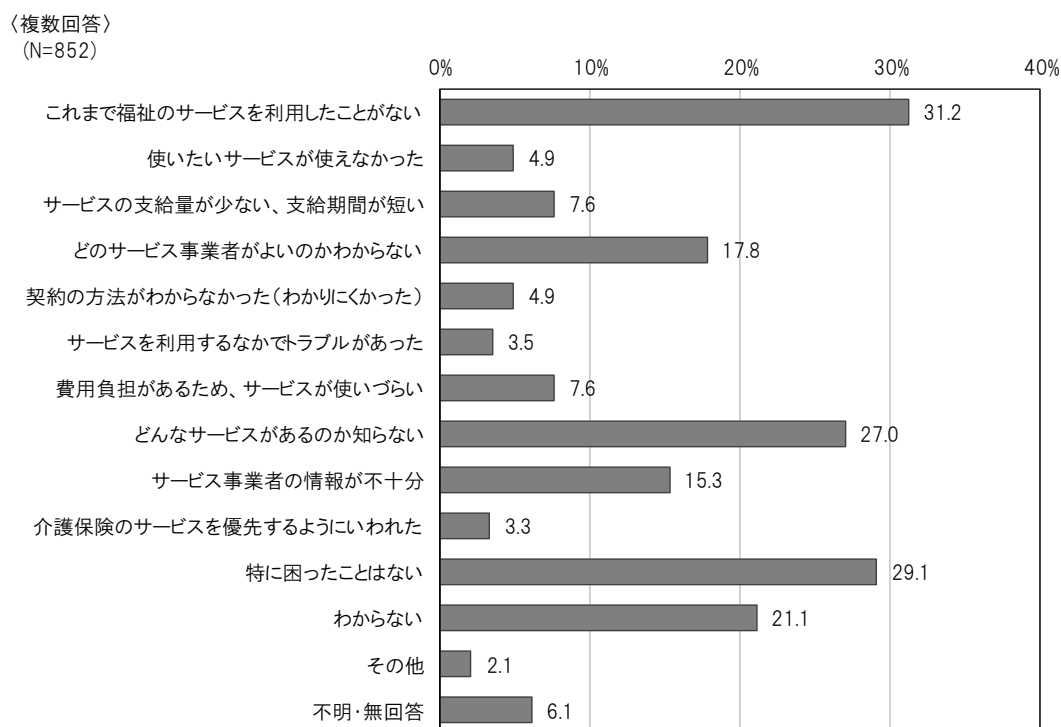
所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「市の広報紙」が、療育手帳では「家族・親戚」が、精神障害者保健福祉手帳では「病院・診療所」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉



問28. あなたは福祉のサービスを利用するとき何か困ったことがありましたか。
(主なものを3つに○)

福祉のサービスを利用するときの困りごとについてみると、「これまで福祉のサービスを利用したことがない」が31.2%と最も高く、次いで「特に困ったことはない」が29.1%、「どんなサービスがあるのか知らない」が27.0%となっています。



【その他回答】

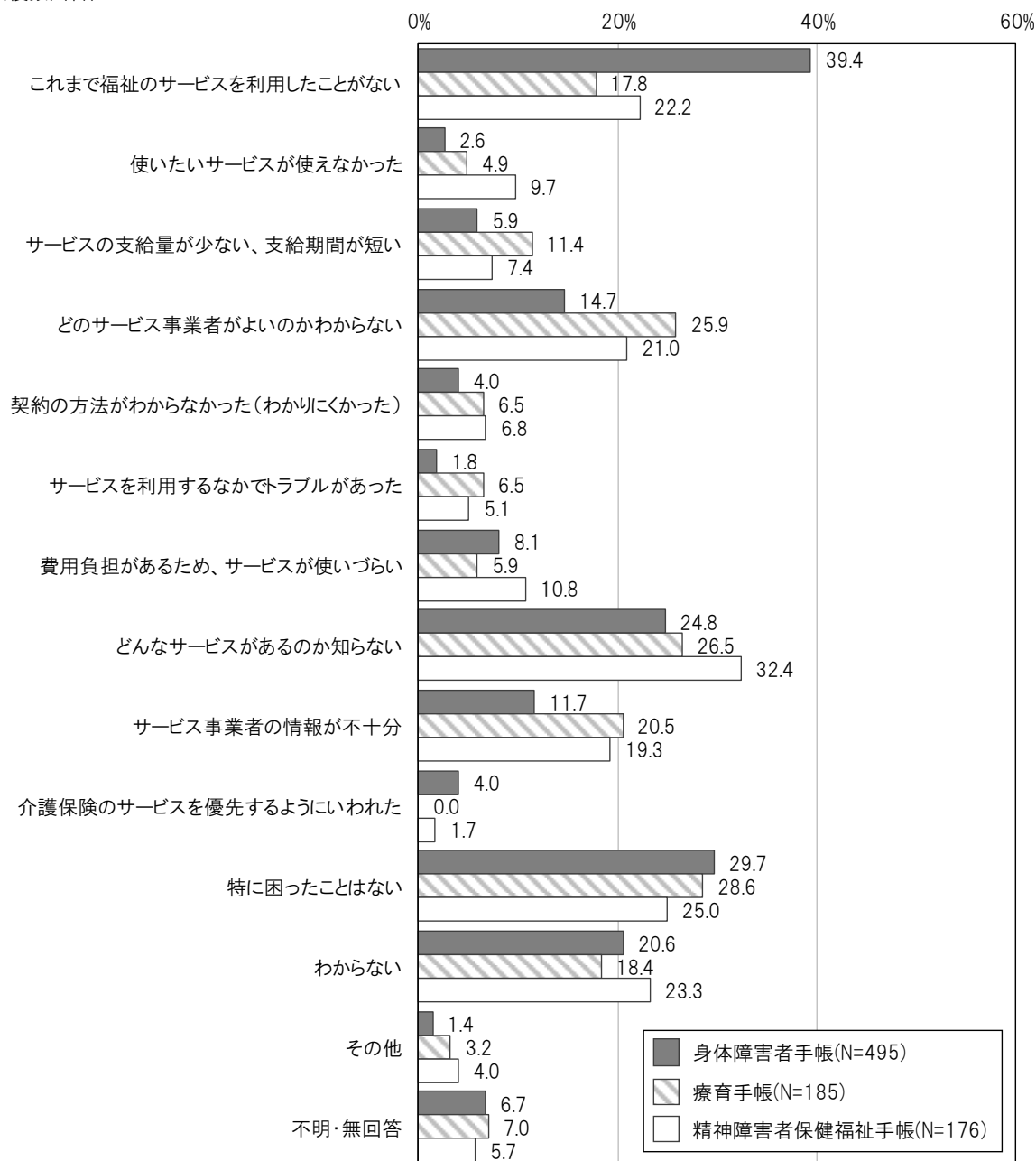
- ・ 音声は両耳で聴取するものであるのに補聴器は1つだけ。これでは危険は避けられないので、自分で両耳を利用している
- ・ サービスを利用してみたのですが、色々なタイプの方がいる為、本人が怖がってしまい、その回で終了してしまいました
- ・ 希望するサービスがない。相談しても断られた。精神、発達に対するものを作ってほしい
- ・ 利用出来るサービスがない。利用出来るサービスは障がい限定されていませんか？
- ・ 自分のやりたい仕事がなく、周りの方との人間関係が上手くいかない
- ・ 更生訓練費が出ることを市役所の人から教えてもらえなかった
- ・ サービス業者が少ない、療育が受けられない。他県に比べて
- ・ 市役所では得たい情報は教えてもらえませんでした
- ・ 福祉サービス開始までかなり時間がかかった
- ・ タクシー券の利用方法がわかりづらかった
- ・ 年齢が若いと利用しづらいものと感じた
- ・ 市役所職員(バイト)の対応が悪い
- ・ 太宰府市役所にやる気が無い
- ・ ヘルパーの利用制限
- ・ 手続きの書類が煩雑
- ・ 利用する機会がない

Ⅱ 調査結果
8. 福祉・保健・医療について

【所持手帳種類別グラフ】

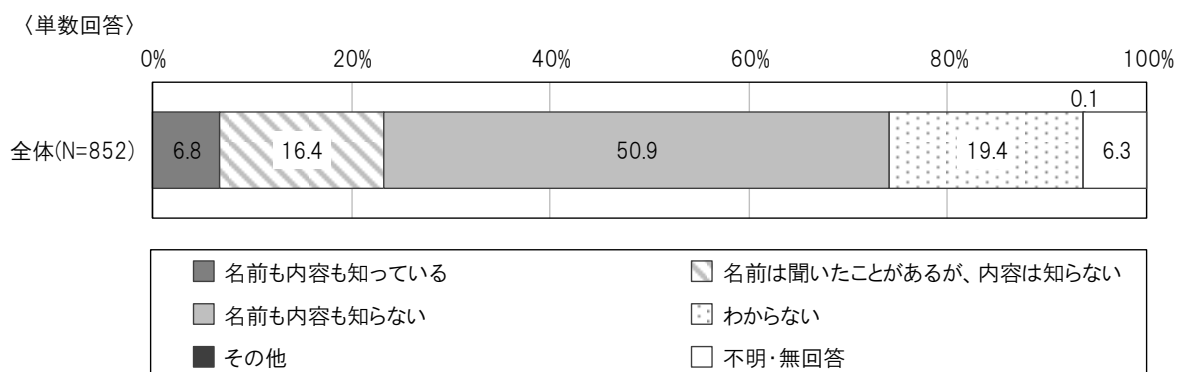
所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「これまで福祉のサービスを利用したことがない」が、療育手帳では「特に困ったことはない」が、精神障害者保健福祉手帳では「どんなサービスがあるのか知らない」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉



問 29. あなたは日常生活自立支援事業(「ほのぼのサービス」など)について知っていますか。(1つだけ○)

日常生活自立支援事業(「ほのぼのサービス」など)の認知度についてみると、「名前も内容も知らない」が 50.9%と最も高く、次いで「わからない」が 19.4%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 16.4%となっています。

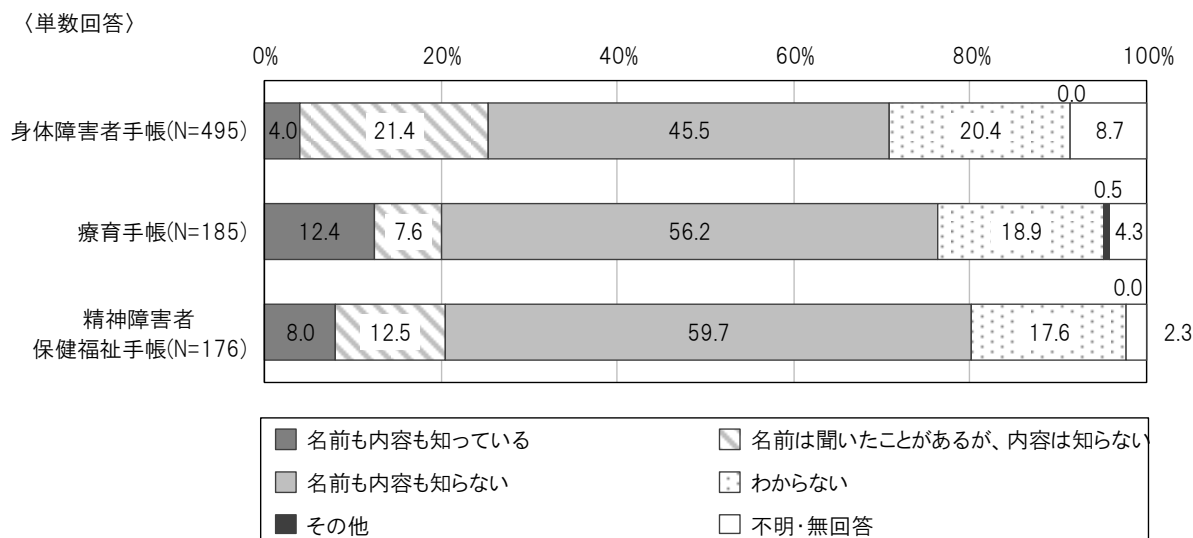


【その他回答】

・ 名前は知らないが内容は聞いた事がある

【所持手帳種類別グラフ】

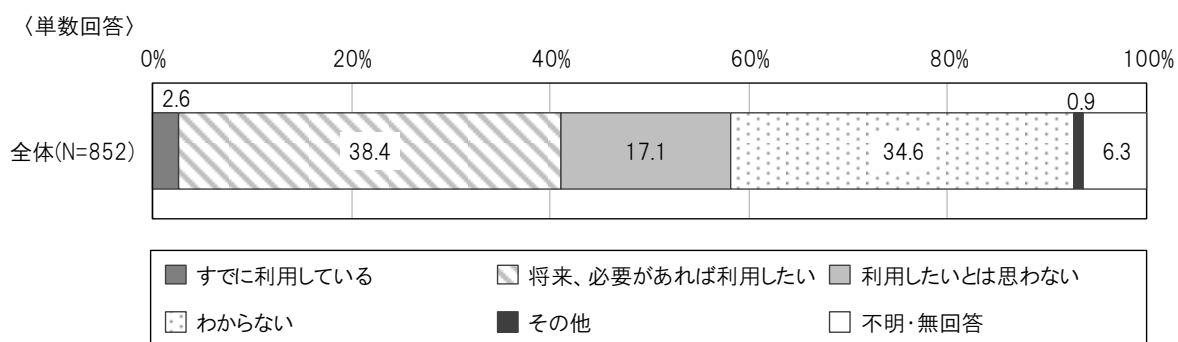
所持手帳種類別にみると、どの手帳も「名前も内容も知らない」の割合が最も高くなっています。



Ⅱ 調査結果
8. 福祉・保健・医療について

問30. あなたは今後、日常生活自立支援事業(「ほのぼのサービス」など)を利用したいと
思いますか。(1つだけ○)

今後、日常生活自立支援事業(「ほのぼのサービス」など)を利用したいと思うかについてみると、「将来、必要があれば利用したい」が38.4%と最も高く、次いで「わからない」が34.6%、「利用したいとは思わない」が17.1%となっています。

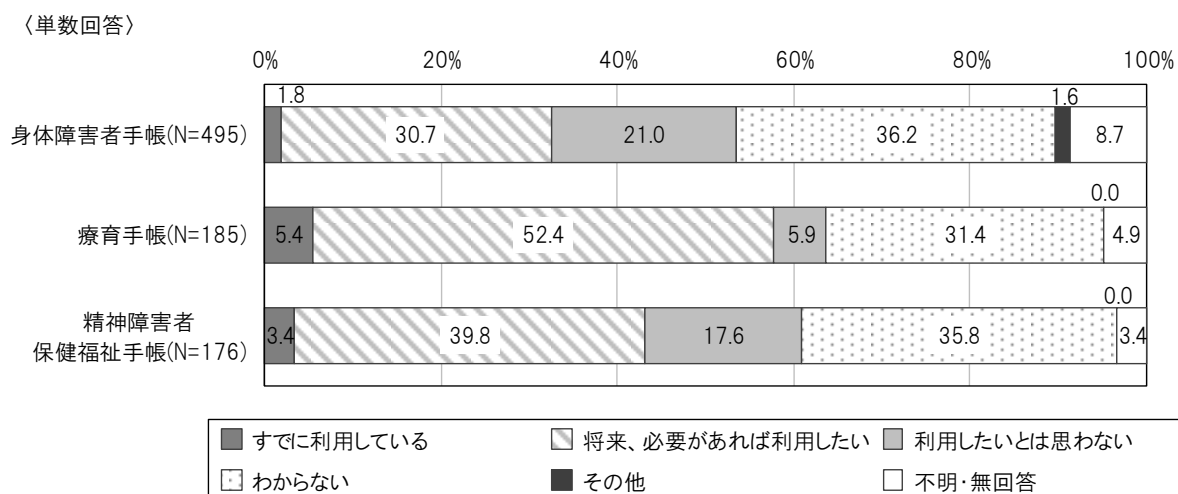


【その他回答】

- ・ 必要のない病状なので利用しない
- ・ 信用出来るかがポイント
- ・ 内容がわからない
- ・ 必要がない

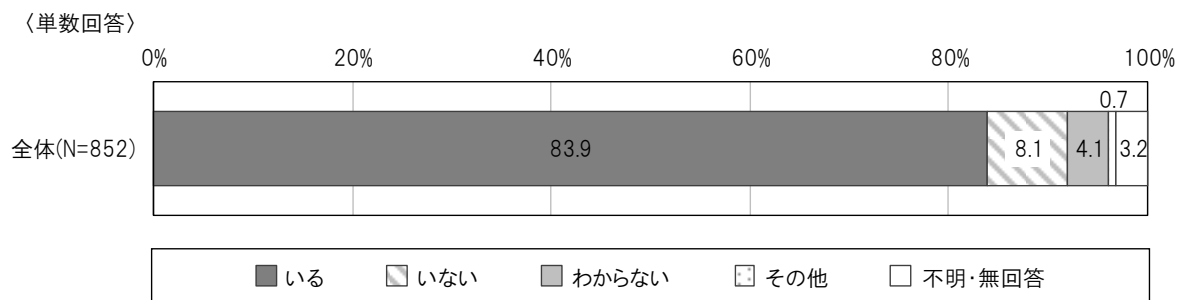
【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「わからない」が、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「将来、必要があれば利用したい」の割合が最も高くなっています。



問31. あなたには普段治療を受けたり、日常の健康について相談ができる「かかりつけの医師(病院・診療所)」がいますか(ありますか)。(1つだけ○)

「かかりつけの医師(病院・診療所)」の有無についてみると、「いる」が 83.9%と最も高く、次いで「いない」が 8.1%、「わからない」が 4.1%となっています。

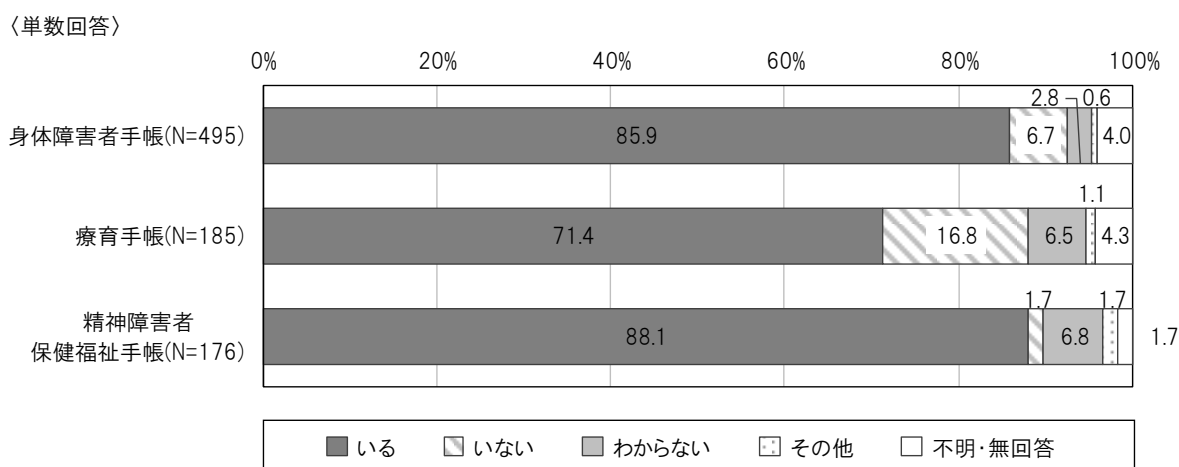


【その他回答】

- ・ かかりつけはありますが、主治医が見つかりません。30歳までは主治医がありましたが定年で病院をやめられその折、近くで主治医を探すよう言われたが、なかなか難しい。それまでは小児科だったので何科にしたらよいのか
- ・ 治療は受けるが相談とまではいかない
- ・ 耳鼻科通院中

【所持手帳種類別グラフ】

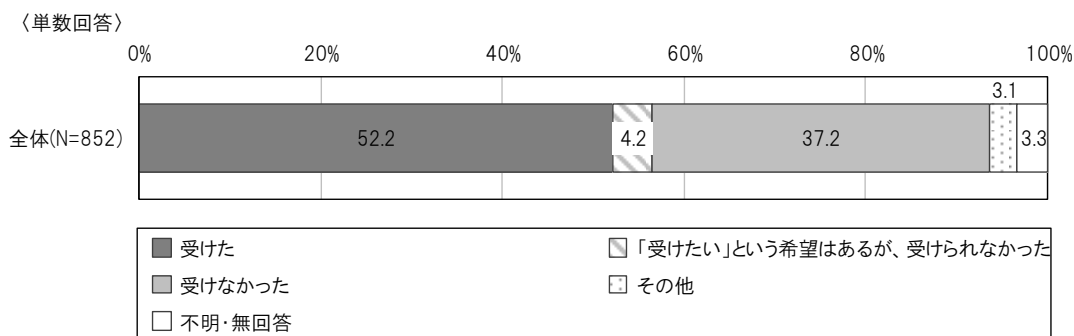
所持手帳種類別にみると、どの手帳も「いる」の割合が最も高くなっています。療育手帳では「いる」の割合が他の手帳より比較的低くなっています。



Ⅱ 調査結果
8. 福祉・保健・医療について

問32. あなたはこの一年間に、「健康診断」(がん検診、人間ドックを含む)を受けましたか。
(1つだけ〇)

一年間に「健康診断」(がん検診、人間ドックを含む)を受けたかについてみると、「受けた」が52.2%と最も高く、次いで「受けなかった」が37.2%、「受けたい」という希望はあるが、受けられなかった」が4.2%となっています。

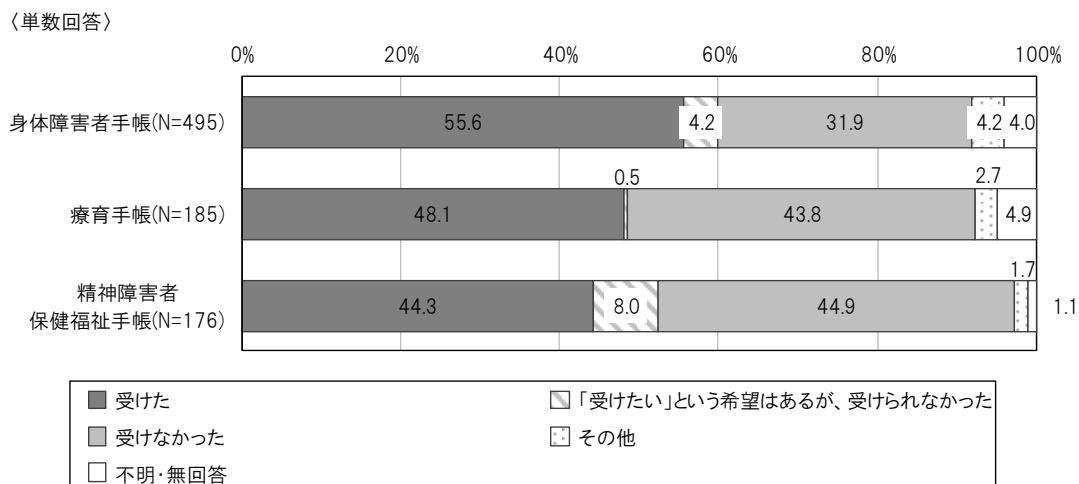


【その他回答】

- ・ 定期的に病院に行っている (3)
- ・ 障がい者にも健康診断があるとは知りませんでした
- ・ 子どもの為もう少し大きくなってからでも
- ・ 多くの病気で検査を受けている為
- ・ 毎月かかりつけの医師に行く
- ・ 小児慢性疾患の定期検査
- ・ 定期往診で健康管理
- ・ わからない
- ・ 施設
- ・ 入院中 (2)
- ・ ホームで定期的に血液検査等受けている
- ・ 受けられる体ではない動けない
- ・ 月1度の病院で相談している
- ・ 乳がん検診のみ受けた
- ・ 通院治療中
- ・ 幼児だから

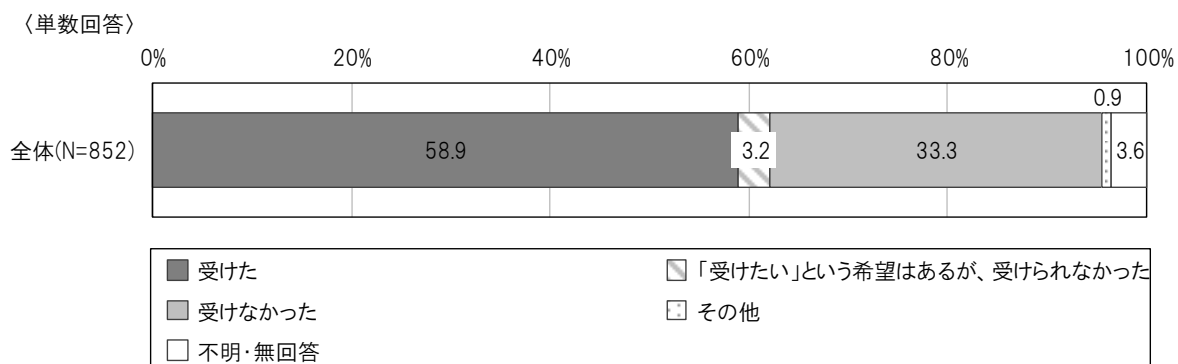
【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、療育手帳では「受けた」が、精神障害者保健福祉手帳では「受けなかった」の割合が最も高くなっています。



問33. あなたはこの一年間に、「歯科検診」を受けましたか。(1つだけ○)

一年間に「歯科検診」を受けたかについてみると、「受けた」が58.9%と最も高く、次いで「受けなかった」が33.3%、「受けたい」という希望はあるが、受けられなかった」が3.2%となっています。

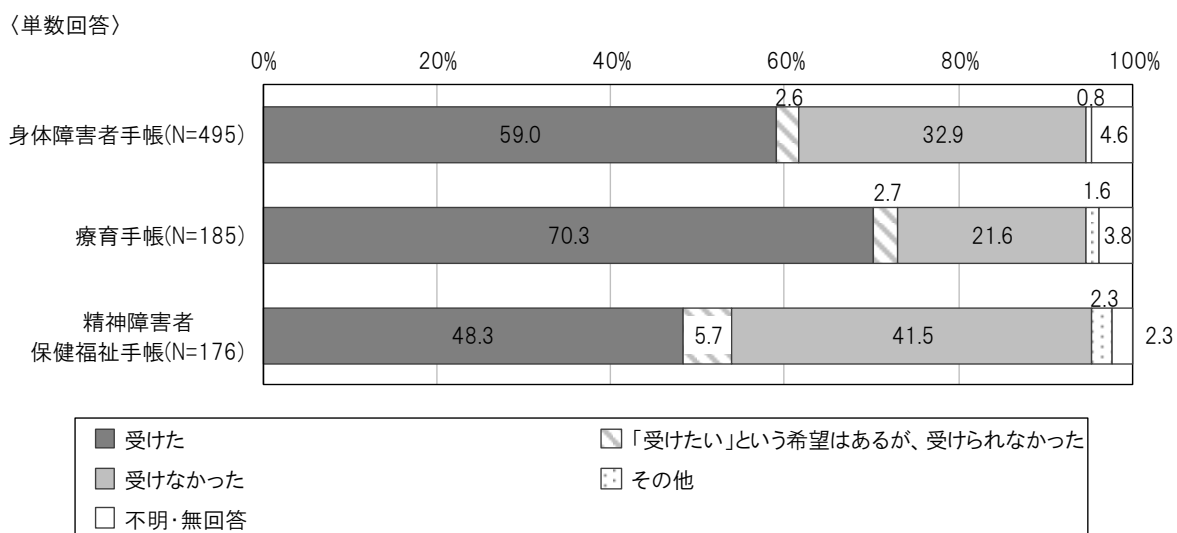


【その他回答】

- ・ 歯科検診のことがわからない (2)
- ・ 受けようとしていたが新型コロナウイルスの影響で延期している
- ・ 毎月1回かかりつけの歯科に行っている
- ・ 施設

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「受けた」の割合が最も高くなっています。

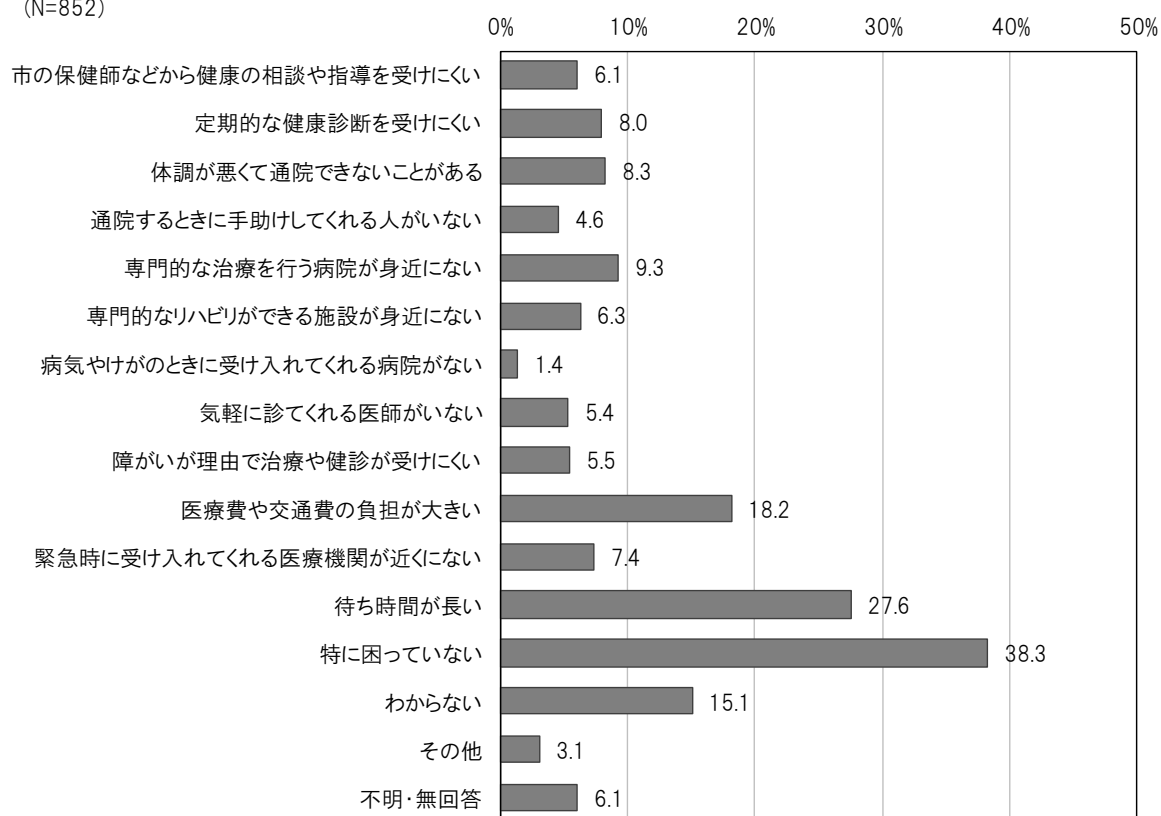


Ⅱ 調査結果
8. 福祉・保健・医療について

問34. あなたが保健や医療について困っていることは、どのようなことですか。
(主なものを3つに〇)

保健や医療について困っていることについてみると、「特に困っていない」が 38.3%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」が 27.6%、「医療費や交通費の負担が大きい」が 18.2%となっています。

〈複数回答〉
(N=852)



【その他回答】

- ・今は家族の支援で通院出来るが、将来自分で通院できるのか不安がある（2）
- ・自閉症でコミュニケーションが難しい為、本人の不安を軽減させながら検査を上手に対応してくれる耳鼻科がないので困っている
- ・現在は健康で病院に行く事はないが、これから歳を重ねるにつれて、どこに行けば受け入れてくれるかがわからない
- ・体調を先生に伝えることが苦手なため、初めて行った病院の先生にうまく伝えることが出来ずに戸惑うことがある
- ・学校での受診は先生が付いて下さるので受けれますが、病院では逃げ回り受けることが出来ません
- ・通院時の親の負担が大きく気軽には受診出来ない。車椅子での受診が難しい病院（小児科）が多い
- ・他のメンタルクリニックにも行ってみたが自立で決められていて困る
- ・現在何とか病院通いは出来ていますが、通院不能になった時が困る
- ・急な体調の悪化に対応してくれる人がいるかわからない
- ・定期サービスを受けているが、思うように良くならない
- ・介助者が仕事との兼ね合いで時間を調整するのが難しい
- ・入院保障（保険）に入りたいが保険メニューが少ない
- ・通院に時間がかかる。家族に負担がかかっている
- ・市内にもっと病院又はクリニックがあればと思う
- ・診察でのコミュニケーションがうまくいかず困る
- ・介護タクシーを利用しているが負担が大きい
- ・話を良く聞いてくれない、説明が解りづらい
- ・太宰府市の障がい者の認定基準がデタラメ
- ・仕事に時間を取られ気軽に病院に行けない
- ・何ヶ所と行かなければならない
- ・家族が連れて行くので大変
- ・大学病院等へは1人で通えない
- ・保険負担

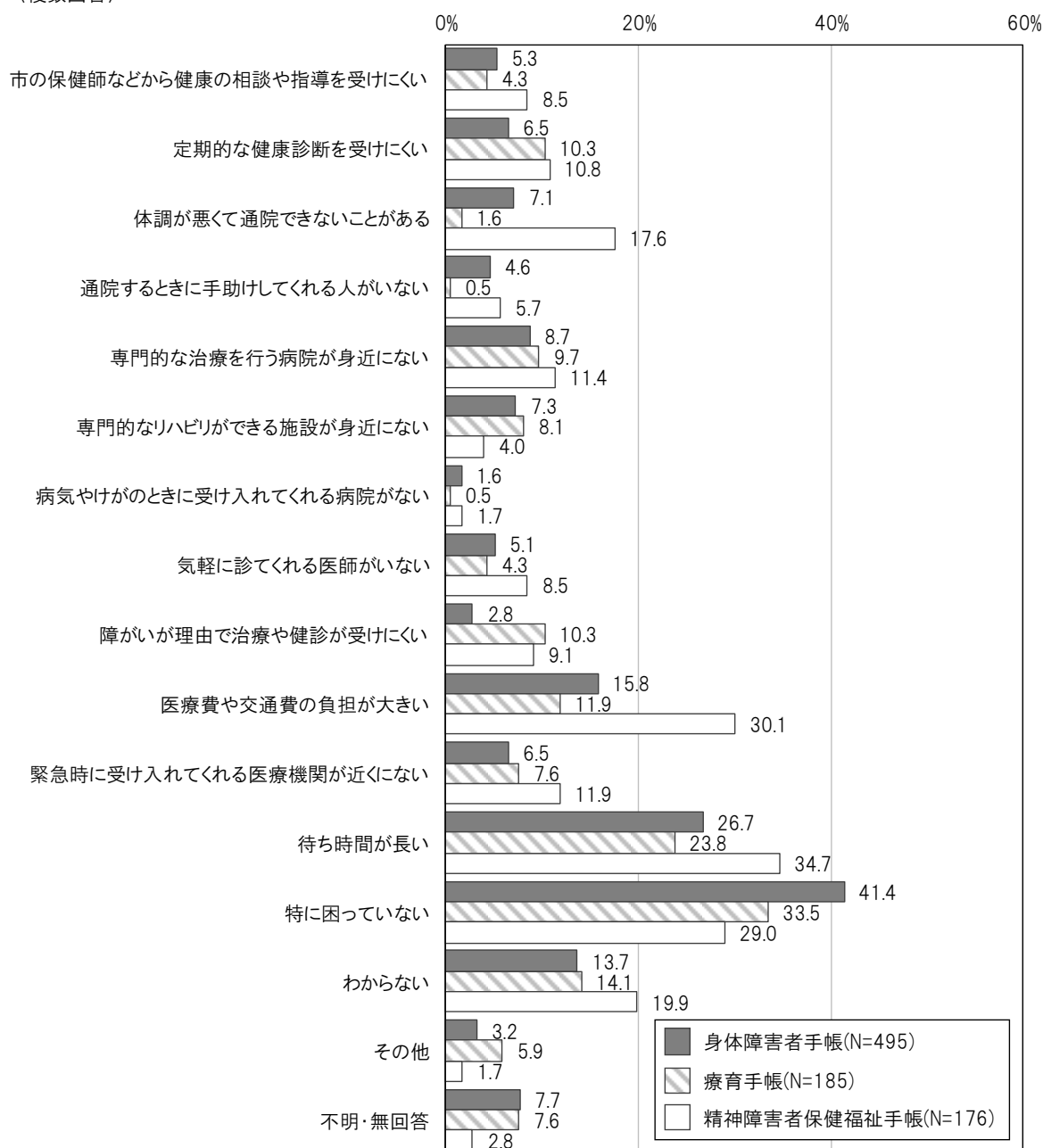
Ⅱ 調査結果

8. 福祉・保健・医療について

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、療育手帳では「特に困っていない」が、精神障害者保健福祉手帳では「待ち時間が長い」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳では「体調が悪くて通院できないことがある」、「医療費や交通費の負担が大きい」の割合も他の手帳より比較的高くなっています。

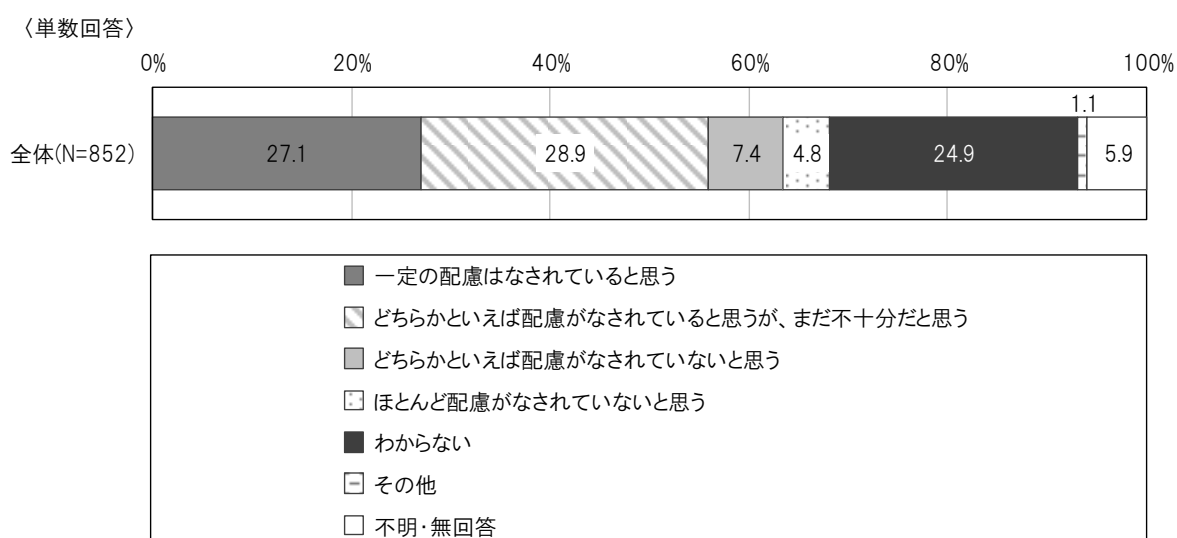
〈複数回答〉



9. 差別の解消や権利を守ることについて

問35. あなたは日ごろの生活のなかで、障がいのある人への配慮がなされている、または、なされていない(差別がある)と感じたことがありますか。(1つだけ○)

日ごろの生活のなかで、障がいのある人への配慮がなされている、または、なされていない(差別がある)と感じたことがあるかについてみると、「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う」が 28.9%と最も高く、次いで「一定の配慮はなされていると思う」が 27.1%、「わからない」が 24.9%となっています。



【その他回答】

- ・ 特に感じたことはない(2)
- ・ 私個人としては差別は感じていないが、心の中では健常者ではない、かと言って障がい者扱いでもない気持ちです
- ・ 配慮があるものの理解のない人のために駐輪場、トイレなど十分利用出来ないことがあり困る
- ・ 精神障がい者に対する配慮はまだまだ少ないと思う
- ・ 言葉が速くて電話での会話が出来ない
- ・ 普通に扱ってくれる

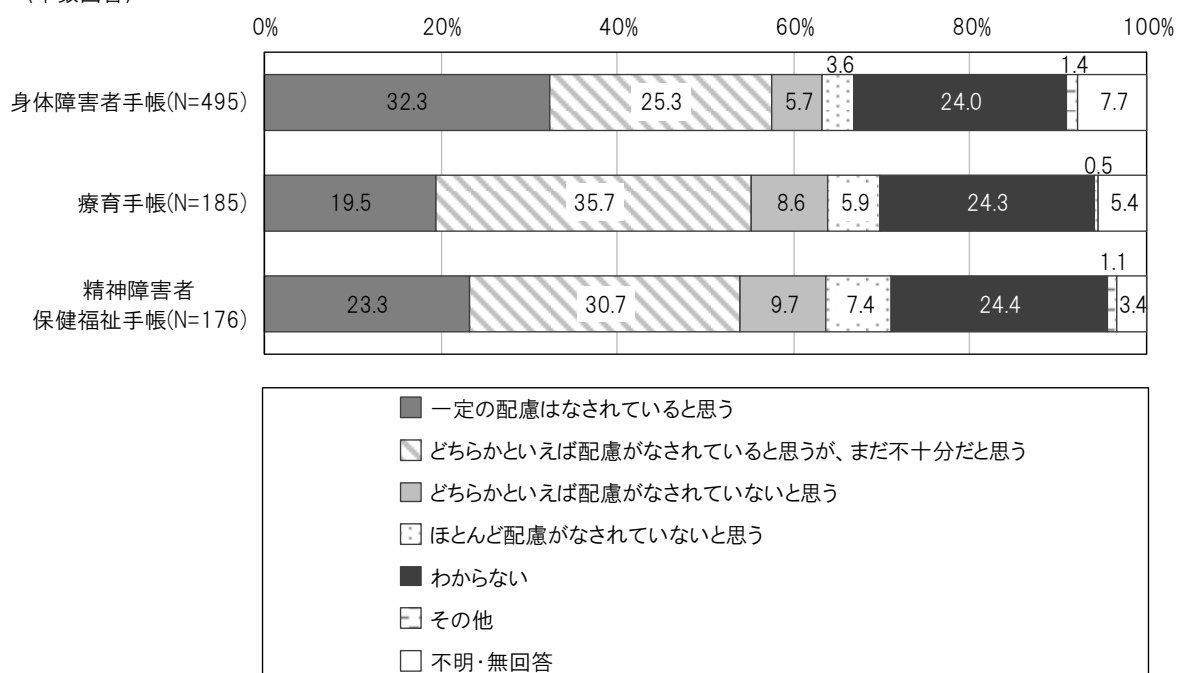
Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「一定の配慮はなされていると思う」が、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う」の割合が最も高くなっています。

〈単数回答〉



問36. 障がいのある人への配慮が感じられたこと、逆に、配慮がされていない(差別がある)と感じられたことの実例がございましたら、ご自由にお書きください。

【配慮が感じられたことの実例】

●病院への通院や医療について

- ・丁寧な身の回りの事をしっかり考慮して対応してくれる医療関係、福祉の方に感謝。
- ・通院していた頃の医師や入院先の医師、看護師など障がい者の認定されるまでのご尽力、その後のケアなど患者に寄り添って頂いたなと思います。
- ・てんかんの治療の為検査をしたいが、どこへ行っても受け入れてもらえず、専門外の病院が代わりに血液検査をしてくれました。
- ・医院に行った時など優しくしてくれています。いつも親との行動ですが、会う人ごとに子どもに声かけしてくれ喜んでいきます。
- ・病院や店は基本的に良くしてくれます。
- ・病院で診察が終わり支払いの時に、今までは名前で呼ばれて聞こえない時が多々あったが、今は掲示板で助かっています。(ただの機械化だとは思いますが)

●仕事について

- ・作業所があること。
- ・仕事の場で障がいを理由に仕事をさせない事。
- ・初めて行った障がい者の事業所は毎日行くのはきついが2年間近く行った。
- ・健常者より休憩時間が多い。
- ・職場で、周りの人に小休憩取りたい時は、いつでも言って下さいねと言って下さる時。
- ・仕事場でメモを取る時間を頂いた時。
- ・現在の職場において面接時に発達障がいについての聞き取りを行いそれを考慮した仕事の割り振りをしてくれる。指示系統内容が具体的であり、報連相がしやすい環境である。
- ・職親制度を使いパート就労につながった事。
- ・(母が) パートの仕事を探している際、かなり厳しい状況の中、難病である本人の状況なども全て受け入れて皆と同じ雇用条件で受け入れてくれた会社があり、今も迷惑かけながらも働けています。

●周囲とのコミュニケーションや気づきについて

- ・必要な書類があると、メモなどで書いてもらえたり必要な期間中で対応してくれます。わからない事や不安な事を何度聞いても嫌な顔をせず、しっかり教えてもらえる。
- ・申請手続き等において納得出来る説明を行っていただけること。
- ・市役所に行っても、健常者の様に対応してくれているなと思える事で配慮が感じられた。
- ・いつ来ても市役所の方が優しい。声掛けをして下さる。
- ・市役所の福祉課の方々の対応の良さです。
- ・知り合いのご近所さんが本人を見かけると声をかけてくれる。
- ・声かけをしてもらえた。
- ・地域の方々や近所の方々が挨拶をしてくれ、登校時間に合わせて下さっている。

Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・騒いでいて家族が困っている時に声をかけてくれた。
- ・近所の人から心配される。
- ・地域の人々が声をかけてくれる。
- ・出来るだけ近くで話される。
- ・少しびっこをひいているのですが、自分では大丈夫なのに皆さんが気づかってくれる。
- ・人によって対応で、障がいに合わせてお話や関わり方への配慮が少しずつ出来ている方も増えてきています。(ごく一部ですが)
- ・私は3歳の時中耳炎手術で左耳が全く聞こえません。障がい者手帳を受けたのは58歳の時。転勤族で太宰府へ帰り、健康診断を受けた時、福祉課へ行くように言われました。親は左耳が聞こえないことは知っていた様ですが恥と思っていたのでしょうか！でも私は小さい時から初めて会う人には左耳が聞こえないことを伝えました。友人らは必ず右側に並んでくれます。気づかみや優しさをいつも感じています。
- ・例えばお母さんと旅行に行ってお土産を病院の訪問の人に渡したかったけど、もらってもらえなくて持って帰って、たまたまバスまほろば乗った人にあげますと言ったら受け取ってくれて、お礼をくれたり。朝まほろばに乗ったら話かけてくれたり、お昼にバスを待っていたら話しかけてくれる人がいて嬉しかった。雨の日傘をさしてくれたこと。
- ・本人が他に知られたくないと思っている人が多く、差別意識は自分自身が多く持っている。その為に他人が差別していると感じやすいのでは？例：買物の際、カートの下部へペットシートやトイレトペーパーを押し込もうとしていた時、カートを押さえてくれた男女、その他杖を持っていないのに親切な行為に感謝。
- ・外出すると学生さん、若い方ととってもよくして下さい。
- ・車椅子生活ですので、ドアを開けてくれたり、車椅子を押してくれる人がよくある。
- ・エレベーター等の乗り降りを優先して頂いた。
- ・困った時良く手伝ってくれました。
- ・車椅子を利用している時に、場所をあけてくれたり、やさしく声をかけてくれた。
- ・最近では皆障がい者に対して、優しく親切になったと実感しています。特に電車、バスに乗った時に実感しました。
- ・疲れた時に休ませてくれる友人。
- ・病気の事を言えばやってもらえる。
- ・障がい者手帳を見せたら理解できるか確認されながらゆっくりともう一度説明してもらえた事。書類を書く時、読めない漢字を教えてもらい、書けない漢字を別の紙に書いて教えてもらえた事。
- ・周りの、友人がきちんと注意してくれる。
- ・行事の度、どう進めるかの相談がある。
- ・配慮と申しますか、障がいがあることで、嫌な気持ちになったことがあまり無く、これは小学校からの障がいについての学習をして頂いているお陰だと思えます。繰り返し、障がい者への理解、教育学習をお願い致します。
- ・人は皆違うのでその子に合った方法を色々なサービス等を早めに教えてくれる。

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・就学前健診で職員の方々が、子どもが落ち着いて受診できるように案内して下さいました。
- ・溝などにはまったりした時、周りの人が手伝ってくれた。
- ・障がいの事を質問してくれたり、話を聞いてくれたりした。
- ・近年は働く人の教育が充実し、言葉による差別などはどこのお店や会社でも感じることはない。全般的に優しい社会となっているが規則に沿って行っている人にはすごいストレスだと思う。このストレスが歪んで現れてこないように思う。
- ・重い荷物を家に運び入れようとして難儀している時、青年が通りかかって助けてくれた。
- ・買い物かごを運んでくださる等、店員さんや優しい方の対応。多目的トイレがあるのはありがたい。
- ・紙などに書いての指示。
- ・障がいについて尋ねてくれる。まず話を聞いてくれる。わからない事に対応、配慮に困った時はその都度聞いてくれる。
- 病気や障がいへの理解について
 - ・以前と比べると、障がい者に対する理解が進んでいて、他者に対して失礼な事をした時、障がいがありますのでと詫言ると理解してもらえ。本当にありがたい社会になったと色々な事も含めてそう思います。
 - ・病気の事を理解してくれている。
 - ・中には理解してくれる人がいる。
 - ・友人が優しく、理解してくれる。
 - ・あまり障がいの説明をしなくてもわかっていますよという感じの対応をしてくれた時。
- 交通機関の利用や移動、駐車場について
 - ・引っ越してきた者ですが、西鉄電車を利用します。その際満員の状態でも身体不自由な方とかの座席がありますがそこは若い人が座っていない事です。福岡の人は親切ではないでしょうか？
 - ・車椅子の方が電車に乗降する時に、西鉄の職員の方が親切に手助けしている様子を見かけた時。
 - ・車椅子の方への配慮→西鉄電車職員の対応。ステップや駅員が来る場所。
 - ・車椅子の人に対して駅員さんが手助けをしてあげている。
 - ・交通費の割引に丁寧に対応してくれる駅員がいる。
 - ・ふれあい駐車場がある事。
 - ・まほろば号の運転士さんの、障がいのある人への対応が素晴らしかった。
 - ・バスに障がい者が乗ろうとしたら、運転手さんが手伝っていた。
 - ・学生の方や女の方が、いつも席を譲って下さりとても助かります。
 - ・公共の乗り物の利用の時いつも良くしてもらっている。天神等の飲食店、カフェ。
 - ・杖をついているので席を譲ってくれます。
 - ・公共交通機関利用時に、席や道を譲られた。
 - ・市のまほろばバスでの事ですが障がいのある方に席を譲って下さる事や、私事ですがシルバーカーで買い物をしてバスの乗降の時に重いものですから困っていると、さっと上げ下ろしをして下さりとても感謝しています。
 - ・駐車場の障がい者スペースはありがたいです。

II 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

●福祉サービスについて（各種割引等含む）

- ・健康保険の件で福祉課でお世話になり有難うございました。
- ・福祉サービスが充実していること。
- ・市で生活に必要な装着器具を一部負担でまかなってもらっています。
- ・市条件などで経済的支援がいくつも配慮されている。
- ・障がい者年金等の経済的支援がある事。
- ・手当やサービス。
- ・内部障がいの定期診断が受けられる。
- ・医療費の軽減。
- ・交通費の軽減。
- ・自動車保有の税金の軽減。
- ・タクシーの福祉券。
- ・タクシー券がもらえた。治療費が月 500 円。
- ・介護ベットの購入価格の差。
- ・交通費の半額。
- ・市内福岡市のバスが半額。
- ・交通費の軽減（西鉄） JRは 100 km以上（不満）。
- ・障がい者相談員さんに困った時は相談出来る事。
- ・手帳や年金など色々なサービスを受けられるところ。
- ・2級の更更新手続きが毎回得られることです。
- ・本当に良くしてもらっていると思います。家に来てくれたり、又、電話もしてきてくれます。ありがたく思っています。
- ・特別児童扶養手当。
- ・子どもが幼い頃、市で「親子でボール遊びをしよう」という企画があり、参加した。そこに小学校の特別支援学級の先生が補助で参加されており、アドバイス等して頂き、とても心強かった。
- ・1人暮らしになって市の福祉サービス、ヘルパー事業、民生委員、福祉関係機関には大変お世話になっていてありがたい。助かっています。
- ・以前勤めていた会社で障がい者の人が受けられる手当について案内してもらった時。
- ・隣組に入っていないので（アパートに住んでいるので）広報誌も入りません。でも市役所で太宰府市 2019 年べんり帳があったら下さいと言ったら探してくださいました（受付で）。
- ・アンケートが送られてくるなど。

●さまざまな施設・設備のバリアフリー化について

- ・優先席や点字ブロックの設置。手話通訳。缶の飲み物やエレベーター家電などいろいろな場面で点字表現があること。公共の施設や店舗などでバリアフリー化が進んでいること。
- ・歩道など随分バリアフリーになった。障がいのある子の放課後の支援が少しずつ進んできた。親が安心して働ける様もっと充実を。
- ・駅の多目的トイレの設置。

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・ 席の移動。
 - ・ スロープ、エレベーターの設置等駅の設備。
 - ・ 多目的トイレが各地にあること。
 - ・ JR二日市一折尾駅エレベーターの設置。
 - ・ 車椅子の設置。
 - ・ 駅などエレベーター、エスカレーターがあるのは助かる。
 - ・ コンビニのドアが自動ドアに変えられたこと。よく行くコンビニの店員さんがドアを開けてくれるようになった事。
 - ・ バリアフリー、スロープなど身体障がいの方の配慮。
 - ・ 入口にスロープがある事。
 - ・ 多目的トイレが増えた。
 - ・ 病院、スーパー等で車椅子が利用できるように設置されている。
 - ・ 病院受診時に玄関に車椅子が常時置いてある。
 - ・ 電車内に情報が文字として出されていたこと。
 - ・ 市役所の周囲に屋根がつき、とても歩きやすくなった。
 - ・ 外食を週2で楽しんでいます。階段がある所が多く、行きづらい所も多くありますが「手すりをつけて頂くと助かります」と伝えると、数か所のお店は対応して頂けました。
 - ・ 日頃公共施設において様々な配慮は感じております。
 - ・ ベンチなど休む所がある事。ベンチ周りが綺麗な事。
- 保育や教育、学校生活について
- ・ 私は母子家庭なのでサービスを利用していました。息子は今、学園の寮生活で暮らしています。とても配慮して頂きありがとうございます。助かっております。
 - ・ 現在通所している保育園の先生方が子どもへの対応をよく考えてくださること。
 - ・ 学校生活の間は先生、お友達共にとても理解がある方ばかりで恵まれた学校生活を送る事が出来ました。本人の特性と個性を理解して、温かく見守ってもらい、心豊かに生活が出来ました。”共生”を自然体で行えた事！とても感謝しています。幼、小、中と父親の転勤でお友達がすべて変わりましたが、どこの地域も恵まれていました。
 - ・ 以前は筑紫野市に住んでいたのですが、市によって違うんだなと感じた。太宰府は手当や福祉関係の書類送付も早いです。助かっています。ありがとうございます。この場を借りて、コロナで休校になり大変困っていましたが、小1～3は学校で見て頂けることになり大変助かりました。大野城、筑紫野のママ友が羨ましがっていました。
 - ・ 小学校で他生徒が手助けをしてくれたり、一緒に考えてくれたりしている。学校での障がいのある子に対しての教育がきちんとされており安心している。

Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

●その他

- ・私自身、ずっと健常者のみの集団で育ち、世の中に障がいのある人がいるという認識すらなく生きてきた。障がいを持つ身になって初めて、世の中には色々な障がいを持つ人がいるという事がわかった。障がい者を別の場所で教育する等の結果だと思う。突然障がい者と接することになった時、接し方に戸惑ってしまうと思う。悪気はなくても、お互いにコミュニケーションの方法がわからないと思う。小さいころから障がいがある、なしの人々が普通に混ざっている環境を作ると理解が深まると思う。
- ・アルコール依存症の人だけでの話し合いがある。
- ・美術館や博物館などで助かっている。
- ・配慮が行きすぎて困る時がある。
- ・報道機関などよく気をつけていらっしゃる時嬉しい。
- ・東京都のヘルプマークが福岡県でも導入されたこと。
- ・自分の思っていた所に入所出来た事です。楽しく過ごしています。
- ・ケアマネジャーの実態を知りたい。誰が決めているのか。

【配慮がされていない（差別がある）と感じられたことの具体例】

●仕事について

- ・ 仕事場で辞めさせるような事をさせる事。
- ・ 仕事の際に障がいの内容を知った直後に解雇を突然された。
- ・ 仕事を探している会社にも障がい者がいるのに私には対応してくれなかった。厚生省に通達してほしいとも思った。
- ・ 体調が悪い時に休めそうで休みにくい状況。職場での障がいの配慮が感じられない。
- ・ 職場で自分に直接面と向かっては言わないが、障がいのある人を馬鹿にする発言をよく聞く。挨拶しても無視される時も。
- ・ 突然職場をその日に解雇された。
- ・ うつを「気のせい」などと言われる。発達障がいについて「病気」という認識というかそのような言い回しで平等であるかのような扱いをし、こちらが提示した「こうしたら働きやすいです」という資料を無視される。
- ・ 障がい者雇用の雇用率があるのに多くの企業が雇用していない事。
- ・ 正社員になれない。
- ・ 就職時、障がいがある事を理由に雇用されなかった。
- ・ 仕事面。（コミュニケーション、スピードの指摘→面接の時に話していたのに）
- ・ 100社以上不採用。（精神は特に無理と言われたことがある）
- ・ 一般より給与が低い。
- ・ なかなか精神障がい者の求人が少ない。
- ・ 病気に対しての差別。仕事など。（病気で出来ない事をわかってもらえない）
- ・ 職場で、自分の体調（ふるえ等）を指摘された時。
- ・ 本人が自覚があるのか不明だが、アスペルガースペクトラムと思われる方に仕事を習う事になり、相手の立場に立って考えることが苦手な方なので、慣れない仕事を習うのに苦労したが、上司に相談しても「そういう相手を病気だといった差別はしたくない」と特別な対応が必要になる事を理解してもらえなかった。
- ・ なぜでないのかと詰め寄られた過去に働いていた会社。

●保育や教育、学校生活について

- ・ 冷めた態度や子どもに罵声を浴びせたり、学校で「あの子は障がいだから」と無視されたり、一緒に遊ぶのを拒否、逆に遊んでわからないだろうと意地悪をする。
- ・ 学校が支援学校で別の学校だからでしょうが、集合住宅に住んでいるものの同年代の子との関わりが全くありません。差別だとは思いますが、イベント etc の集まりを地区内でやってた事すら知らない。当たり前にはぶかれている状況に寂しさを感じます。
- ・ 学校生活で「だまれ、障がい者」と言われた事がある。物が隠されたり、しゃべるとくすくす笑う人がいる。
- ・ 現在小学6年生ですが、高学年になるにしたがって、同級生から無視されたり、冷たい態度をとられたりする事が多くなってきました。いじめられる事もなければ、優しく接してくれる事もないといった感じです。

Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・ 支援学級にいただけで変な目で見られ、仲間に入れてくれない。いじめられる。
 - ・ 子どもが学校でトラブルを起こした際、相手の親御さんから「あなたの子どもは迷惑な子だ。学校に来させるのであればあなた（母親）が毎日付き添って監視するべきだ。」と言われた。どんなに学校の先生や私、子ども自身が頑張っても1つ問題を起こせば、支援級に入っているだけで悪者扱いされることがある。
 - ・ 小学生の頃（3年生に転入）支援ルームに入りましたが、その学年に発達障がいの子がおらず、先生も児童も理解が薄く嫌な思いもしました。中学入学の時も、市の職員、校長、本人、保護者の話し合いの場で、市職員は地元中学を勧めましたが本人は周りとの関わりが上手くいっていないと感じていたので、支援学校への進学を希望しました。学校の中でもその辺りの理解度アップをお願いしたいです。その時の校長は理解ある先生でしたので支援学校への進学を応援して下さいました。
 - ・ 義務教育以上、特別支援高等部に不合格になり、本人は大変落ち込んで希望をなくし、引きこもりになった。軽度知的、発達障がい者も特別支援高等部へ入り作業訓練、日常マナー、社会へ入る準備をしたかった。
 - ・ 保育所入園の際、0歳児で他の子と何も変わらないのに入園を断られた時。
 - ・ 学校の先生が変わると怖い。
 - ・ 感覚過敏の為、どうしても苦手な食べ物があるが、給食では必ず一口食べるよう指導され、吐いてもその方針は変わらず、単なる好き嫌いではないと説明しても、他の児童の手前もあるので特別扱いは出来ないと返され親はなすすべはないし、子は登校渋りをするので大変だった。学校は子に無理をさせてでも平均化を図ろうとするので、何の為の特別支援学級なのかわからなくなった。
- 周囲とのコミュニケーションや気づかいについて
- ・ 困っていたり、不快な思いをしても知らないふりをされる事がある。
 - ・ 困っている時気に留めてくれない気がするだけかもしれませんが、こちらから配慮はなかなか言えない。
 - ・ 困っていても見て見ぬふりをする方が特に若い女性に多いです。差別ではないですが、人の事より自分本位で悲しい思いがします。
 - ・ 職場に限らず、やはり差別意識は多々あると思う。例えば見下した感じ等。これは個々の人間性によるもので仕方がない。何も期待しなければ何も思わない。市役所の人間にも必ずいる。
 - ・ 電車の中で聞こえてきたやりとり。おそらくヘルプマークを持った人が優先席周辺で年配の方に「このマークのこと知らないんですか？」から始まって次第に陰悪なムードに。「障がいがあって大変なんです」→「あなたは若いから」のような応酬で姿は見えませんでした。がピリピリしていて、それだけでも怖かったです。見えない障がいであればいちいち説明しなくてはならないのもどこか変ですし、カードのことを知らない、それを責める訳にもいかない。「(知って)これからはお気をつけ下さいね」との言葉を残してその方は降りられましたが、実際その時具合が相当良くなかったのではと思います。年配の方達も「そんなに言わなくても、..」という様子で複雑な気持ちになりました。ことさら障がいを主張しなくても、ちょっとした配慮での支え合いが出来るようになってほしいです。苦しい時は誰にでもあるのですから。

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・ 言語障がいですので、電話での会話が出来ない（速いので）遅くゆっくりしゃべって頂くと理解が出来る。なんでも電話での通信ですので。
 - ・ 障がいがあるというだけで、上から目線や関わり方など知らないと言平気で言う人は言います。いじめをする人がいて大変な時期がありました。
 - ・ 軽くあしらわれる事が時々ある。相手の気持ちになってほしい。
- 交通機関の利用や移動、駐車場について
- ・ 西鉄ストア、踏切との間に横断歩道必要。郵便局前の信号点灯があまりにも遅い。
 - ・ バス、タクシーが車椅子利用者や歩行困難者の目線に立っていない。
 - ・ 電車の優先席にヘルプマークが追加になってなかった事。
 - ・ 西鉄、JRの車椅子の人、視覚障がいの人への配慮。
 - ・ 交差点で右左折車が障がい者の歩行を急がせる。我々は必死で渡らねばならない。自動車学校に特別に市当局より申し入れを頼みたい。
 - ・ 小学校の障がい者スペースに「太宰府市」の車が停まっていたのを2回見たことがある。そういうところ。
 - ・ 障がい者とはいえ見かけが元気そうなので、車を障がい者のスペースに停めてジロジロ見られることがよくある。プレートを見せて停めようとする時「えっ」という目で見られるのが心外。
 - ・ 通行の妨げになるのによけてくれない。駐車場に無資格者が駐車している事が多い。(婦人、若者に多い)
 - ・ 障がい者用駐車スペースに100円ショップで販売している障がい者ステッカーを使用して駐車している車両が多い。
 - ・ 私は車で移動しますが駐車場（ふれあい）に一般の方が停めていて止められない。
 - ・ 駐車スペースがある所が少なく、あっても健常な方が停めている事が多く止められない事。
 - ・ 車椅子Pに普通車が停まっている。
 - ・ 席の移動がなく歩行器を横に立っていたこと（西鉄30分位）西鉄の普通電車以外は乗降するにあたり完全に健常者レベルの動きが必要。歩行器を移動してくれないタクシードライバーがいた（西鉄タクシー）。
 - ・ 横断歩道で止まっても車は止まらない事が多い。
 - ・ バスや電車で優先席が中年の方やサラリーマンの方が眠って座っているので、ずっと30分程立ったままの時もあり困った。今度ヘルプカードを作りたいと思いました。
 - ・ 障がい者二モカがクレジットタイプに出来ない。
 - ・ 電車やバスに乗ると若い人ほど冷たいし怖いまじで。
 - ・ 流しのタクシーで家に帰ろうと思って、シルバーカーの荷物を出してトランクに入れてもらう為下を向いていた時、タクシーに逃げられた事が同じタクシー会社で3度あった。
 - ・ 通院に必要な高速道路利用の際、身体障がい者に対するETC料金の割引があるのに対し、精神障がい者に対する割引がない。(まほろば号、JR等含む)
 - ・ 1人で公共の交通機関を使う事のハードルが高い。バスの運転手の方が不親切な方が多いように感じた。
 - ・ 駅構内、ホームに休憩できる椅子が少ない。

Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・入口近くに車椅子が自由に使えるよう置いてあるのは助かるが、そこに行くまでが遠かったり、わからなかったり、また返しに行くのが大変な事がある。
- ・目の見えない人が通っているのに自転車をとばして横を走っている。
- さまざまな施設・設備のバリアフリー化について
 - ・都市デザイン。
 - ・目が不自由な方、車椅子の方、やはり道路が歩きにくいのではないのでしょうか。
 - ・ベンチなど小休憩する所がない事。エレベーター等がない事。
 - ・普通電車しか止まらない駅などはエレベーターがついてなくて不便。
 - ・多目的トイレを増やしてほしい。赤ちゃん用のオムツ替えベットではなく大人も使用できるくらいのベット（折りたたみなど）が必要。オムツ替えは赤ちゃんだけではありません。
 - ・歩道の段差がかなりあって通りづらい。
 - ・場所によってはエレベーターがどこだったり遠かったり。
 - ・階段には手すりを必ずつけてほしい。
 - ・ベンチなど休む所を作ってほしい。
 - ・横断歩道に音声案内がついていない為、視覚障がい者が苦労している。
 - ・右側だけに手すりがあり、右麻痺の方が困っていた時。
 - ・歩道が狭い、でこぼこしている点。
 - ・点字ブロックの上に自転車が止まっている。
 - ・障がい者トイレ、普通の人でもよく使いなかなか使えなくて困っています。
 - ・段差やトイレの利用で困る事がある。
 - ・道路の整備が進んできたが、まだまだ細部には段差や幅の小ささ等がある。
 - ・太宰府は車道と歩道の間に段差がある。車椅子の人は大変だろうと思う。私も杖で歩くが、歩道から車道、歩きかえる時に困る。側溝のふたのつなぎ目の穴にふたをしてほしい。杖の先が入ってしまった。これは差別ではなく、障がい者の生活がわからない（無理解）だと思っただけで差別とは思ってない。
 - ・利用するすべてに近いものが健常者目線。ポストの高さ、自販機、道の段差、坂が急なスロープ道、道幅の狭さ。
 - ・段差やエレベーターのないバリアフリーでない場所。
 - ・トイレに和式が多い。
- 点字ブロックの上に駐輪するなど、マナーについて
 - ・点字ブロック上に人や荷物。スーパーの通路に車椅子が通りにくいほどに品物が積み上げられていること。知的障がいや精神障がいの方の言動を見て、明らかに怪訝な顔をなさる方が多いこと。
 - ・差別ではないが、点字ブロック上に駐車、駐輪する車などが多く、又、歩道の点字ブロックが破損したりしている事が多い。市道に歩道が少ない。また横断歩道も少ない。（県道も）
 - ・都府楼駅前の駐輪場において駐輪マナーが悪く歩道まで自転車が止められていることがある。目の不自由な方が自転車に引っ掛かり転倒している姿を見かけたことがあります。
 - ・私は視覚障がいではないけど、スーパーとか点字ブロックに自転車を止めている人が多い。点字ブロックの意味さえ理解できていない人が多いと思う。

●周囲の無理解、誹謗・中傷について

- ・見た目でわからないから、怠けているとか障がいのせいにしてと言われる事がよく身近である。
- ・地域の目。(老人から仕事をしない怠け者と思われている)
- ・「医療証があるから安くて済むね」と言われる事がある。
- ・精神障がいは家庭でも理解されない。特にないが、見た目に何か障がいがあるようには見えないので配慮されることはないと思う。
- ・主人が精神科病棟への入院中に「医師と患者が納税者をあざむいている」との意見を聞いたことがあります。やはり偏見はあるのかなと改めて思いました。
- ・児童相談所で手帳の更新の時、精神年齢を小学生レベルと言われ、馬鹿にされたので気分が悪かったです。
- ・どこから見ても普通じゃないですかと言われたとき。
- ・漢字が読めなかった時に「日本人なのに何で読めないの」とか携帯で検索していたら「簡単な字読めてない」と知らない人に陰口を言われたり、笑われたりした。漢字が書けなくて戸惑っていると、不機嫌な顔をされる。
- ・本人が小1の頃、余暇でプールに行き順番を守るルールがまだしっかりとわかっていない時、ルールを守れず(ルールがあった事に気づかず)年配の男性が、言語でのコミュニケーションが取れていない子に怒鳴り、止めに入った小4の兄が「障がいを持っていて」と伝えると「障がいなんか関係ない！」と怒鳴り。年配の男性は自分の体裁が大事だったのでしょう。共生が大事だと一層感じました。
- ・見た目で判断され理解されない。言葉の暴力を受けやすい。
- ・スイミングを習いたかったが、スイミングスクールによっては、発達障がいの子は難しいと断られる。ママ友の情報で那珂川のミリカローデンでは受け入れてくれるので、約1年通ったが小学生になり、スクールの時間が遅くなり送迎もしないといけないので、段々と厳しくなり辞めた。周りの理解や対応が追いついていないと思う。
- ・私のすぐ近くの距離で人の陰口が言われていた時。
- ・ある説明会で難聴なので聞き返したら嫌な顔をされた。
- ・目が悪いとか体が悪いとかは見た目で見えるので配慮されているとは思いますが、聴覚障がいは見た目では全然わからないのでムッとされる事がよくあります。
- ・少しの説明や病名、障がい名だけで自分の理解の範ちゅうで判断されてしまう。配慮がないと1番感じる所。
- ・どうして歩かせないのかという目や言葉。
- ・税金泥棒というような心ない言葉を見る。(特にネット上で)
- ・今回は立ち退きで、相手側の担当の人より生活保護を受けているし、障がい者ですから部屋がありませんと。
- ・差別を感じるのは障がいのある人への知識がなく、変な人、怖い人等といった目で見られることが多い。なかなか心の問題なので解決するのは大変だと思う。子どもの頃からの教育が必要ではないかと思う。

Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

●病院への通院や医療について

- ・病気で病院にかかる時、生活保護の方は病院へ手続きの紙を持って行きますが、受付や待っている間に事務の方がその紙を他の方に見せる。見えるようにするのでやめてほしい！
- ・病院を受診した時に、精神科を受診していると伝えたら「必要ありません」と言われ途中で点滴を抜かれた。
- ・触診なし、血圧計なし患者を診る事よりも帰宅される事で急いであります。障がい者だからよく診なくても気づいていないと思っていらっしゃる様ですが、毎月この様な事です。
- ・医院であまりに待たされたので（親の薬もらい時）パニックになりますので別の日にしますと言ったら、次は連れて来ないで下さいと看護師さんに言われた事。
- ・病気の治療の為に検査を受けたいが、会話が出来なくてパニックになるので検査をしてくれる所が見つからない。
- ・私が人工透析にいった時、諸手続きの多い事。老人にとっては非常にわかりにくい。市役所の各係での対応はよくしてくれるが、その後の対応先が多岐にわたっていてわかりにくい。
- ・病院の待ち時間が長くて配慮されていない。

●個人情報の保護について

- ・アンケート（何年も前の事です）用紙に番号がありました。今回はありませんが無記名の意味がないと感じました。
- ・情報を一方的に共有される事。一応同意を聞かれるが「同意しない」と言いづらい。

●福祉サービスについて（各種割引等含む）

- ・読書が好きで図書館を利用していましたが、上階で催しがある時に図書館利用の人は遠方の駐車場の指示がありました。足が不自由なのでと訴えても「決まりですから」と言われ図書館に返却できないことを詫言いました。又移動図書館を利用していたら、利用地が削られました。些細な事でしょうが、太宰府市はこの程度と思いました。
- ・障がい者手帳が大きすぎ。写真を手帳の中でなく表に貼る。福岡市のような小さく写真を中に貼る手帳がいい。周りの人の目が気になって恥ずかしい。
- ・県内、市内の公共施設の方の対応があまり良くないので良くしてほしいです。
- ・太宰府市役所の住民票窓口で順番を待っていた時、窓口の職員2名が私を見ながら陰湿な笑い方で対応していた。
- ・制度が多く、書類の手続きが多い。
- ・役所窓口の説明が、人によって差がありすぎる。
- ・考えるのに時間がかかるので、このようなアンケートを書く場合、もう少し早く届けてほしい。2週間では短いと思いました。
- ・今はどうなのか知りませんが、夏祭りの福祉関連ブース、冊子等で「高齢者や障がいのある人も市民です」というような文を掲げていました。そんな当たり前のことをわざわざ意識付けしないとそう思えないと思っている市にびっくりしてしまいました。誰もおかしいと思わないのか、次の年も。5、6年前位でしたが今はどうか？そういう意識なんだと悲しく思いました。
- ・委任状が多く、手続きに時間を要する。福祉用品の申請にも手続きが多過ぎる為エネルギーが必要。

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・市のバス料金は一般の人と同じであることが大いに不満に思う。バスや電車は半額なのになぜ同一料金なのか？
- 差別的な視線を感じる
 - ・怪しそうな人がいるという視線を向けられる。”狂っている”という言葉が無意識にそのお宅の子が使うのは、ご家庭で親御さんがそのような言葉を使っているからだろうと思う。”狂っている”のではなく、そういう障がいなんです。自分と違うからって変な顔して見ないで下さい。
 - ・人の視線を感じる。(じろじろ見られる)
 - ・とりあえず視線と、軽蔑的な意識が気になる。
 - ・周りからの視線。
- その他
 - ・ヘルプマークに対する啓発活動が少ない。
 - ・年金の事で相談したいと思っていますが、あまりわからないので家族に任せてしまっています。
 - ・ヘルパーが友達みたいに話して、楽させてよと言っては野菜のカットを全部させる。
 - ・見た目が普通なので、どうしても相手方よりおかしい顔をされ、さらにお話すると一層びっくりされる。身体的障がいではないので、そこは仕方がないかも。外出が好きなので、よく変人扱いされ職質を受ける事もある。
 - ・病気や障がいを持った者が問題や事故を起こすと、その病気や障がいを持つ者すべてを排除、制限しようとする傾向が強くなってきたように感じる。中には法律で罰則まで設けたりしている事もある。この傾向が進むと増々自立への道が細くなるばかり。結果、公金や福祉のマンパワーが大量に必要となる。誰も利する者がいないと思うが。
 - ・ジョブコーチさんを高校生の時に利用したが、コーチさんから厳しく言われたのが嫌になりちくしに行かなくなった。
 - ・これだけのデジタル化されつつある社会であれば、申請しないと出来ない事、更新しなければならぬ事の大部分は本人が知らないバックヤードで処理されても良いのではないかと思います。不正利用する人がいるから？なのか。
 - ・本人のこだわり等障がいの特性で繰り返す音などの生活音で現在住んでいるアパートでのクレームが出ていて、色々工夫したり、本人を叱ったりして余計に悪い状態。外で騒いでいる若い人達には何も言わないのに。(多分言えない)
 - ・母の不在時など心配になる。(ご近所トラブルあり引っ越し先を探している)
 - ・病気の事を話しても、どう気を付けたらいいのか知らなければそれまで。説明が大変。
 - ・高齢者夫婦(80歳以上)で障がい者であっても隣組長は順番でしなければならない。
 - ・障がいのある子は人が変わると大変だけど毎年変わると大変です。
 - ・本当に大丈夫か徹底的に調べてほしい。病院も国内、国外と。特別児童扶養手当の期間。(病院など付き添いが多い為)
 - ・連日ニュースになっているコロナのデマでもわかる様に結局「自分さえ良ければ良い」が人間の本質。
 - ・まだまだ社会の中で理解して頂けてない事が沢山あります。個人の努力だけでは難しい事が多いですが、甘える事なく本人も家族も頑張らないといけないと思います。

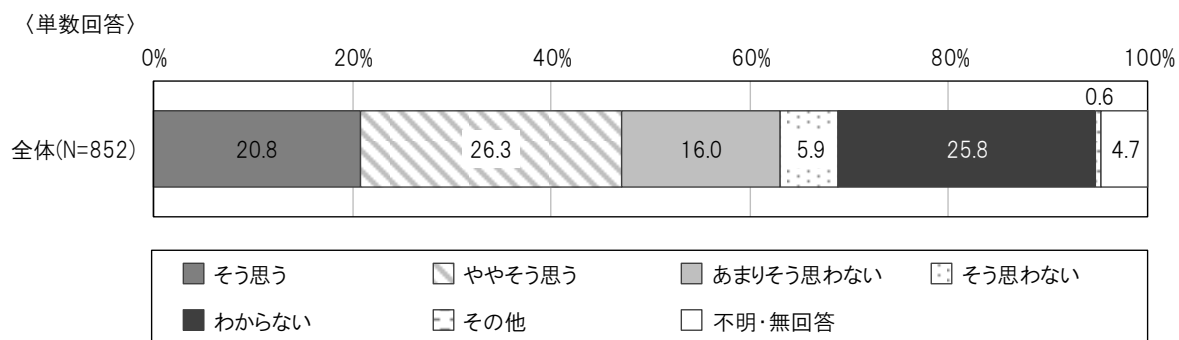
Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

- ・酸素をしているのですが、特に年配の方が「かわいそうに」などとすぐ言ってきます。
- ・差別はしないと思いながら、ふとした時に自分の中にある差別の意識を感じた時。

問37. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。(1つだけ○)

市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思うかについてみると、「ややそう思う」が26.3%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「そう思う」が20.8%となっています。

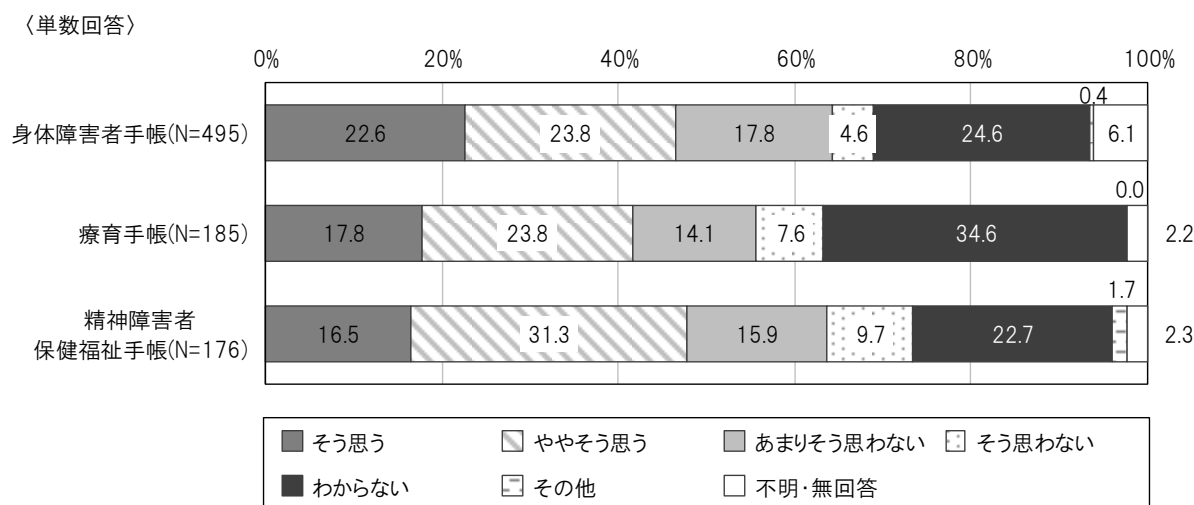


【その他回答】

- ・ 太宰府市役所の一部の窓口職員に差別の意を感じた
- ・ こういう配慮がされてますのアピールがない
- ・ 利用することがない
- ・ 職員による

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、療育手帳では「わからない」が、精神障害者保健福祉手帳では「ややそう思う」の割合が最も高くなっています。

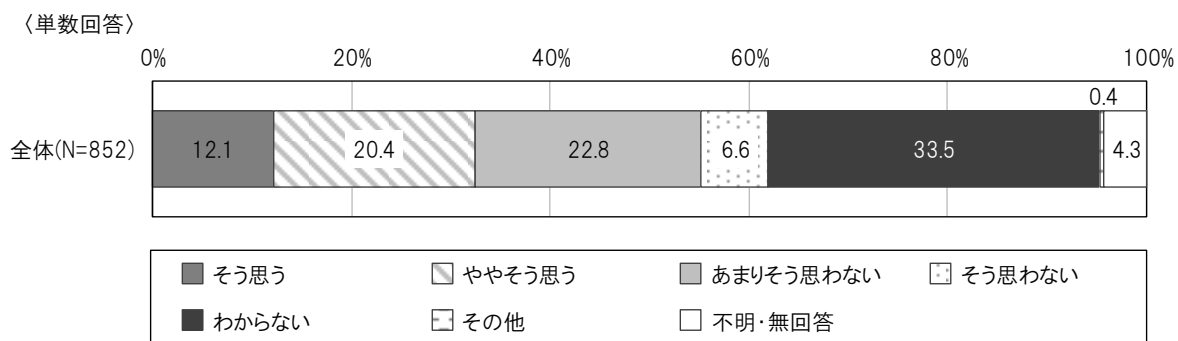


Ⅱ 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

問38. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。(1つだけ○)

市内の民間施設が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思うかについてみると、「わからない」が33.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が22.8%、「ややそう思う」が20.4%となっています。

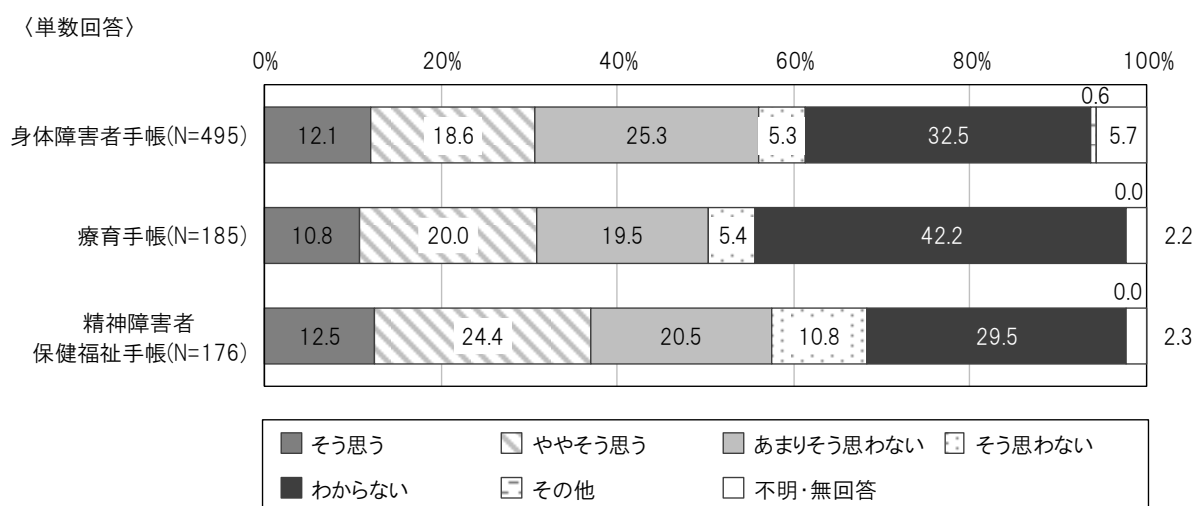


【その他回答】

- ・市内の民間施設とは施設内容がわかりません
- ・利用することがない

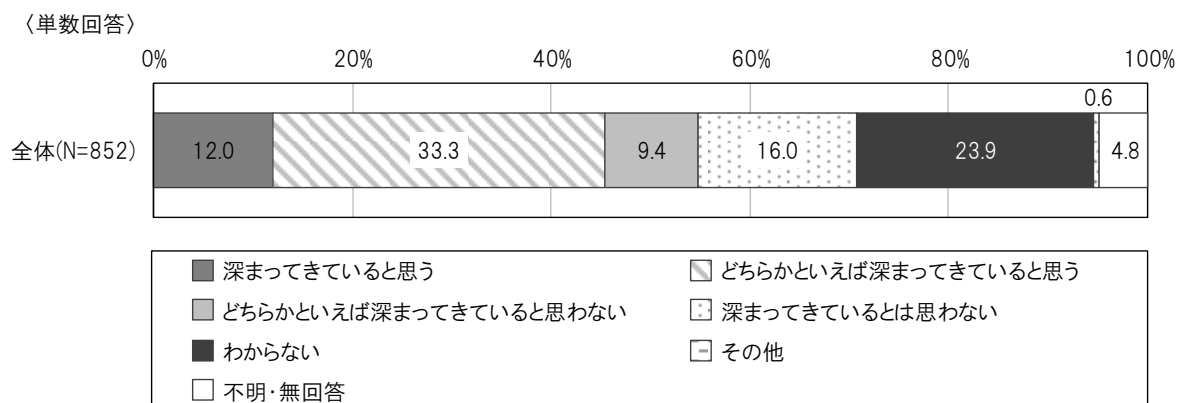
【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「わからない」の割合が最も高くなっています。



問39. あなたは周囲の人の「障がい」や「障がいのある人」に対する理解が深まってきていると思いますか。(1つだけ○)

周囲の人の「障がい」や「障がいのある人」に対する理解が深まってきていると思うかについてみると、「どちらかといえば深まってきていると思う」が 33.3%と最も高く、次いで「わからない」が 23.9%、「深まってきているとは思わない」が 16.0%となっています。

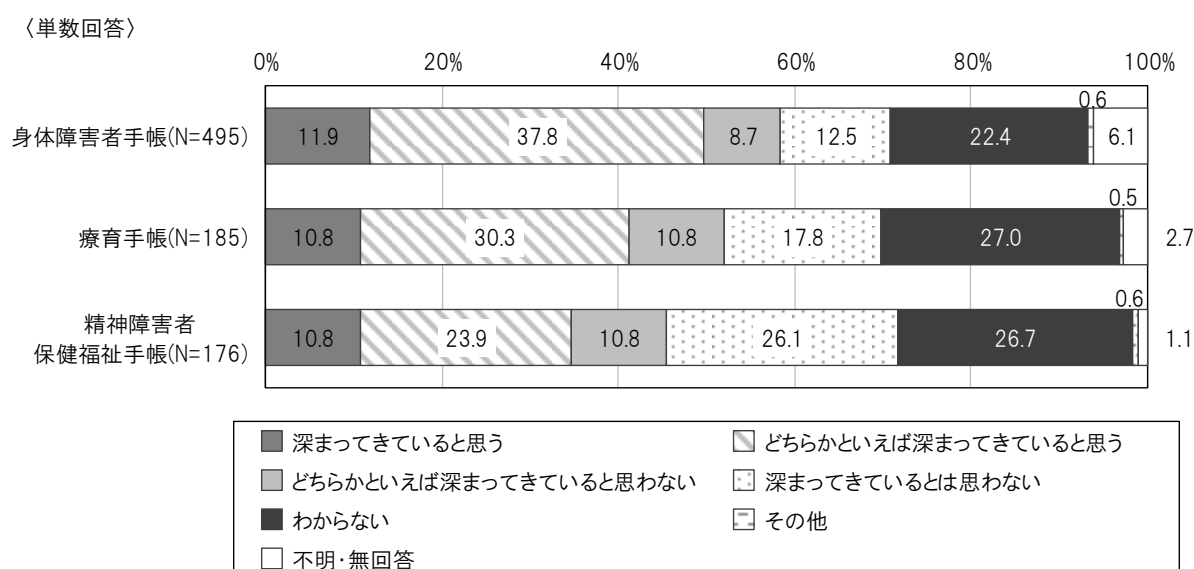


【その他回答】

- ・ 人による

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳、療育手帳では「どちらかといえば深まってきていると思う」が、精神障害者保健福祉手帳では「わからない」の割合が最も高くなっています。

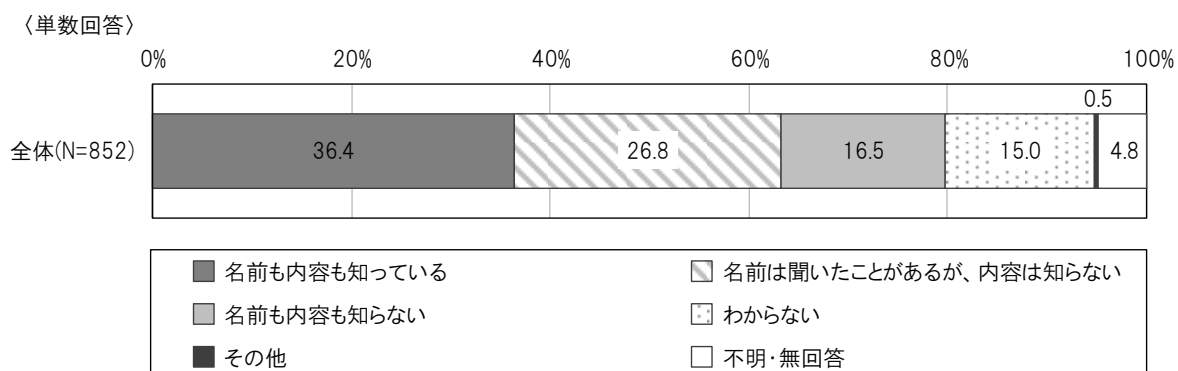


II 調査結果

9. 差別の解消や権利を守ることについて

問40. あなたは成年後見制度について知っていますか。(1つだけ〇)

成年後見制度の認知度についてみると、「名前も内容も知っている」が36.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が26.8%、「名前も内容も知らない」が16.5%となっています。

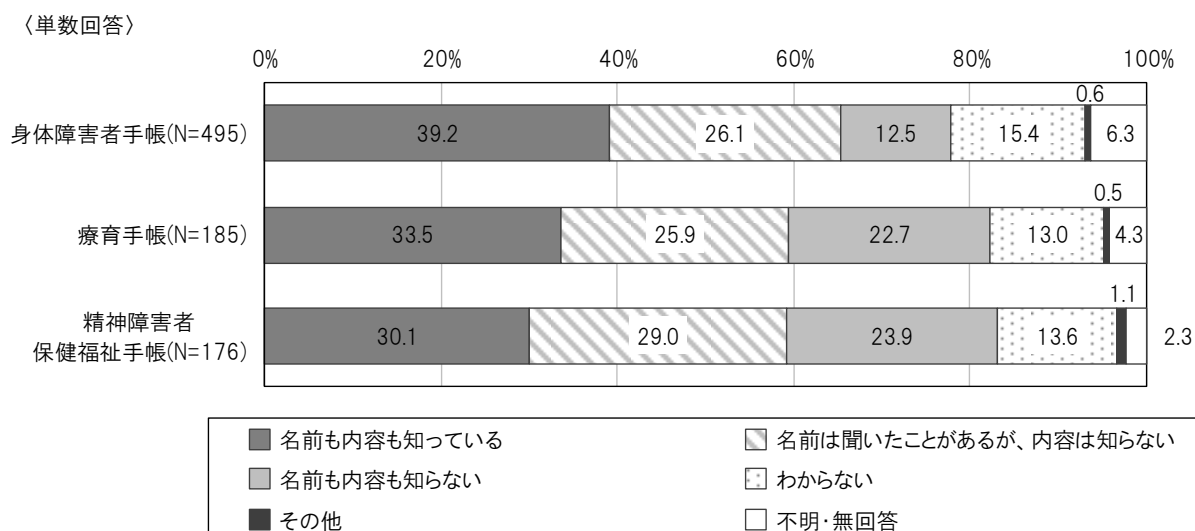


【その他回答】

- ・ 初めて聞きました。素敵な制度ですね！
- ・ 本人は知らないが母である私はわかる
- ・ おおまかに知っている

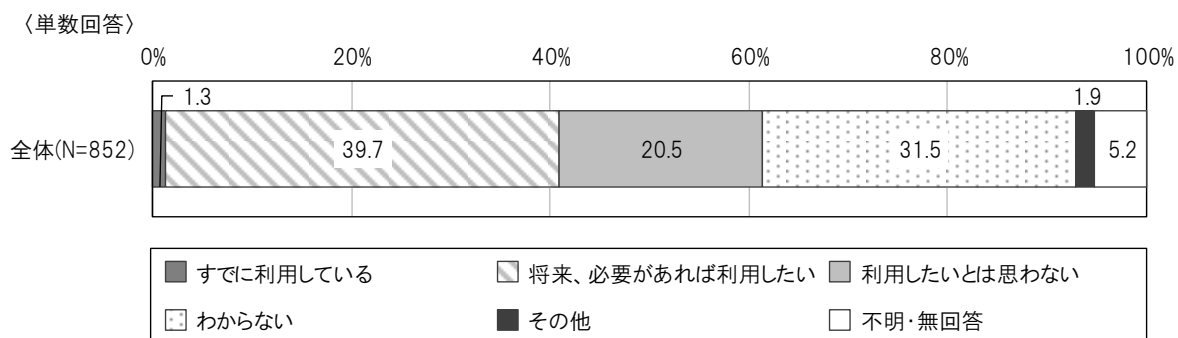
【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「名前も内容も知っている」の割合が最も高くなっています。



問41. あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つだけ○)

今後の成年後見制度の利用希望についてみると、「将来、必要があれば利用したい」が 39.7%と最も高く、次いで「わからない」が 31.5%、「利用したいとは思わない」が 20.5%となっています。

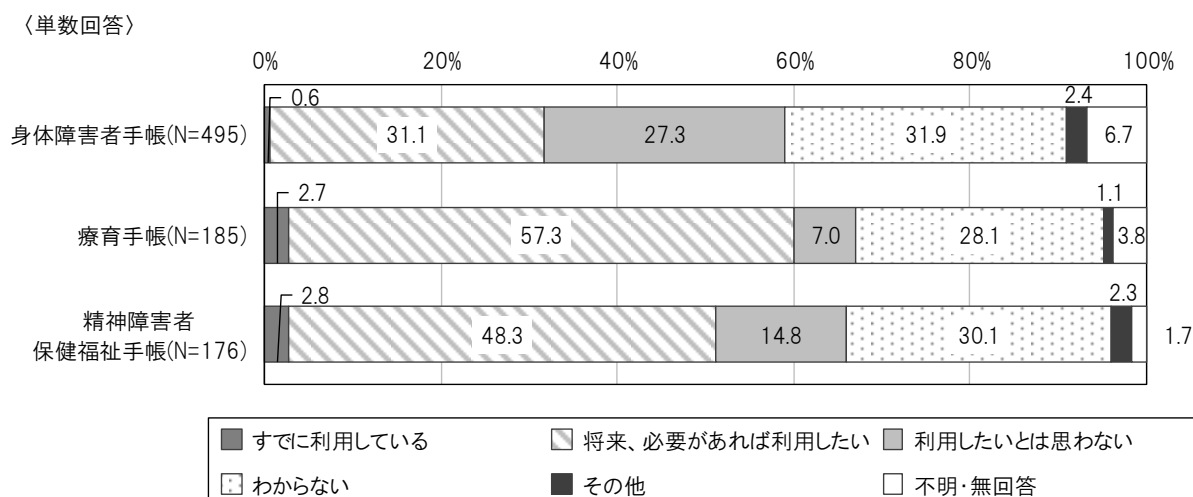


【その他回答】

- ・子どもに依頼する（４）
- ・利用したいですが、今までニュースでその代理人から騙されたりといったのがあったので心配です
- ・出来るだけ知らない事や話にはかかわらないようにしようとは思っている
- ・本人はわかっていないので、今後説明し、いずれ利用したいと思う
- ・どこまで人を信頼できるか
 - ・高年齢だから切実感がない
- ・手続きが煩雑で難しい
 - ・自分が後見人です
- ・必要がない
 - ・年なので

【所持手帳種類別グラフ】

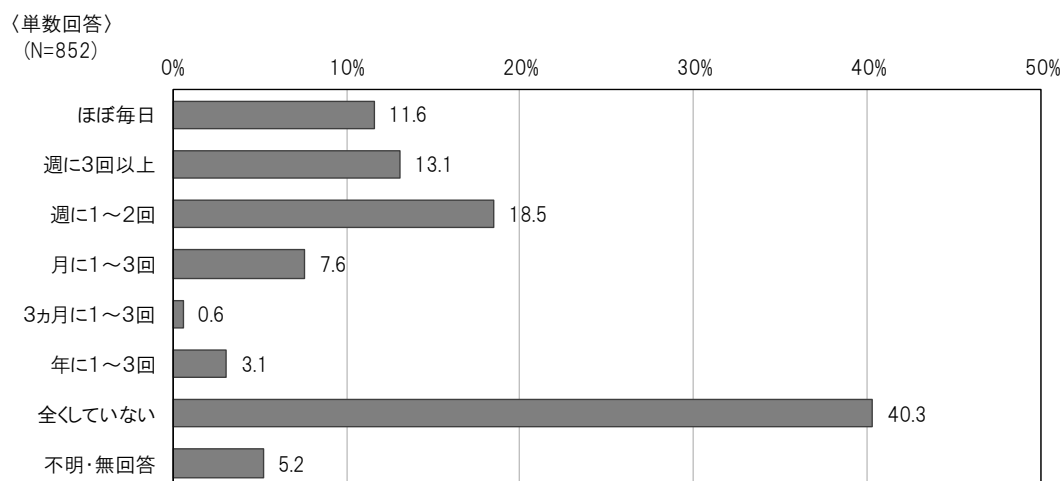
所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「わからない」が、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「将来、必要があれば利用したい」の割合が最も高くなっています。



10. 運動・スポーツについて

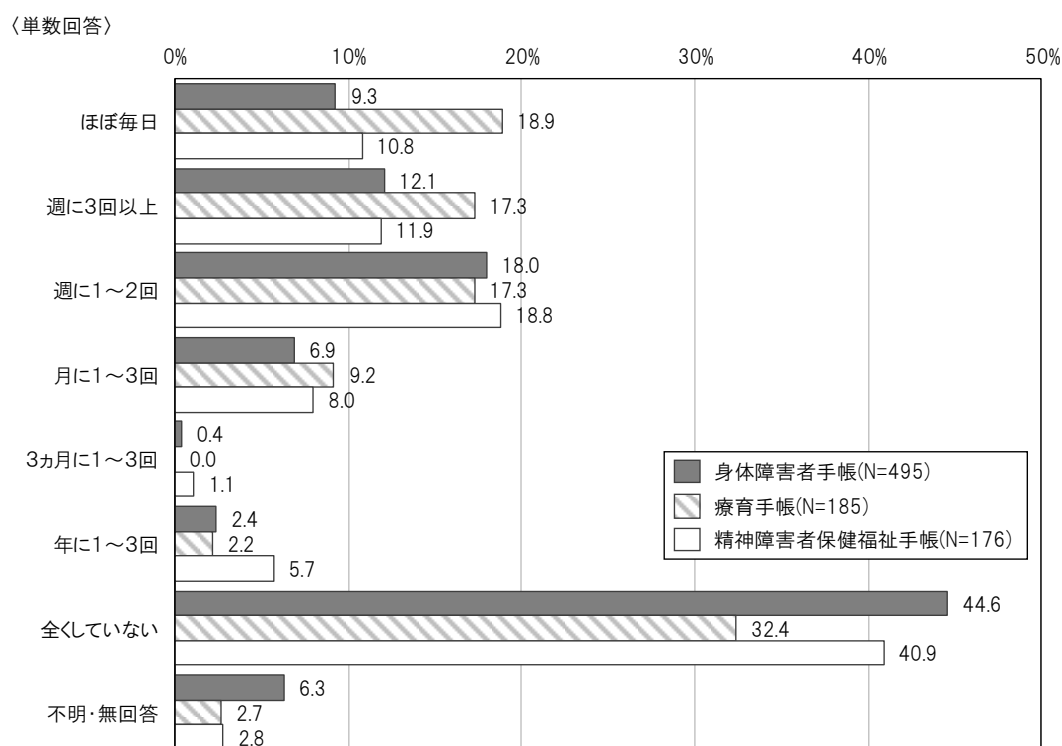
問42. あなたは日ごろ、どれぐらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。(1つだけ○)

日ごろの運動・スポーツの頻度についてみると、「全くしていない」が40.3%と最も高く、次いで「週に1～2回」が18.5%、「週に3回以上」が13.1%となっています。



【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、どの手帳も「全くしていない」の割合が最も高くなっています。

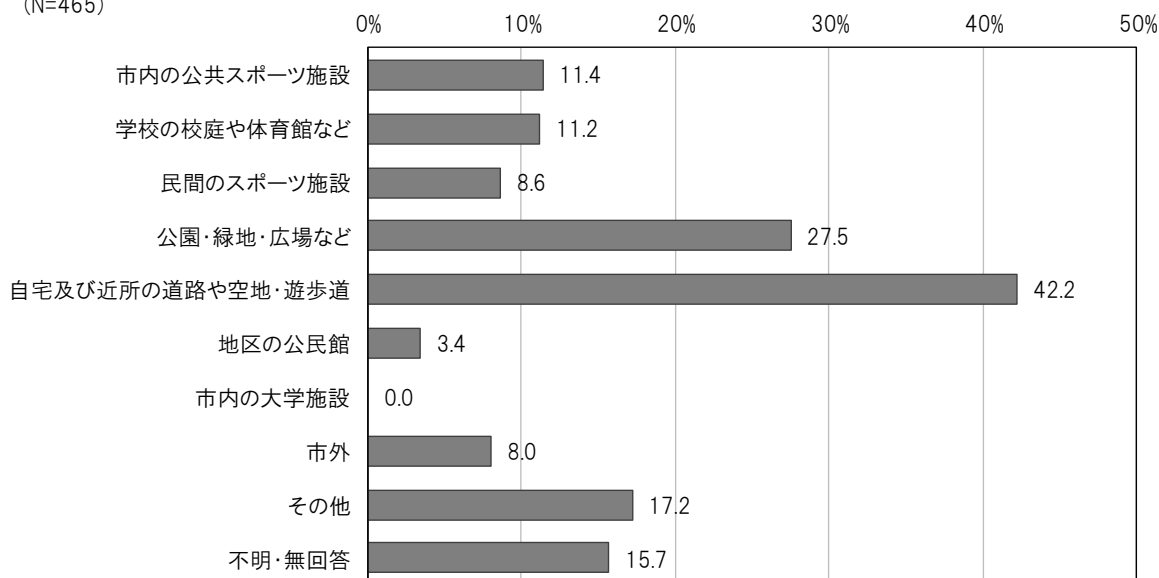


【問42で「1. ほぼ毎日」～「6. 年に1～3回」の方のみ】

問42-1. 主にどこで運動・スポーツをしていますか。(主なものを3つに○)

主に運動・スポーツをしている場所についてみると、「自宅及び近所の道路や空地・遊歩道」が42.2%と最も高く、次いで「公園・緑地・広場など」が27.5%、「市内の公共スポーツ施設」が11.4%となっています。

〈複数回答〉
(N=465)



【その他回答】

- ・ デイサービス (13)
- ・ 犬の散歩をしています (3)
- ・ 施設 (3)
- ・ 入所している所 (2)
- ・ 保育所 (2)
- ・ 登山 (2)
- ・ とびうめ作業所で仕事含めて足を立つようにしてくれてるから助かる
- ・ 体調が良い時は太宰府館でストレッチ教室に月4回通っている
- ・ 週1日PT、2w1dST、1～6d保育園に行ってます
- ・ 整骨院で週2回は筋力アップ猫背、骨の矯正に
- ・ 週に1度の整形外科のリハビリ
- ・ 公共施設を毎日徒歩で通勤
- ・ 病院のデイケアプログラム
- ・ 同じ病気の方々と月2回
- ・ 児童発達支援事業所
- ・ デイケア (9)
- ・ 病院 (3)
- ・ 放課後等デイサービス内で (3)
- ・ リハビリで (2)
- ・ 通勤 (2)
- ・ 徒歩通所、往復50分
- ・ リハビリセンター
- ・ 太宰府市の歩こう会
- ・ スーパー (雨の日)

Ⅱ 調査結果

10. 運動・スポーツについて

【その他回答】（続き）

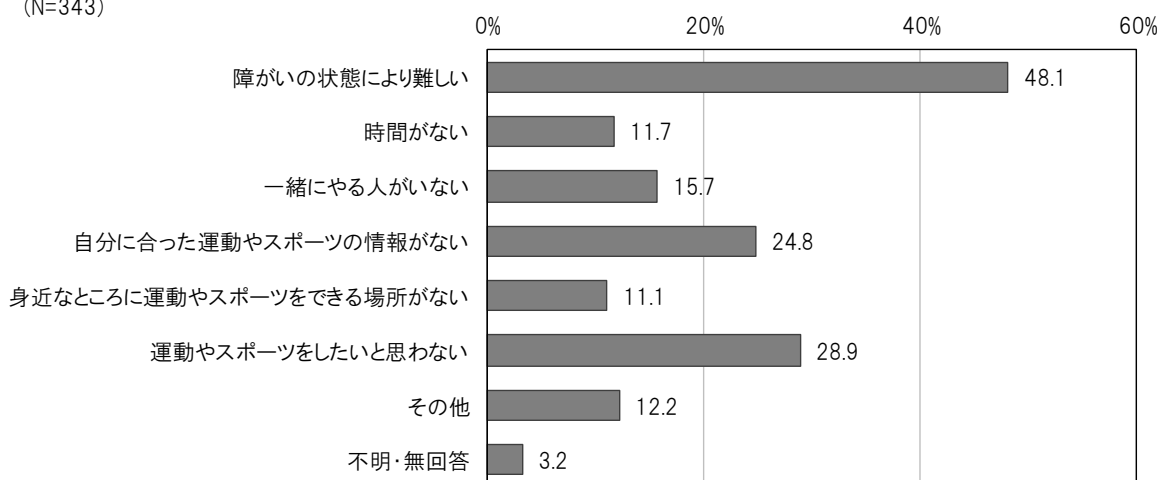
- ・ 通園している施設
- ・ スポーツジム
- ・ 自転車
- ・ ゴルフ場
- ・ 自転車での買い物
- ・ トレッキング
- ・ カーブス
- ・ 近くの山
- ・ 大型スーパー
- ・ ウォーキング
- ・ 通所施設
- ・ 療育園

【問42で「7. 全くしていない」の方のみ】

問43. 運動・スポーツをしなかった理由は何ですか。（主なものを3つに○）

運動・スポーツをしなかった理由についてみると、「障がいの状態により難しい」が 48.1%と最も高く、次いで「運動やスポーツをしたいと思わない」が 28.9%、「自分に合った運動やスポーツの情報がない」が 24.8%となっています。

〈複数回答〉
(N=343)



【その他回答】

- ・ 高齢の為無理（４）
- ・ 1人では行く事ができない（盲目の為）（２）
- ・ コミュニケーションが取れない為ルールがわからない、スポーツの楽しさがわからない
- ・ 移動に介護タクシーの必要があり、負担が大きくデイケアに行くのが精一杯です
- ・ 83歳です。何もしていないが毎日何か1つでも見つけて買い物に行っています
- ・ 86歳ひとり暮らし自分で暮らして行く事をモットーにしている
- ・ 一時期散歩していたが、今は脚が痛くなって散歩していない
- ・ 特性上、周りの視線を気にする、怖いなどがある為
- ・ するなら水泳がいいが、太っていて恥ずかしい
- ・ リハビリのみ、歩行、自転車機器練習してる
- ・ したいと思っているが実行する機会がない
- ・ 運動をしようとする意識に乏しい
- ・ 家の家事の雑用におわれている
- ・ 市民体育館が有料の為負担
- ・ 左ひざが悪い、散歩はする
- ・ 足首を手術しているから
- ・ 足のリハビリの為
- ・ 歩いているから
- ・ 入院中のため
- ・ できない
- ・ リハビリはしている（３）
- ・ 1日生活していて充分疲れる（２）
- ・ 必死に稼がないと生きていけない
- ・ 外出したくない、身体がだるい
- ・ 身体障がい手足が不自由
- ・ テレビ体操は時々している
- ・ 体を動かすのが苦手な為
- ・ TV体操くらいです
- ・ そこまで行けない
- ・ 少々歩くこと
- ・ 歩くだけ

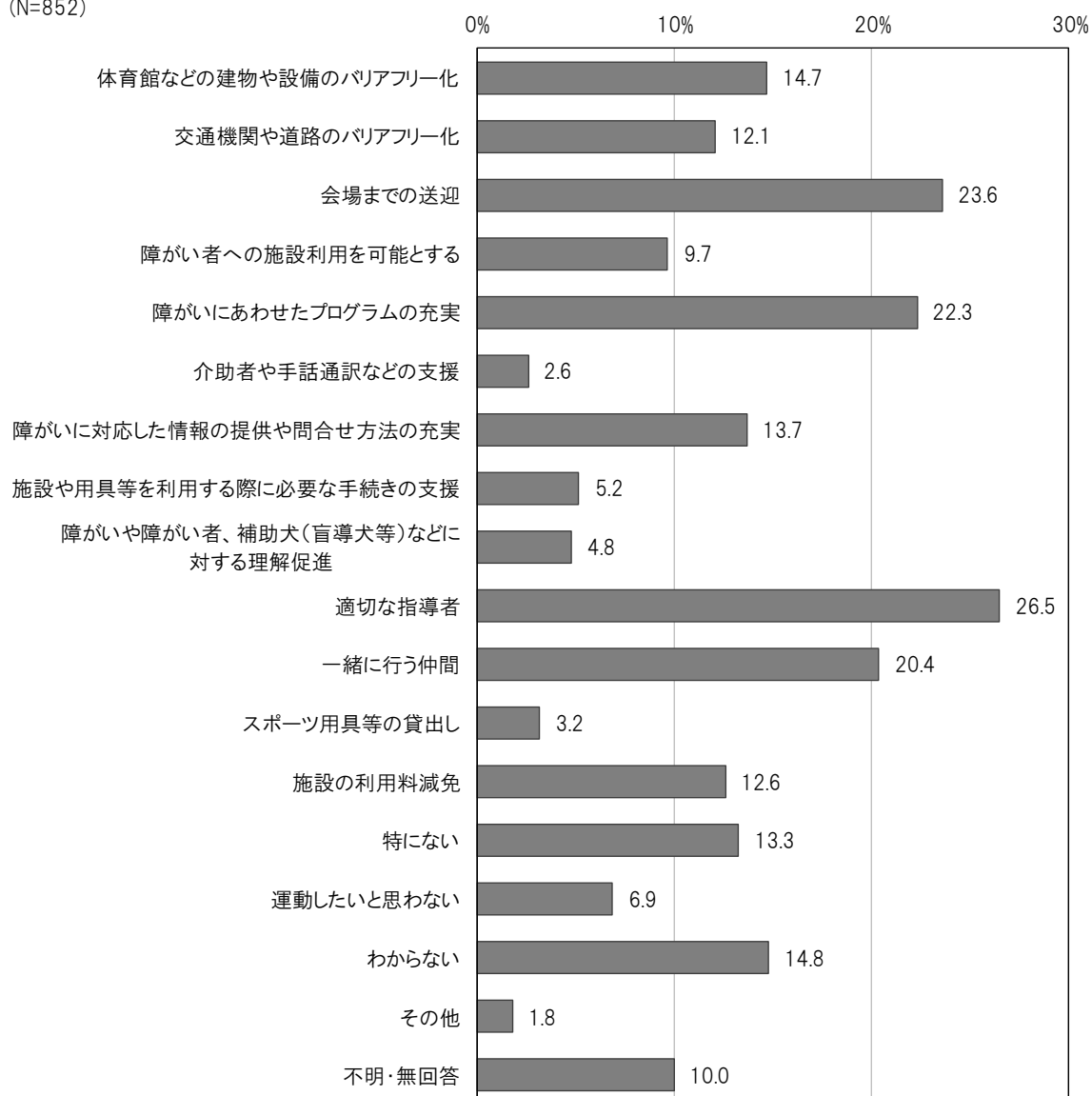
Ⅱ 調査結果

10. 運動・スポーツについて

問44. 障がいのある人が運動・スポーツを行う際に必要な支援は何ですか。 (主なものを3つに〇)

障がいのある人が運動・スポーツを行う際に必要な支援についてみると、「適切な指導者」が26.5%と最も高く、次いで「会場までの送迎」が23.6%、「障がいにあわせたプログラムの充実」が22.3%となっています。

(複数回答)
(N=852)



【その他回答】

- ・ 運動は出来ません（2）
- ・ いきいき情報センタートレーニングルームの駐車場を3時間にしてほしい
- ・ 安心してスポーツなどに興じる事のできる経済的、時間的余裕の創造
- ・ 視覚障がいでも一人でスポーツチケット買う折の困難がすごく感じます
- ・ AEDなどの設備の充実。また初歩的な救命処置ができる人員の配置
- ・ 障がい者が優先的に利用できる施設、日、時間を検討しては
- ・ 人の手を借りずに行動出来る為にあまり考えた事はない
- ・ 必要な支援は何ですか？自分で考えろ！
- ・ 日頃より太宰府市には感謝です
- ・ 施設の場所をあまり知らない
- ・ 障がい者に対する理解など
- ・ 病気の為に出来ない
- ・ したくない
- ・ 自分で適度にするようにしたいです
- ・ 呼吸能力が低下する為運動不可
- ・ ウォーキングを毎日している
- ・ トイレを増やしてほしい
- ・ 足の状態による

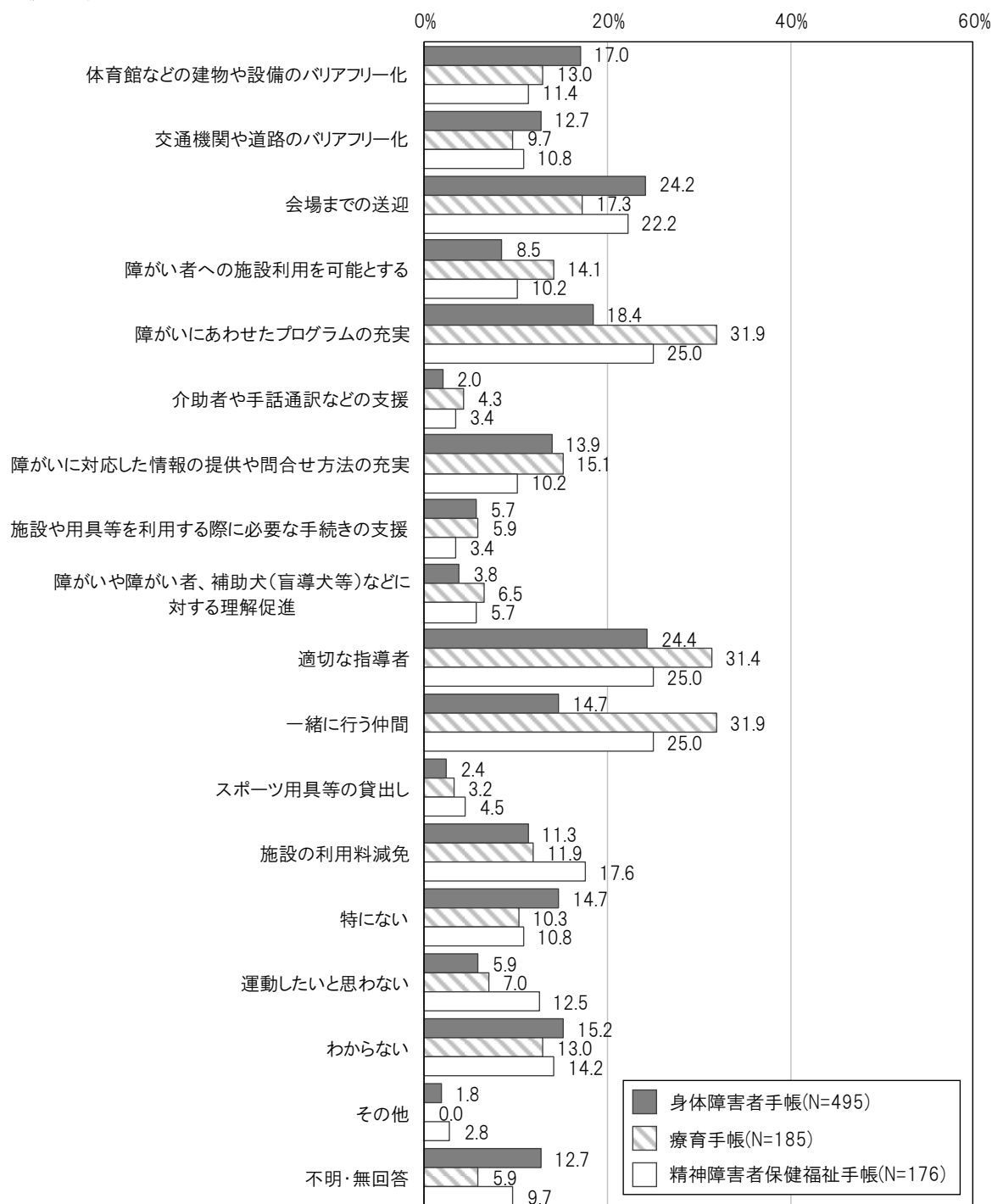
Ⅱ 調査結果

10. 運動・スポーツについて

【所持手帳種類別グラフ】

所持手帳種類別にみると、身体障害者手帳では「適切な指導者」が、療育手帳では「障がいにあわせたプログラムの充実」「一緒に行く仲間」、精神障害者保健福祉手帳では「障がいにあわせたプログラムの充実」「適切な指導者」「一緒に行く仲間」の割合が最も高くなっています。

〈複数回答〉



11. 自由回答

あなたが太宰府市で暮らしやすくなるために、障がいのある人やその家族に対する施策や取り組みなどについてのご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・ あっとう的感謝。
- ・ お世話になっていますので、特にありません。
- ・ 現状に感謝しています。
- ・ 市は障がい者に対して、十分な配慮をしていると思う。
- ・ 十分な施策、窓口等有りと思っています。
- ・ 市、市民の皆様にお世話になっています。周囲の人や関係者に感謝あるのみです。今後もよろしくお願い致します。
- ・ 色々な面で助かっています。感謝しています。
- ・ 市役所の人が大分良くなってきている。親切に相談に乗ってくれる。
- ・ 何時も丁寧な指導説明いただいています。
- ・ 市の方の心ある優しい配慮が嬉しいです。心が和みます。
- ・ 太宰府市、市役所、相談所、病院、連携が取れていて安心して生活が出来ています。ありがとうございます。
- ・ 十分に心配りがされていると思います。住み良い市です。
- ・ 今年7月に94歳とよく生きたと思います。皆様の支援（ケア）により、まだまだ長生きしたいと思います。人は字の通り、支えあって生活していると考えます。ケアしてくれる家族へ感謝します。
- ・ いつでも散歩が出来るように木陰を作ってほしい。木を伐る事を広報誌に書いてありますが、歩く人、車に邪魔にならないくらいに緑を残してほしいです。何年か前に映画鑑賞が月1回ぐらいあると嬉しいです。市役所に勤務する人達が障がいのことを勉強された方が部署にいらっしゃるといいなと思います。
- ・ 2014年4月に太東中に特支学級（すみれ）として入学しましたが、担任が足し算など本人が理解できているにもかかわらず、公文の小1ドリルを沢山購入し、そればかり授業としてやらせ、かなり学力が低下しました。子どものことを何も考えない先生に怒りを覚えました。特支学級の子ども達は特別な配慮が必要で入学します。適任、心がある先生の配置をお願いしたいです。
- ・ 小学校の支援級についてですが、異常な程クラスの人数が増えています。子どもの利用している情緒クラスは1年生の頃は学校全体で4名程だったのですが、5年生には全体で15名程までになっています。知的クラスと同じ様な状況です。市はどのような基準で支援級に入る判断をしているのでしょうか。手帳を持っていて、本当に障がいがある子どもが支援を受けられない状況になっています。（支援員さんが何人いても足りない。担任の先生が対応できない等）

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・息子が小学校入学前、那珂川に住むか太宰府に住むか迷い、那珂川の全ての小学校の支援学級を見学、先生方を見たり、教室の配置、授業内容も見て太宰府西が1番いいと感じ西小校区に住んでいます。年々支援級の人数が増えていますが、先生方や支援員が全員、理解や詳しくわかってくださっているとは感じません。教育に携わる大人が、まずもっと理解を深めて頂きたいと思います。習い事でも支援級のように支援クラスなどあったらいいなと思います。あればあきらめず挑戦しやすいです！
- ・女の子の為、大きくなるにつれ人との距離感が不安。
- ・必要だとは思いますが、(手助け等)信頼が難しい。(親がいない時等)
- ・徹底的に取り組む必要があると思う。(女の子は特に、男の子も不安だけど)
- ・ここまでしなくてもと思わず、やれる事をしていってほしい。(仕事している家庭は特に思う)
- ・トイレなど困る為、足が弱いと、できたりもするのでその判断がかわいそうです。(歩けるから無理して後々悪くなり大変になる)
- ・福祉課の職員がもっと悩みを親身になって聞いてほしい。市役所の職員をもっと障がいのある人を採用してほしい。
- ・福祉の窓口、相談事業所等、個別の良、悪の差が大きすぎる。(あたりはずれが大きい)
- ・市役所の人の対応が冷たかった。その場でリストカットしようと思ったくらい。あれ以来市役所が怖い。なんとかしてほしい。
- ・視覚障がい者ですが、片方の視力は少しあります。私は、視覚障がいの児童への読み聞かせなどのボランティアを自分の出来る範囲でしてみたいです。私以上に視覚障がいで本が読めない子どもの為に何かのお世話が出来たら、これから先の希望になると思います。
- ・片足軽度の小児麻痺ですが、会社(OB)登山部と活動。日本アルプスなど、各山に登りました。どちらかというとなんか障がい者支援をしたい方です。どうしたら支援できるか、どの様な支援があるかを知りたい。
- ・当アンケートの読みやすいカナがある事はありがたい。
- ・障がいは様々な違いがあるので一言では言えない。身体的、精神的また重複しているなど分けてのアンケート方法(形式)にしてほしい。
- ・こちらに来て5年になろうとしているが、観光の人が沢山来るのに太宰府駅には駐車場もなく自転車があつて歩きにくい！体育館とか建てる前に道をなんとかしてくれ！そもそもこんな長いアンケートは大変疲れる。本当にまちを良くしたい、私達の為にとっているならこんなアンケート等はしなくていいと思う。理解していない冷めた人がこのアンケートを考えたのでしょ。道も狭いしマナー悪いし、最低の太宰府市ですね。福岡大嫌い！※本人かなり怒り狂っております。怒り出すと危険なのでこの様なアンケートは今後やめてほしいです(夫)
- ・今後、本人は病院、施設入居中で(98歳)応えが難しいので、別の方の返答をされて下さい。この様なアンケートは今後必要だと思います。お世話になります。又よろしくお願い致します。
- ・返信用封筒をもう少し大きくしてほしい。曲げにくい、入りにくい。

- ・知的障がいのある娘が記入してありますが、質問の意味や文章が解らず苦労していました。「わからない」と丸をつけるしかないようです。仮名をふれば良しとする配慮のなさ、アンケートを出し、それで調査をしたとする形式的な仕事のやり方にいつもながら太宰府というまちの（行政の）冷たさを感じます。（母記入）
- ・アンケートの内容を取り入れた施策をお願いします。
- ・厚労省をトップとする行政は障がい者に必ずしも優しくない。アンケートの趣旨は理解出来るが、行政がダメダメの今の状態では意味がないし、今後も期待は全く出来ない。
- ・自分は軽い障がいしかなくて、どちらかというと同じように生活したいから、障がい者という枠に入れられたくないと思っています。でも逆に手助けがより必要だと思っている方もいると思います。太宰府に住み始めて十数年ですが、このような取り組みは初めてです。もっとこのようなアンケートを増やして、より多くの障がい者の意見を聞いていくべきだとアンケートを通して思いました。
- ・そもそもこれほど考えないといけない施策そのものの考えが間違っている。簡潔にしないといけない。3つとか選ばず、必要なら行う努力を考えるべき。障がいと介護等は別で考え行動すべきで、すべてをまとめてアンケートしても意味はない。個々に見るものが違う。やっていますアピールになる行動。市民の為という押し付けがある。第5次まで何をしたいのか、何が出来て何が出来ないのか、何もしないうもりなのか理解出来ない。行動を起こしアンケートを取るなら必ず成し遂げなければ妄想と一緒に考えてほしい。
- ・まずこのアンケートの量の多さに最後まで答えられる人がいるのか心配である。
- ・このアンケートの集計、分析はどこで見られるのか。教えてほしい。連絡してほしい。
- ・本人が高齢の為、あまりアンケートに当てはまるような質問がなかったので、アンケート調査は年齢とかを考えて今後はされた方が良いのではと思いました。
- ・こういったアンケートだけで障がい者やその家族の意見を聞くのではなく、現状の確認や相談員との関係などを知る為に、定期的な訪問をしたらいいと思う。自分達の目を見て、障がい者の人達と、自分達から関わろうとしない問題点は見えてこない。
- ・障がい者の為の学校、施設を作ろうという意図があるのですか。施策の内容がわからないので答えにくかったです。
- ・建前だけでなく本気で取り組んでほしい。ありがとうございました。
- ・当事者も介助者も高齢化します。少しでも早く多くの者が自立していけるよう、ITやロボットの活用をしやすいしてほしい。社会の輪の中で見守るだけでなく、社会の輪の一部として働き、活用していけば当事者の生きる活力や使命感に繋がりますし、結果的には公金支出やマンパワーの削減、上手くいくなら増収も見込めます。前例の少ない案件の枠組み作りは大変かと思いますが、よろしくお願いします。
- ・障がい者向けのスポーツ講座があると良いと思います。
- ・スポーツを通じての取り組みを（ボッチャ、バウンドテニス、ボーリング）など大々的にした方が良いと思います。それから福岡市など近隣市役所（関連のある）からの別途パンフレットなども、宅配の様に配ってみてください。組織的にです。

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・せっかく大きな体育館があるのに一度も利用した事がない。プールやバスケット、陸上等、障がいをもつ大人も子どもも体を動かさないとストレスがたまるし、体にとってもとても良いので、そのようなプログラムがあればよいなあとと思います。ヨガとか。
- ・健康教室など、参加したくてもそこまで行けない方が多いです。地域の公民館で開催することで、移動手段のない方は参加出来るし、地域のコミュニティー力も向上するのではないのでしょうか。
- ・健康推進施策をもっと広める様にPRして下さい！
- ・障がい者も運動が必要だと思う。けれども適切な指導をしてくれる人が身近にいないと安心して運動は出来ない。それと手続きなどを簡素化して気軽に運動が出来る様にしてほしい。
- ・難病による脊髄腫瘍、脊髄空洞化情報の入手先がない。難病の治療情報が入手出来ない。
- ・太宰府市を含め、日本の福祉はかなり充実していると思いますが、施策が障がい者全員に届いているのか気になります。
- ・今は自分の事は自分で出来ますが、主人も同じ年なので数年後は市役所か福祉の方に相談したいと思います。ありがとうございます。このアンケートを読んでいるうちに知らない事もあり、先の事を考えた時に安心致しました。
- ・自閉症の重度の子ども（高校生）でも、てんかんの治療が必要であればきちんと検査、治療を受けさせたいと思います。
- ・太宰府市のバスまほろば号は赤字と聞きます。最初は200円だったと思います。100円でなくとも200円でもみんな利用すると思います。すごく助かっています!!
- ・まほろば号の数を増やして交通の便を良くして、誰もが気軽に行き来できるようにしてまちを活気づければ良いと思います。
- ・バス等の便を減らさないでほしい！
- ・バス、電車等、交通機関の無料化。
- ・バスの充実化。
- ・ジムの無料化。
- ・交通機関の割引がない。まほろば号。
- ・脚が悪くて通院、買い物に不自由している。毎回タクシー利用していますが、他の外出もほとんどしていない。交通費について何か取り組んでもらえたらありがたいです。
- ・今は自分で車で通院しているが、もう少し年を取り自分で運転出来なくなった後、市などの送迎があれば助かると思う。
- ・買い物に月1回送迎出来ると良い。
- ・何をやるにも足がない。交通がない。
- ・70歳以上の高齢者、障がい者に支援が全くない！福岡市を例にとって申し訳ないが年間¥12000のバスカード（地下鉄、電車）配布があります。同じ福岡県民として不公平ではないでしょうか。太宰府では電車駅を利用しています。
- ・タクシー券を交付して頂いてますが、額面が580円などで支払いする時に計算がし辛いので500円や600円など支払いやすい金額にして下さい。もしくは100円券を何枚か作って頂けたら助かります。使い勝手がいいです。

- ・障がいがあるから運転が出来ずにコミュニティバスを使います。西鉄電車や西鉄バスは料金割引を等級関係なくやってくれているのに、まほろば号は等級の制限がある。等級の制限をなくしてほしいです。市役所の人への対応が優しくない。相談しても「無理です」だらけで結局解決の糸口すら見つからない。太宰府市は障がい者に対して厳しすぎ。
- ・子どもが自由に運動や遊べる場所を増やしてほしい。いきいき情報センターで子どもに教える場を作ってほしい。
- ・折角担当職員の方に助けてもらっている時に、マニュアル通りを黙ってやられるとかえって辛い。やはり心の優しさが我々には一番こたえる。私等はその後姿に手を合わせる事も多いのです。
- ・私はホームヘルパーさんに出来ない事を助けて頂いています。ホームヘルパーさんの待遇を少しでも良くして下さり、ヘルパー志望の若い方々が仕事として参加されることを切望しています。人生100年時代の高齢者を支えきれなくならない内によろしく願います。
- ・精神障害者手帳の充実。サポートする家族のサービス。
- ・挨拶、偏見などがなくなればいいなと思います。心からそう願います。
- ・冷たい視線が減る事。特に小学生と中学生のべっ視が緩和されること。公園でウォーキングをしていると逃げて行きますよ。バスや電車に乗ると逃げて行きますよ。
- ・家族に障がい者がいると、その家族に多大な負担がかかってしまう。障がいのある、なしに関わらず1人の人間として、皆が平等に暮らせる世の中になってほしい。小さいころからの教育で障がい者に対する理解、偏見をなくす必要がある。その為には、教育を分けるのではなく、障がい者、健常者が同じ環境で教育を受ける等、小さい時からの教育が必要だと思う。
- ・太宰府市暮らしにくい。他に引っ越ししたいと思う。まちの事に力を入れてほしい。歴史の事ばかりでとても嫌だ。
- ・障がい1級ですが、「一人親家庭」のことを知らずにいた。市役所から連絡があり、やっとわかった。出来れば早く知らせてほしい。
- ・太宰府の施設、コミュニティは高齢者ばかりの配慮をしていて、乳幼児や障がい者に対する利用は市民同様の金額。太宰府南コミュニティの和室は何故、高齢者のみの利用になっているんですか？ルミナスやプラムカルコア、いきいきなども元気な人の為にあるようなもので、施設料金も他市（殆どが半額もしくは無料ですよ！春日、大野城など）に比べるとバカみたいに高い。体育センター等も元気な方々がわざわざ車で来るもんだから、子ども（障がい児）たちの送迎で車が停められなくて、かえってしんどい思いをしている。太宰府の福祉と教育は、元気な高齢者向けに作られており、子ども達のことは考えていないと思う。乳幼児の憩いの場や学べるスペース、公民館の開放、やってほしいことなら山ほどありますよ。
- ・太宰府市はガイド（外出支援）の支給を出してくれない。使いたい人の為にも、もっと支援を広げてほしい。放デイとは違うヘルパーの利用を可能にしてほしい。
- ・市役所の駐車場には2ヶ所のみ障がい者用の駐車場ですが、だいたい2ヶ所と決まっているのでしょうか。お尋ねします。

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・ 県や他の市町村と連携して、施策が充実しているところがあれば積極的に取り入れて、障がいのある人が住みやすいまちづくりを目指してほしい。
- ・ 障がいを持つ人にも政策（のようなもの？）を作る為のアドバイスが出来る機会を与えてほしい。
- ・ 障がいは実際になって初めて認識出来るもの。視野が広がったのは自分が障がい者となってから。教室の授業だけではわからないと思います。やはり実体験が必要だと思います。歩行器で一般道を歩くのは大変です。デコボコがあるし、傾斜があるから自然と傾きます。実際に歩かないとわからないことです。
- ・ 障がい者の状況を作り、市中にて経験してみる。例えば目が見えない状況を作って市内を歩いてみる。車椅子に乗って市内に出てみる。
- ・ まだまだ障がいについて知っている事も知らない事もあるので、少しずつ知っていきたいです。ありがとうございました。
- ・ 私に関しては、収入が無くなった時にストーマ装具の費用補助をスムーズにして頂きたい。
- ・ 今頃とても心配している事があります。私の母も3年前に亡くなりましたが、母は収入が有りましたから、私と子ども皆で見守れました。最後まで母は幸福だったと思います。それは母には収入があった為。自分でお金を出せたから、どこに連れて行くにも出来ました。今の私にはお金が有りません。子ども達も自分達の生活が有ります。それを考えたら、母にしてやった様には出来ない事はわかっています。自宅で最期をと思うのは出来ない事でしょうか。今頃はそんな事ばかり考えています。
- ・ 放課後デイは筑紫野市まで行っています。看護師が常駐しているデイが太宰府に少なく（契約当時）受け入れられそうになかった事と私もナースがいてくれた方が安心だからです。医療的ケア児が18歳になって、太宰府で過ごせる場所（施設）があるのか不安です。知的障がい+歩ける医療的ケアなので、重症心身にはならず、宙ぶらりんの様な状態です。
- ・ 今はわかりませんが7年程前、太宰府市民プールを利用していましたが、アルバイトの大学生だったのかもしれませんが、とても嫌な顔をする人がいたので行けなくなりました。バイトにもちゃんとしてほしい！
- ・ いつ自分が病気や障がいや怪我でどうなるかわかりません。その為にも小さい頃から教育していくべきだと思います。太宰府は講演会や集まりも少ないです。広報誌でも積極的に書いてほしいです。
- ・ 生活保護課を1階ではなく、違う場所（去年度、今年度）とも違う場所。受け取りに来た時、他の方から名前書いて印鑑を押す時間や待っている間、あの申請に行った時の時間がたまらない。
- ・ 特に生活についての相談の充実。
- ・ 市の公園施設に用具庫を設置する事に条例違反だと主張する市議がいるのは残念でならない。市民の為の公園である事を認識させてほしい。公園を便利に使用したい。
- ・ 市によって障がいに対する対応が各々で、もっとみんなが公平に受けられる制度であってほしい。

- ・将来、市営住宅があれば優先的に入居させてもらいたい。今現在、太宰府市（市役所、公共交通機関（まほろば号）など）の障がい者施策については不満はありません。しかしながら、マイノリティの問題は常に自分達の存在をアピールしないと軽視されがちです。できれば議会でも話題に上がってほしいものです。
- ・日常生活用具の給付があるので助かっています。これからも増額よろしくお願いします。
- ・コロナで学校、保育園の休校で仕事が出来ない親には給付金等の支援があったり”子供手当”と子どもに対する支援ばかりで、家で親の介護の為、仕事をしたくても出来なかつたり、条件の厳しい環境にある家庭には何の支援もなく、今もコロナに不安を持ちながらも日中独り家においておけない為、デイサービスやデイケア等に通わせざるをえない家庭もある事を考えてますか？太宰府市！もっと福祉に力を入れて！支援の充実を！
- ・私は精神障がいを抱えています。市役所で介護ヘルパーの相談した際の対応が信じられない程最悪でした。身体障がいは見たらわかるでしょうが、目で見えない障がいの私たちはとても生きづらいです。福祉課の方は威圧的で行くのが怖いです。
- ・市の障がい福祉課より、ストーマの給付券を発行していただきありがとうございます。年金生活者なので大変助かってます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・交通機関の割引をもう少し充実して頂きたいです。
- ・福祉タクシー券は、外出する際に便利なので大いにありがたい政策である。
- ・障害年金の手続きをしたが、年金を掛けた日数が足りなくて頂くことが出来なくて将来が不安です。
- ・身近な自治会、民生委員の方々を知りません。大雨の時、避難のアナウンスする市の公車が回っていましたが、どうしようもないので、何年も前から無視するしかありません。何人の高齢（ひとり暮らし、老々介護世帯）や障がい者を把握されているのでしょうか。
- ・障がい者用のカードをもっとしっかりしたものにしてほしい。
- ・太宰府市は福祉面で充実していて過ごしやすい方だと思います。ただ周りの理解を得るにはいかず、やはり使いたい外に出たいけど出づらい。と感じる事が多々あり、結局地域からは隔離された状態です。色々便利な施策よりも1番今ほしいのは一般の方からの理解です。
- ・市営バスに障がい者用ニモカが使えない。2回タッチが要るということでわかりやすくしてほしい。
- ・公共交通機関の整備、市長の公約だったモノレールの施行。まほろば号の増量、増加、市役所の駐車場の増大化。最後にロビーの明るさをもう少し明るく！乱筆乱文謝。
- ・自分と違うからってすぐに色めがねで見たり、怪しいと思い通報したり、色々です。もし自分の家族が同じ目にあっていたらどう感じますか？
- ・福祉課ではないが、市役所の職員で対応が酷い人がある。名前も控えてあります。次酷い対応をされたら名前を出します。
- ・市役所の職員が障がいの手続きについて知識がなく、時間がかかったり、こちら側が説明するような事があり、不信感を抱いた。高圧的な言い方をされ気分が悪かった。保護者より。

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・幼稚園の入園を考えた時、将来の入学へ向けて障がいのない子との関わりも必要と感じたが、今必要な療育を受けながら通える園がなく、障がい児の受け入れがある園が探すと少なすぎて加配も付かないので、結局療育園のみ通う事を選ばざるをえない状況でした。差別とまでは思いたくありませんが、もっと受け入れる枠があっても良いのではと思っています。
- ・特に小中学生の障がい者に対するものは非常に怖い。車椅子を蹴る。舌打ちをする。はっきり「××しろよ」と言う。道をあけてくれない。(頼んでも)ここはどんだけ荒んでるの。
- ・精神を病んでしまった人への接し方は家族でも難しく、巻き込まれてしまわない様にと距離をおきたいと思いましたが、周囲の理解が得られず子ども達まで、辛い経験をさせてしまいました。現在は入院中ですので程良い距離は保てており本当に感謝しております。「自分もいつ障がいをもつかもしれない」と常に意識することが共存を可能に導きますと信じています。
- ・道路等バリアフリーを作ってください。
- ・道路のバリアフリー化が太宰府市は遅れている。
- ・点字ブロックの色がなぜ茶色なのか。見えにくい。ブロックが壊れている所が多いので何とかならないか。
- ・車椅子移動時、歩道での自転車が怖い。街路樹の根がもり上がって段差になっている。バス停での乗り降りのスペースの工夫がほしい。
- ・公園の舗道が悪くなっているのでアスファルトで小石ではなく、セメントで舗道してほしい。砂利石はとっても障がいの人には歩きにくいです。砂利石舗道はやめてほしい。
- ・案内板などの漢字の上にある平仮名を見やすいように、もう少し大きくしたり、平仮名が消えている看板を作り直してほしいです。
- ・外出する時、休める所がない。道を通る時に休める椅子があったらいいと思います。
- ・自転車レーンが無いような状態なので危ない。
- ・買物に行く時は歩道を歩いて行きます。行くたびに自転車とぶつかりそうになります。自転車は車道なのになぜ歩道を走るのか。とても危ないです。
- ・学生が横2列になってしゃべりながら走ってくる時は私の方がよけています。歩道に自転車通行禁止とわかるようにしてほしいです。
- ・車椅子でのバリアフリーの施設が少ないので、これらを推進してもらいたいです。
- ・車椅子の生活はどうしようもないですネ。(18年にもなります)ただりハビりに週5回行って、3回風呂に入って来るので助かりますね。家族もどうしようもありませんネ？
- ・介護タクシーが近くに無くなりつつあるので外出に困っている。
- ・横断歩道の信号がもう少し長いといい。渡りきれない場合がある。車を運転しないのももう少し色々な所にバスが通るといいなと思う。JRに行きたいのに遠すぎて歩けない。(バスもない)
- ・病院へ行くのにバスが出ていないので(大佐野あたりから)タクシーで行かないといけなないので不便。
- ・自分の住む地域の方々に、障がいのことを理解して頂くことが重要だと思います。(生活していく場なので)近所の方々に知って頂ける機会があれば、困った時などに助けて頂けるのではないかと感じます。市全体でもですが、もっと小さなコミュニティでの取り組みも重要ではないでしょうか。その為に市が区等への働きかけをして頂けたらと思います。

- ・現在1人住まいの生活をしていますが公的機関や病院外来（投薬）を月1回受診。（年8回位、血液検査または前回は心電図の検査）をしているが、要支援となった時に、色々とお世話になる事と思う。今は趣味の短歌やハーモニカ演奏（発表会、大会出場など）で充実した日々を過ごしています。
- ・グループホームを増やしていただきたいです。この際、年齢層別にして頂けるのが夢です。（本当は親と一緒に入居出来る、安い老人ホームが1番ですが）
- ・太宰府市内に通所施設、入所施設、グループホームを充実してほしい。
- ・現在は親と同居しているが、親が高齢や死亡した時に入所する施設やグループホーム、またショートステイ等がほとんどなく不安に思っている。
- ・太宰府市内に大きな総合病院が一つもない。旧太宰府病院？が民営になった時がチャンスだったのに何らの動きも無かった。郵便局の本局が筑紫野に移り、距離的に遠くなった。郵便局の合理化は出来たと思うが、市民は非常に不便になった。市は反対の態度を取ったのか？
- ・特に思い付きませんが、医学が進歩したとはいえ、まだまだ遅れています。ゲノムの解読、i P S、いずれは地上に障がい者が存在しなくなるかもしれません。事故、スポーツその他で障がいになった方も再生医療により元の体に戻る、そういう時代が来る事を願っています。
- ・今は毎日働いていますので、よくわからないのですが、市の色々な働き、仕組みなどをもっとよく調べておかなければと思いました。
- ・自分自身何をするにも時間がかかる。一生懸命頑張っている。このことをわかってほしい。
- ・市役所の窓口、簡単なついたてや目隠しのある窓口があれば少し気持ちが楽になると思ったことがあります。あくまでさりげなく。体調が悪い時もありますので。守秘義務の徹底、指導をしてほしいと感じています。
- ・家族がストレスなく暮らすにはとかなあったら、妹だからしなくてはとかなってしまっています。
- ・障がい者に適応した住居の提案や情報提示。及び優遇制度の確立。公共交通機関へのアクセスの充実をはかる。
- ・市役所の方と福祉センターの方が協力して障がいのある人の支援をして下さるといいと思います。市役所のどこの担当がどのようなサービスをしてくれるかわからないので（年金の相談は年金課？に行く、福祉課は福祉の相談、健康面は保健センターぐらいしかわかりません）なので障がい者の方向けに市役所ではこんなサービスをしますというパンフレットなどのお知らせをして下さると助かりますので、市長さんや担当の方にぜひ意見を言ってほしいと思います。人権祭りはいい施策だと思うので今後もぜひやって下さい。
- ・市役所さんとかに実家の隠れた状態（実態）をよく見て調査、指導して頂きたいです。兄はDVが酷いですが、家の中だけで行い外面はいいから外の人たちは、母や私が苦しんでいることに誰一人気づいてくれないので家の中は地獄です。母が認知症で要介護3で障がい者の私が1人で母の介護をしています。父は死んだ。兄は協力しない。介護地獄。

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・障がいのある方や介護が必要な方が有意義な毎日が送れるよう、これからも福祉サービスをよろしくをお願いします。
- ・障がい者雇用の場の充実。
- ・障がいの人が働ける企業を作ってほしい。
- ・積極的な雇用を希望します。
- ・息子は4月で47歳になります。今まで何度も職場を変わってきました。原因は見た目ではわかりにくい人とのコミュニケーションが取りにくい障がいがある為です。そういう人がいる事をわかって頂きたいと思うと共に、市がそういう人達の為に働ける場を作って頂きたい。親も歳を取り、1人残していく事が心残りで心配がつきません。どうぞ1日でも早く実現して頂きたいと心からお願い致します。
- ・十分な収入が得られるだけの雇用をもっと増やして。
- ・病気や怪我の後、足が不自由になり紙パンツを使用することになりましたが、結構負担になっていましたが、近所の方から、市の方から頂けると教えてもらって以来、助かっています。
- ・生涯単身で過ごし、成人後40代で障がい認定を受け、両親が他界すると、年金の早期受給で月10万5千円で生活をしなければならない状況も発生します。在職中の貯金を取り崩しながらの生活を改善したくても、再就職を含め難しい事ばかり。色んな政策を商品券購入等になると、その限度額2万でさえ支出をためらいたくなります。国民総背番号制にしても尚、色々な手続きの更新に追われるのは何故でしょうか。
- ・障がいのある人はお金で困っている人が多いと思います。障がい年金があればいいでしょうが、それでも将来の事を考えた時、それでは生活が出来ないと考えています。働いたら減らされるし戻すにはやめなければならない。矛盾を感じます。
- ・今まで通り太宰府市に住む事。今まで通りデイサービスに通う事。今まで通りグループホームで過ごす事。この3つを続けるため、今親として出来ることはやっていますが、2年後は親も80歳になります。大好きな仲間とスタッフの方と過ごす事が嬉しい日々を大切にしたいのです。気になっているのが親亡き後の日、祝日の過ごし方です。グループホームのスタッフには常に余力を持っていてほしいので、そのためにはどんな事が出来るのかと考えています。一緒に考えて頂けるとありがたいです。
- ・太宰府市で生まれて育ってきています。太宰府が好きです。ずっと住み続けたいと思っていますが、直面している現実は安心してご近所さんに迷惑をかけずに住む場所を探す事。母と息子2人暮らし。穏やかに暮らしたいです。意見になってなくてすみません。
- ・当人が幼児で進学の際にぶつかった壁の話です。当人には上に兄姉がいます。兄姉と同じ幼稚園の進学で、市には市立がなく私立しかないが当人の進学希望の幼稚園に介助要員を希望しましたが、保育園では市は手当可能だが、幼稚園は出来ないと言われました。しかし、保育園は現状待機の状態であり、そもそも病児なので保育園などの長時間保育より幼稚園の保育時間を選択せざるを得ず病児や障がい児の現状や意向とミスマッチが起こっているのではと思いました。幼稚園への補助が叶えばと思いました。保育園だけの枠組みに制限する理由が知りたいと思いました。

- ・訪問看護もいいけどヘルパーさんに来てもらって、トイレやお風呂など家事を手伝ってほしいです。
- ・障がいのある高齢者でも出来るような器具指導員が居り、送迎して頂くとありがたい。
- ・すべて金銭が関わって来る事。ボランティアだと月何回利用可能なのか。限られた点数制限で毎日しないと、運動など弱っていくばかり。毎日関わってくれる人は家族でも無理。頑張れない現状。自殺する人をあなたは止めれますか？見送りますか？
- ・昨年1年間は入退院の繰り返しで大変でした。家族が通って手助けしましたが、どこで何を相談出来るのか？わかりにくかったです。太宰府市以外の者が支援する時にもわかりやすいものであってほしいと願います。
- ・近所の様子すらわかりません。高齢化で周りもそうです。超高齢だと、大概の人が何かと障がいをお持ちです。どう手助けすればよいのか、どうコミュニケーションを取ればよいのかわかりません。自分自身もどんどん老いていくのに不安だらけです。
- ・同じ障がいがある人が集まる事が出来るチャンスと場(家族の会)を作って提供してほしい。自立していく支援の情報提供を沢山してほしい。(残念だがケアマネさんに相談してもよく知らない事が多い)
- ・こういうアンケートを頂くだけでも、あー考えて下さっているなあと嬉しくなります。自分が障がい者になってわかったことはやはり疎外感はあるなという事です。アンケートありがとうございます。
- ・障がいのある人を手帳やらで登録しておいて、可能であれば障がい者便りみたいな物を作って送って下さるととても助かります。今何が利用出来て、どんな人達が頑張っていて、どんな政策が行われようとしているのかを知れたらすごく助かります。もっと言うとインターネットでそれが見られたら嬉しいです。
- ・地域の皆さんの理解がとても大切な事と思いますが、障がいを理解する為には関わって頂くこと！関わる為には本人が積極的に社会に参加する事が大切なのだと思います。ただ日々の生活に追われ、親として活動が出来ていないですね。
- ・障がい者福祉課と保育課、教育課とそれぞれの横のつながりがスムーズじゃないので、いちいち最初から説明したりと手間も時間もかかる事。何の為の住民カード(個人番号)を作成しているのかな？といつも思っています。
- ・気軽に障がい者が集まれる場があると嬉しいです。
- ・現在の1番の不安は、災害時に誰が声をかけてくれたり避難勧告が出ても一緒に同行してくれる人がないので不安である。隣近所も皆高齢で自分の事で一杯である。災害時の援助者と場所等をシステム化して、区長、民生委員、隣組長に明確にしてほしい。早急をお願い。
- ・今の所、子どもは市内の施設に毎日通って、守られています。外の空気は余り親子共知らなくて申し訳なく思っています。1人では何も出来ませんが親として出来るだけ傍に置いていて亡き後は行政にお願いしたいと思います。
- ・現在人工透析を受けていますが、年齢的に運動がしにくいと思います。今後は他人の世話にならねばならない状態になると思われるのですが、どれ位世話してもらえるのかが現在はわかりません。

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・障がい者を介護している家族への手当があればよいと思っています。
- ・障がい者が受ける事のできる支援制度を周知してほしい。
- ・少しずつ進歩しているようには感じています。十分とは言えませんが、これからの期待します。
- ・高齢者夫婦（80歳以上）で障がい者であっても、隣組長は順番でしなければならない。足が弱っている為、広報などを各家庭に持って行けない。高齢者、障がい者の隣組長の免除を市から通知してもらいたいです。
- ・他県では小学生になっても色々な療育がしっかり受けられます。学校や家以外でも、子どもが色々な体験を出来るような場所を作って下さい。
- ・精神障がい者の対応をしている指導員は、マンネリで心が疲れている人が多い。その結果障がい者を馬鹿にした態度を取る事が多い。
- ・障がい者になって7ヶ月です。まだ何が何だかわかりません。今は家族に見守られています。
- ・若くて能力のある障がい者の為には施策等が必要と思うが、「死」を待っているだけの者には何も要らない。
- ・今現在、娘の要求に可能な限り対応出来ていますが、これから親が年を取り同時に娘も年を重ねていきますが、これから先健康面だったり、障がいがある娘が充実した生活を送れるかどうか気になるところです。そういう相談事を聞いてもらえる家庭訪問が定期的（年に1回）とかあればとてもありがたいと思います。
- ・保護者がみることが出来ない時に単発で預かってくれる（宿泊できる）施設を市内につくってほしい。
- ・人間ドッグを受けやすくする為、理解のある医師がいる医療機関と連携をとり、リストなどを障がい者のいる家庭へ送付してほしい。
- ・障がい者のスイミングレッスンを市民プールの講座に取り入れてほしい。
- ・「同性パートナーシップ制度」の1日も早い導入を検討、実現してほしい。（福岡市は2018年4月導入済み。北九州市は2019年7月に導入済み。古賀市は2020年4月導入予定）
- ・近代、障がい者政策も随分充実して来たと思いますが、アンケート結果を市政に生かし、住みよい福祉の充実したまちとなりますよう、よろしくをお願いします。
- ・障がいのある息子は、周りに相談出来る環境、手助けして下さる方がおり大変安心しました。しかし、どうすればいいのかわからず悩まれている保護者もいらっしゃる旨を紹介しました。知らない方が多いので、わかりやすく、相談窓口や色々な支援がある事など知らせるとよいと思います。
- ・私は右の耳が聞こえず、左の耳は補聴器をつけてやっと聞こえます。耳掛けですけど、耳が開いているので不安定です。又聞こえが集会等では聞こえません。耳穴式の補聴器を買いたいけど高価で買えません。市の補助が貰える様に何とかありませんか。現在の補聴器も左の耳も悪くなっています。
- ・感覚過敏で必要以上に光や音を取り込んでしまう為、白っぽいタイルなど光を反射するものを敷きつめないでほしい。また音声アナウンスのみでは内容を理解できないので文字での案内がほしい。書類を手書きする事に強い苦痛を感じたり、誤字脱字による修正が多発する為、書類の電子化を進めてもらいたい。

- ・病院や施設などの増加。
- ・近くの事業所の増加。
- ・スポーツイベントに力を入れてほしい。
- ・全体的に支援の内容の充実を望みます。
- ・娘は寝たきりなので、呼吸器を付けている為緊急時の連絡場所を知りたいです。今は病院にいますので病院の看護師さんをお願いしています。
- ・精神障がい者の家族会で五筑会という会があるのですが、家族も高齢になり運営が難しくなっています。若い当事者や市の担当者の参加が必要ではないかと思えます。
- ・只今入院治療中なので代理で回答しました。本当は少しでも早く普通の生活が出来るといいのですが今は年齢も86歳なので。病氣中なので少しでも早く普通の生活をしたいと願っております。
- ・独居老人の孤独死などをなくす為に福岡市などで行われている安全対策などを施行して頂きたいと思えます。太宰府は財源が少ない事はよくわかっています。
- ・聴覚障がい者などは家族も話を疎外されます。孤独です。自分なりに理解しながら毎日を暮らしています。どうしたら楽しく生きられますか。足の方も人工関節を入れておりますので、足に良い運動は考えて色々やっております。何とか元気に歩いております。
- ・現在、放課後等デイサービスを利用していますが、デイサービスが利用出来るという事を知らない方も多いです。民間の施設の情報を積極的に提供する事の難しさもあると思えますが、3歳児健診時に療育手帳や障がい者福祉サービスに関するパンフレットなどを配る事が出来れば、必要な時に必要な支援が受けられると思えます。児童発達支援施設～成年後見など時系列にして頂けると、よりわかりやすいです。
- ・以前より随分と障がい者に対して、理解されている様に見られます。ご近所の方々との関係から輪が広がって、特別な事ではなく、自然体で生活できるのが理想です。
- ・市の福祉のお仕事をなさっておられる皆様大変でございますが頑張ってください。
- ・障がいの種類、程度は個々で異なる為、全体的な施策は難しい。全体として取れる施策と個々を対象とした施策を併せて行うことが必要だと思っております。例えば外的障がいと内的障がいでは全く施策が異なってきます。よろしくお願ひします。
- ・障がい者が利用出来る情報、サービス等を色々教えてほしい。
- ・支援があることも知らない人がいる様ですので、民生委員の増員。プライベートを重んじて相談しやすい人を選出して下さい。
- ・障がい者のレベル、種類によってどういう事に困っていて、どういう手助けをしたら助かるのかを具体的にわかりやすいパンフレットや講演を行い、障がいについて理解を深める機会を頂きたい。
- ・軽度の知的障がい児です。(15歳)今は学校や児童デイなどに通っているおかげで沢山のひとと交流でき、運動や外出もしていますが、高校卒業後は事業所と家の往復だけになるのかと思うと不安です。その後の人生の方が長いのですから、今の放課後デイのようなサービスを大人も受けることが出来る様になればと思えます。交流、運動、外出の機会は豊かな人生を過ごすのにとっても大切です。ぜひサポートが受けられるようになってもらいたいです。

Ⅱ 調査結果

11. 自由回答

- ・市内近隣にショートステイが出来る所があれば、このまま実家で暮らせそう。
- ・障がい者への入院保障（保険）の紹介をしてほしい。
- ・障がいがあるので（両上下肢の障がい）買物、年金の引き出し等を1人では無理なので、他者の付き添い、介助を時間的にもう少し長めにして頂きたい。外での空気に触れたい、色んな規制が法的に難しいとは思いますが、また小さな願いですが善処の程お願い致します。
- ・太宰府市障害者政庁跡散歩会。年6回地区別に政庁跡でそれぞれ午後1時30分～3時30分まで（2時間）散歩が出来る様に市で送迎するようにしたらどうでしょうか。（令和3歩会）
- ・今は家族と暮らしていて色々な負担が少ないので、将来的に1人になるので、よくわからないというのが正直な意見です。
- ・私と同じ障がいを持つ人は大野城市から障がい年金の案内までしっかり受けていたが、太宰府市民は最低限の案内しか受けていないんだねと言われた時にショックを受けた。対応も案内も周囲の話を見ると、確かに最低限だと思ってしまった。私以外の人がそう感じないような取り組みをして頂きたいです。
- ・聴覚障がいの人の為にもう少し取り組みをしてもらいたいです。
- ・障がいを持つ人の社会は狭くなりがちなので、バリアフリー化が進んで出かける物理的なハードルが下がる事、又障がい者が隣にいるのが普通なくらい、深い理解がされずとも差別や偏見が減ると心理的なハードルも下がります。1番難しいとは思いますが。子どもの頃からの教育の影響は非常に大きいと思いますので、普通校にて障がい児を受け入れる教育体制が整う事を願います。
- ・障がい内容に合った的確な補助だと思います。
- ・障がい者手帳を持っている人への訪問や聞き取りを定期的にする人材なり係を作ればアンケート等よりもっと詳しく把握できて、個々の体の状態に合わせた支援が出来るのではと考えます。民生委員とかではなく専門知識のある人が定期的に相談に乗る事と考えます。体が動ける人、そうでない人の細かいケアにつながると考えます。介護認定を受けている人々には不十分と思うので。
- ・情報を伝えてほしいです。クローバープラザやつくしピアのような、行ける、過ごせる楽しめる場所を作ってほしいです。
- ・様々な支援があり利用させて頂いてますが、どのような支援があるのか、利用方法など知らないことが多く、後から知ったり、どうすればよいのかわからず困ることが多々あります。市役所に行かなくとも情報を知ることが出来るような窓口やインターネットなどでの情報の開示をして頂けるようになるとありがたいです。よろしく願いいたします。
- ・アンケートの内容の前提が、療育、精神などの障がい者向けに感じます。幼少期から、身体、内部疾患向けの対応が薄く、就学時も支援はあまりなく、現場の対応力の差は本人や家族の努力で補っていました。手がかからないから軽度なのではなく、様々な状態に合わせられる限定的なサポートが理想です。手間がかかるだけが障がいではありません。理解が深まるだけで出来るサポートもあります。

- ・障がい者や要介護者が代理で様々な手続きを行う場合の手間を簡略化してもらいたい。
- ・市内放課後デイの事業所が少ない事と、今ある事業所の良さが他市に比べてない。もっと質の良い事業所があってほしい。それか今ある事業所に改善してもらいたい。
- ・アンケートは非常に参考になりました。同居中の子の所得超過の為、重度障害者医療証の更新は出来ませんでした。高齢化による医療費の増加と年金等の収入の減少で家族構成による給与所得金額に差異があります。家族所得総金額による考え方はいかがでしょうか。
- ・国民健康保険料の負担が大きい。減免してほしい。
- ・障がい者雇用の求人は一般より給与が低い。それだけでは生活できない為の補助金。
- ・車がないと生活出来ない。(買い物、通勤など)
- ・障がい者雇用を増やしてほしい。(特に精神)
- ・老人いじめは改善してほしい。我々の声を聞いてほしい。課長は責任ある行政をしてほしい。係長不在の現況の実情を改善して下さい。
- ・生活は苦しいです。お金がないので水だけで生活しています。
- ・粗大ゴミの置き場が足腰が弱くなって遠いのが大変です。ゴミ屋敷にしないようにしなければと思っています。
- ・経済的支援。年収に応じ障がいのある人は重複しての障がいがあると思う。治療を受け、より快適な毎日を過ごされるよう絶対に必要。
- ・職場。障がいの程度に応じ働ける人には収入が得られ生活の基礎が確保でき自立支援を促進出来る所。
- ・職場の理解が深まりますように。
- ・今の所、毎月ケースワーカーさんが連絡、面会して下さいるので安心して相談出来る関係がある。ただ宮崎からの転入でデイサービス以外の外出や人々との触れ合いがないのが残念である。
- ・大野城に引っ越ししました。住所変更。
- ・当市の議会で近隣に合わせた処遇(議員手当)を議決しているが、議員や職員の身分保障は可としても、福祉対策が追いつかない状況で、自分達だけは保障を早々に決め、あとは知らない。(重度障がい者「福祉手当」が筑紫野市、3500/月：当市 2000/月の差、その他有給や貸与の規定が本人負担率が多い)近隣周辺(5市での対比だけでもよい)とよく照合して早く対応してほしい。
- ・代理人です。一緒に生活するのが苦しい時がある。夫と母(障がい者)の間で板挟みで大変。でもどうしたらいいかわからない。少し距離を取りたい時どうしたらいいのでしょうか。

障がいのある人の生活や施策に関する
アンケート結果報告書

発行年月／令和2年3月
発行／福岡県 太宰府市 福祉課